
川崎市「運動・スポーツに関するアンケート調査」 報告書

令和7年2月
川崎市

目次

1. 市民調査.....	1
I 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 設問項目	1
(3) 調査対象	1
(4) 調査時期	1
(5) 調査方法	1
(6) 回収結果	1
(7) 表記上の留意点	1
II 調査の結果	2
1. 御自身の健康について.....	2
2. 運動・スポーツの実施状況について.....	5
3. 観る・応援するスポーツについて	24
4. スポーツを支える活動について.....	30
5. スポーツの行事・団体・広報について	36
6. 地域や職場におけるスポーツ活動について	43
7. 川崎市のスポーツ施策について.....	49
8. 回答者の属性.....	60

1. 市民調査

I 調査の概要

(1) 調査の目的

令和7年度の「第2期川崎市スポーツ推進計画」の改訂(中間見直し)に向けて、国の第3期スポーツ基本計画も踏まえた施策・事業の見直しを行う必要があるため、これまでの取組結果の経年比較等を行うための現状分析(市民アンケート等)を実施する。

(2) 設問項目

1. 御自身の健康について
2. 運動・スポーツの実施状況について
3. 観る・応援するスポーツについて
4. スポーツを支える活動について
5. スポーツの行事・団体・広報について
6. 地域や職場におけるスポーツ活動について
7. 川崎市のスポーツ施策について
8. あなた御自身のことについて

(3) 調査対象

- (ア) 母集団: 川崎市在住の満 18 歳以上の市民
- (イ) 標本数: 3,000 標本
- (ウ) 標本抽出方法: 住民基本台帳より無作為抽出

(4) 調査時期

令和 6 年 10 月 28 日から令和 6 年 11 月 28 日まで(前回調査: 令和 2 年 11 月)

(5) 調査方法

郵送による配布、返信用封筒による郵送回収または WEB 回答

(6) 回収結果

- (ア) 標本数: 3000 標本
- (イ) 有効回収数: 1,044 人(前回調査: 1473 人)
- (ウ) 有効回収率: 34.8%(前回調査: 49.1%)

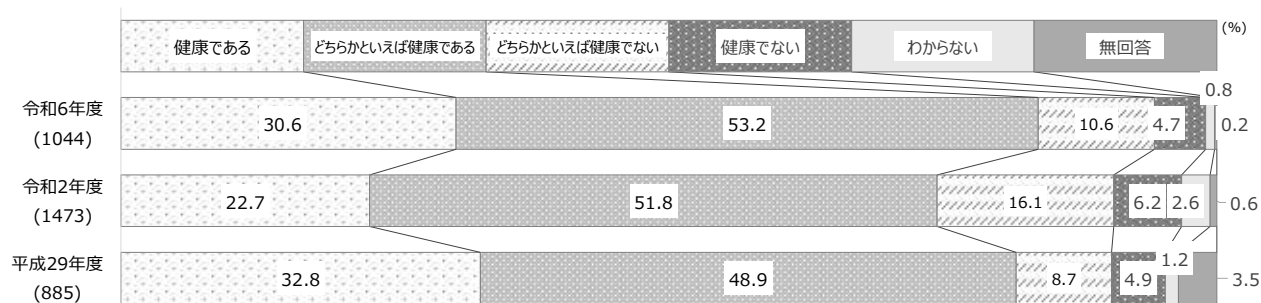
(7) 表記上の留意点

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各問に対する回答者数。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示している。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ設問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて 100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい設問)においては、%の合計が 100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

Ⅱ 調査の結果

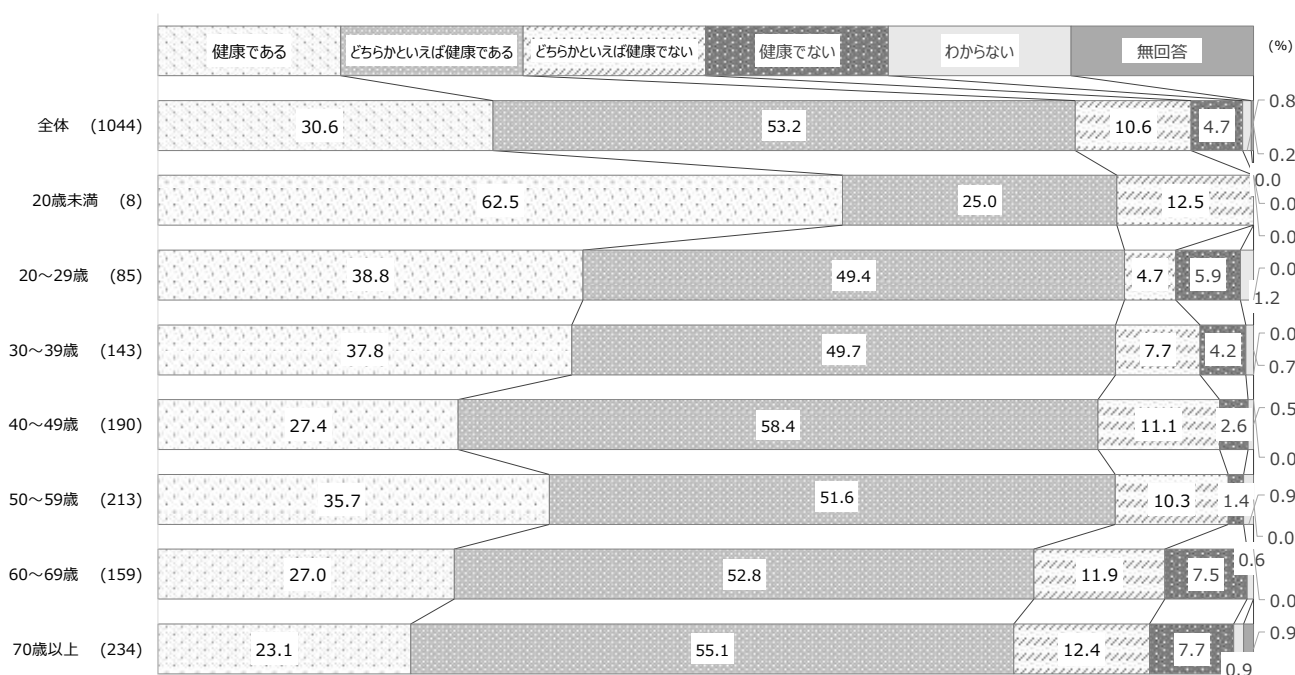
1. 御自身の健康について

問1 あなたは、いま現在の健康について、どう感じていますか。(○は1つだけ)



「健康である+どちらかといえば健康である」を合わせた『健康である』は83.8%、「どちらかといえば健康でない+健康でない」を合わせた『健康でない』は15.3%となっている。

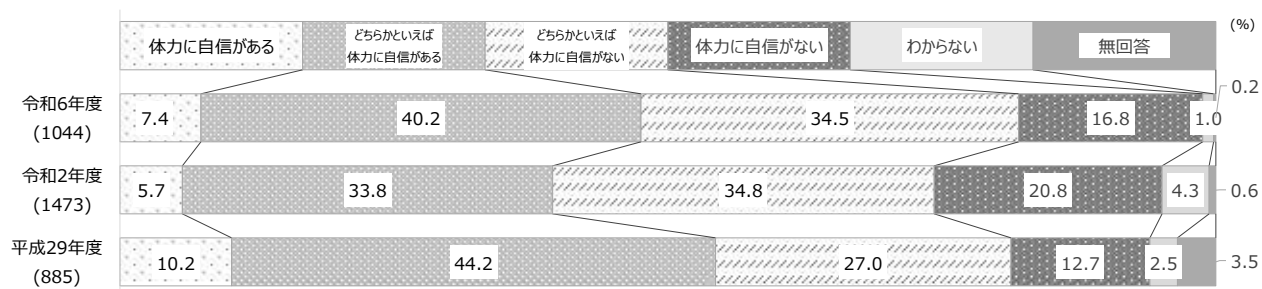
経年比較では、『健康である』は、令和2年度比では9.3ポイント増加している。平成29年度比でも2.1ポイント増加している。



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

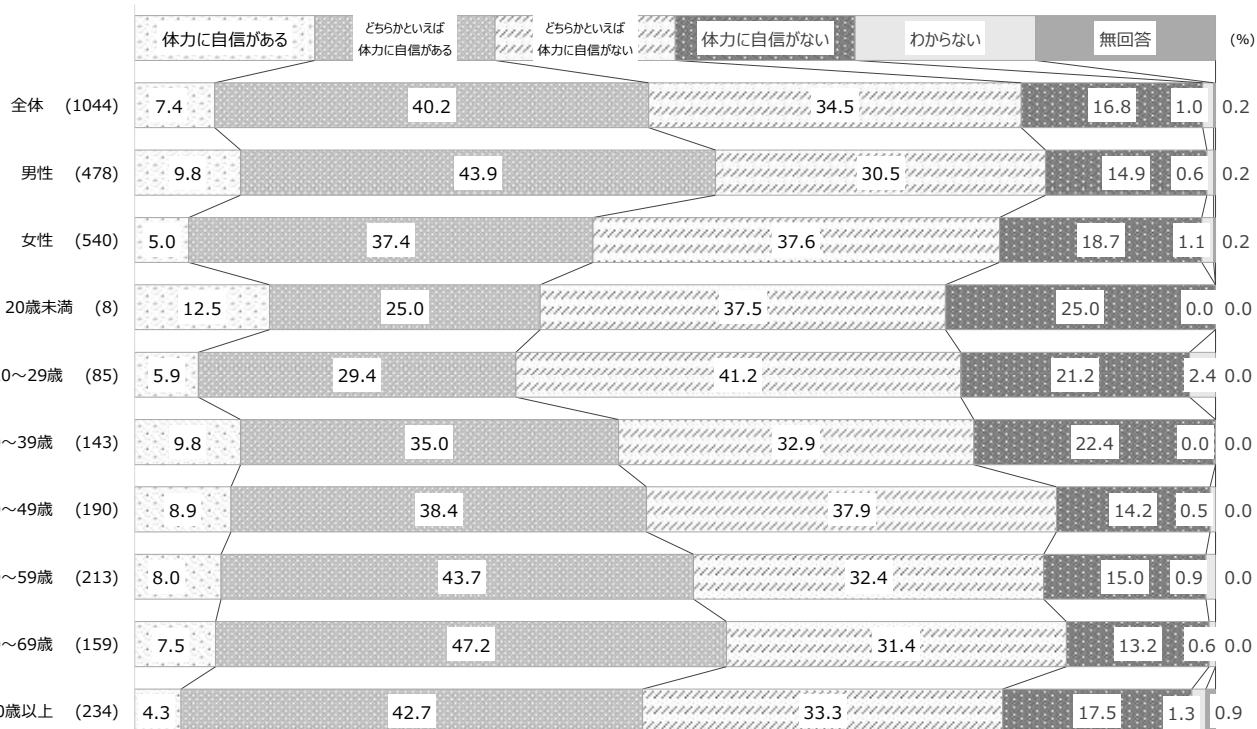
年齢別では、『健康である』は、20～29歳が88.2%と最も高く、70歳以上が78.2%と最も低くなっている。

問2 あなたは、いま現在、体力に自信がありますか。(○は1つだけ)



「体力に自信がある+どちらかといえば体力に自信がある」を合わせた『体力に自信がある』は47.6%、「体力に自信がない+どちらかといえば体力に自信がない」を合わせた『体力に自信がない』は51.3%となっている。

経年比較では、『体力に自信がある』は令和2年度比では8.1ポイント増加しているものの、平成29年度比では6.8ポイント減少している。

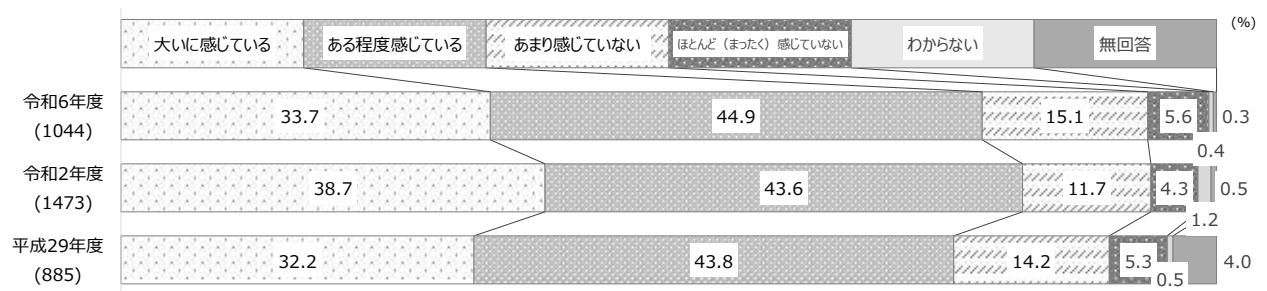


※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

性別では、男性では『体力に自信がある』が5割以上となり、『体力に自信がない』よりも高くなっている。一方で女性では、『体力に自信がない』が5割以上となり、『体力に自信がある』よりも高くなっている。

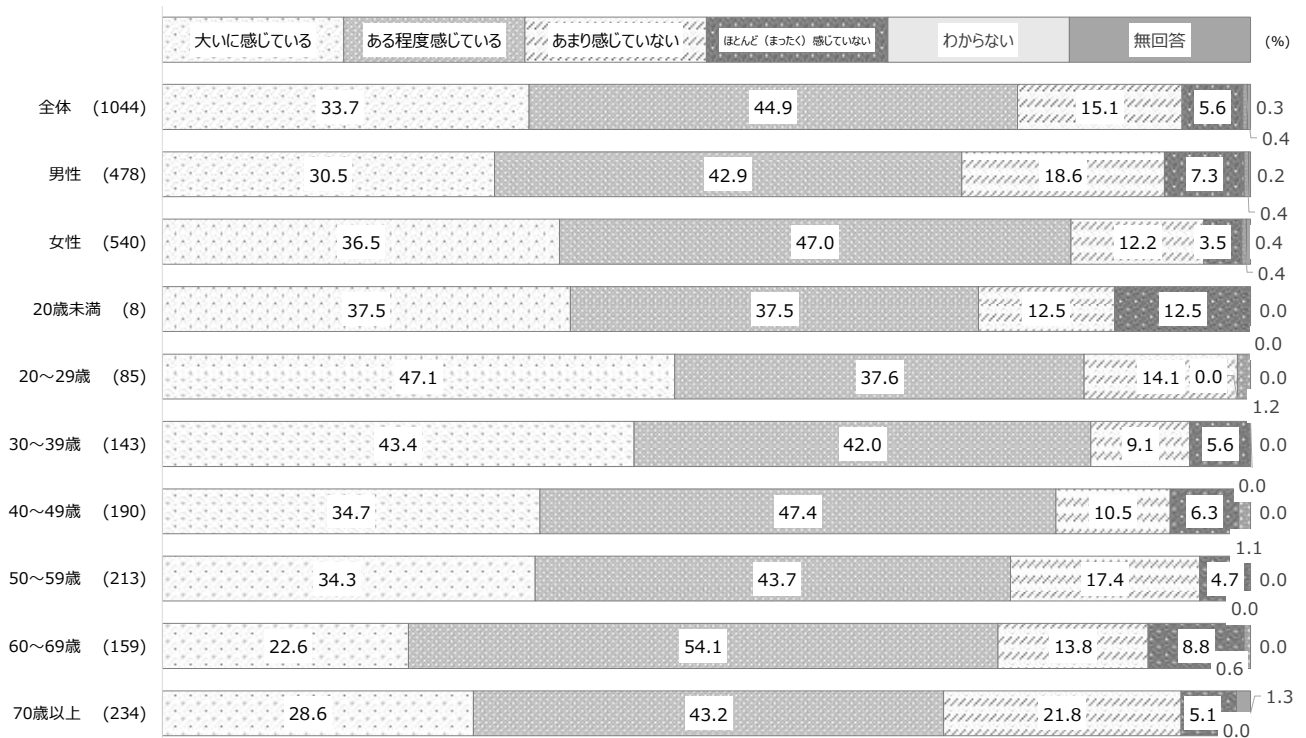
年齢別では、『体力に自信がある』は60～69歳が最も高く、50～59歳が続く。50～69歳では5割を超えている。一方で、『体力に自信がない』は、20～29歳が6割以上と最も高くなっている。

問3 あなたは、いま現在、運動不足を感じていますか。(○は1つだけ)



「大いに感じている+ある程度感じている」を合わせた『感じている』は78.6%、「あまり感じていない+ほとんど(まったく)感じていない」を合わせた『感じていない』は20.7%となっている。

経年比較では、『感じている』は、令和2年度比では3.7ポイント減少している。平成29年度比では2.6ポイント増加している。



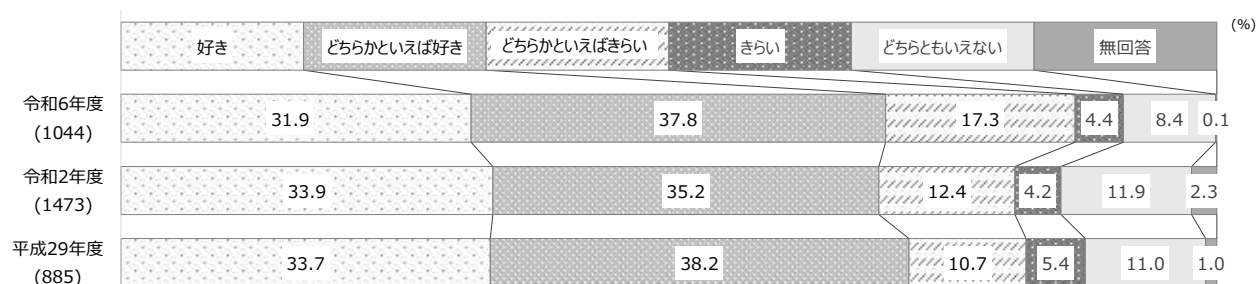
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

性別では、『感じている』では、女性が男性よりも10ポイント以上高くなっている。

年齢別では、高齢層の方が若年層より『感じている』が低い傾向がみられる。

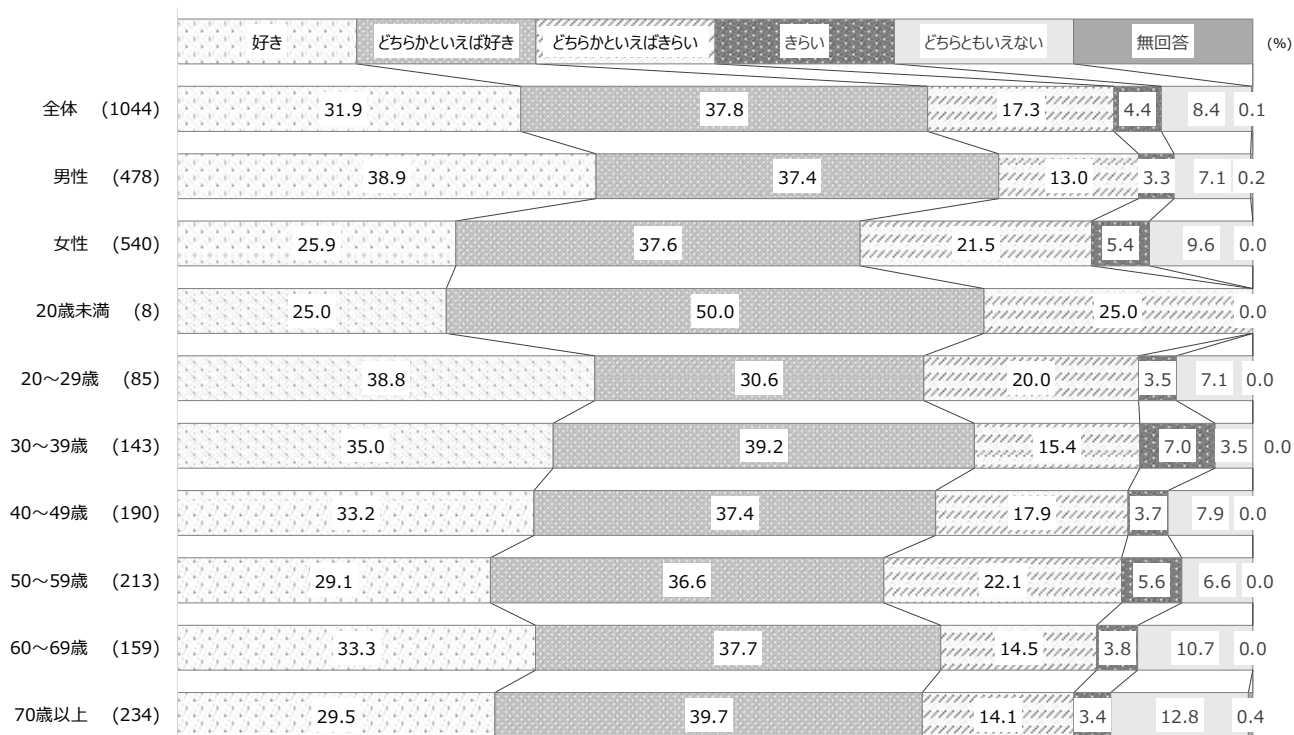
2. 運動・スポーツの実施状況について

問4 あなたは、運動やスポーツをすることが好きですか。(○は1つだけ)



「好き+どちらかといえば好き」を合わせた『好き』は69.7%、「どちらかといえば嫌い+嫌い」を合わせた『嫌い』は21.7%となっている。

経年比較では、令和2年度比では『好き』は同程度だが、『嫌い』は5ポイント以上増加している。



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

性別では、『好き』は男性が女性より10ポイント以上高くなっている。

年齢別では、『好き』は30～39歳が74.2%と最も高くなっている。『嫌い』は50～59歳が27.7%と最も高くなっている。

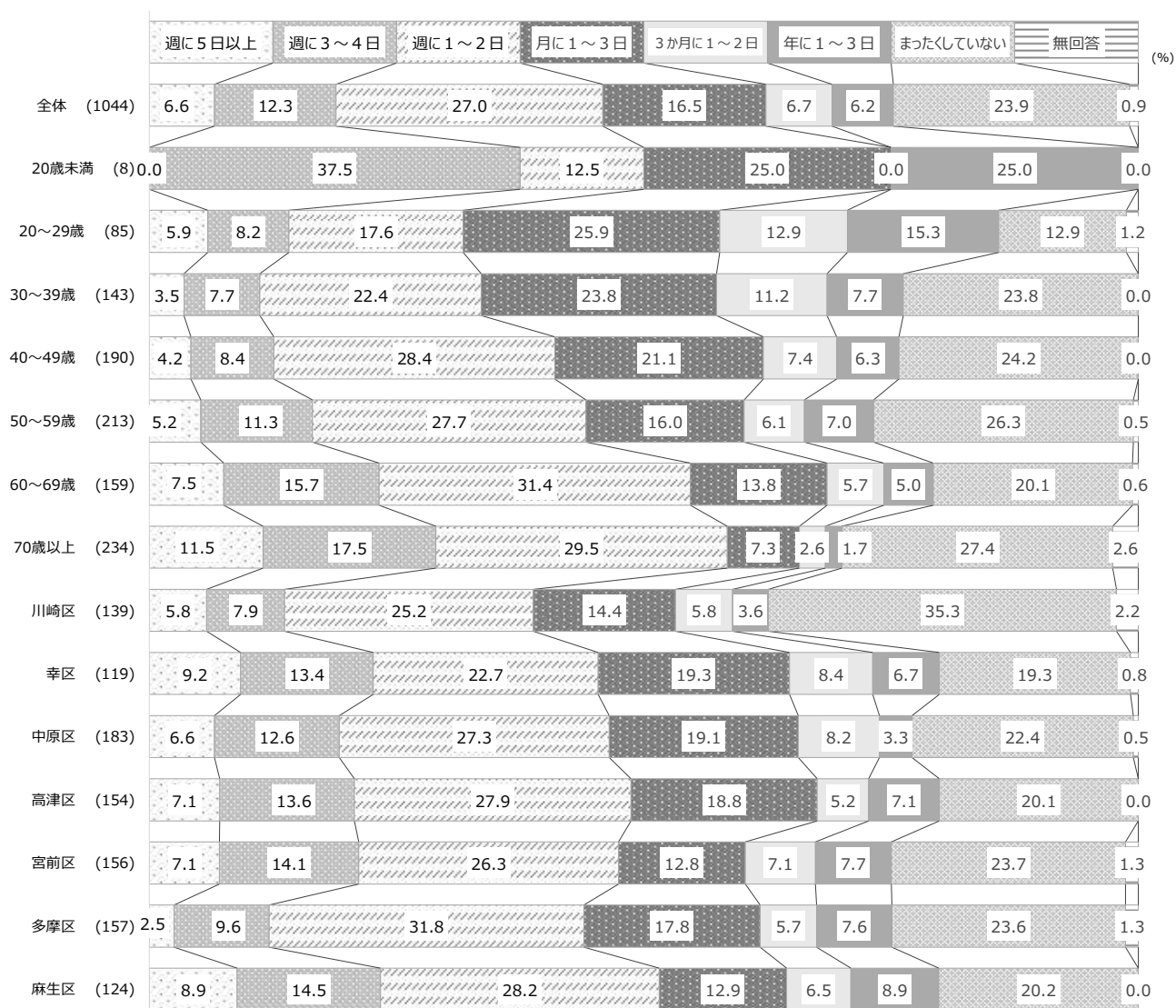
問5 あなたが、この1年間に運動やスポーツを行った頻度はどの程度ですか。(○は1つだけ)



※前々回調査では選択肢を一部変更している。「週に3～4日」と「週に5日」の選択肢は、前々回調査では「週に3日以上」としている。

「週に1～2日」は27.0%、「まったくしていない」は23.9%、「月に1～3日」は16.5%となっている。

経年比較では、令和2年度比ではコロナ禍前から「週に5日」と「週に3～4日」に頻繁に運動する人は減少傾向にある。

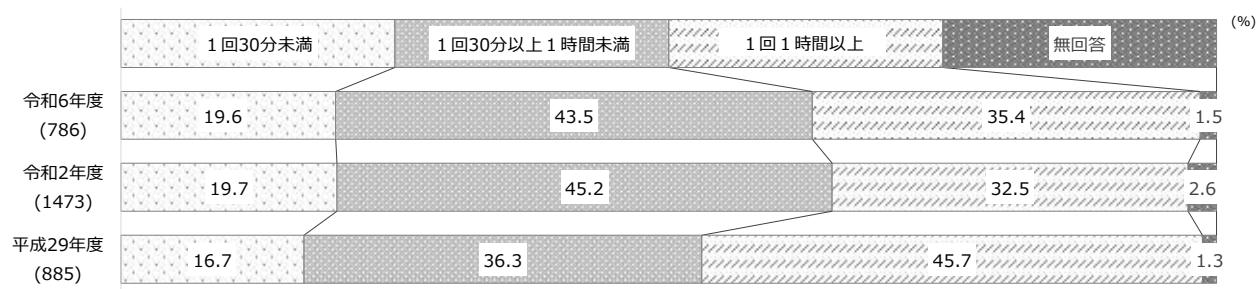


※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

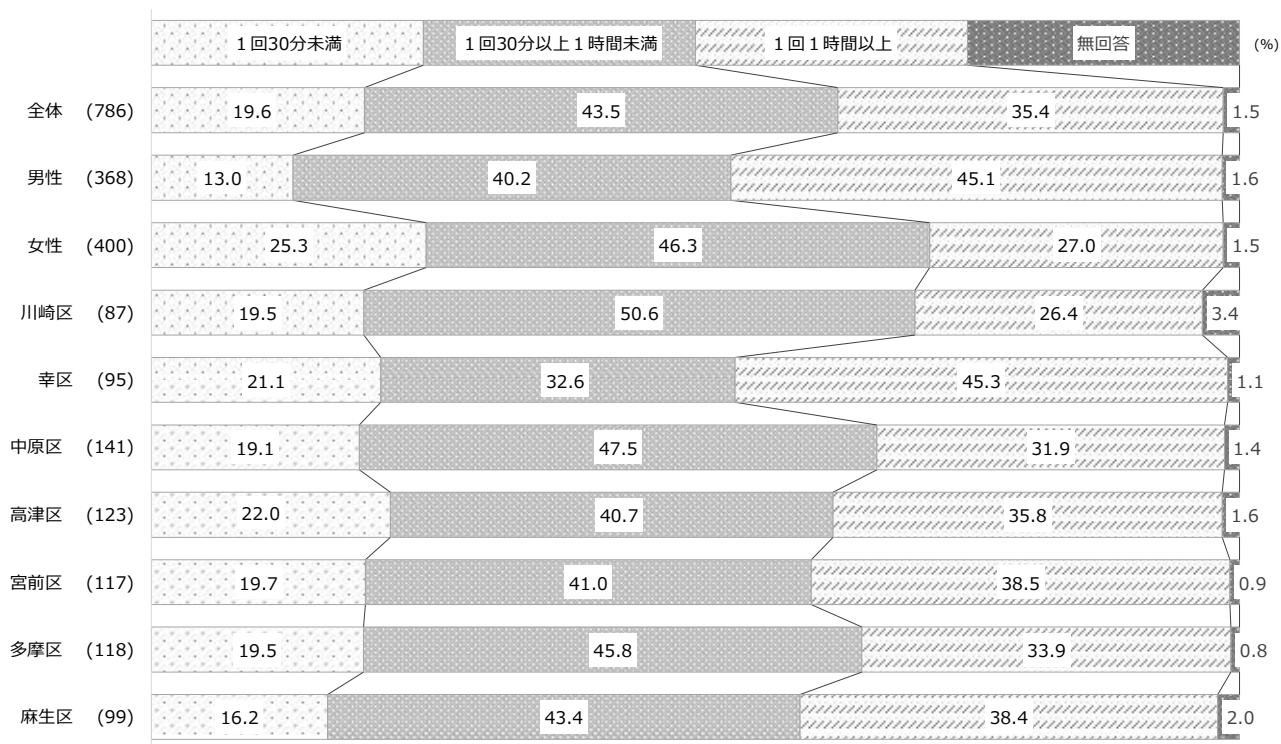
年齢別では、定期的に運動をする「週に1日以上」は、70歳以上が最も高く5割以上となっている。高齢層の方が若年層より高い傾向がみられる。一方で、「まったくしていない」でも70歳以上が約3割と最も高くなっている。

居住地区別では、「週に1日以上」は麻生区が最も高く、唯一5割以上となっている。「まったくしていない」では川崎区が最も高く3割を超えている。それ以外の地区では2割程度となっている。

問6 あなたは、運動やスポーツを1回あたり平均するとどの程度しますか。(○は1つだけ)



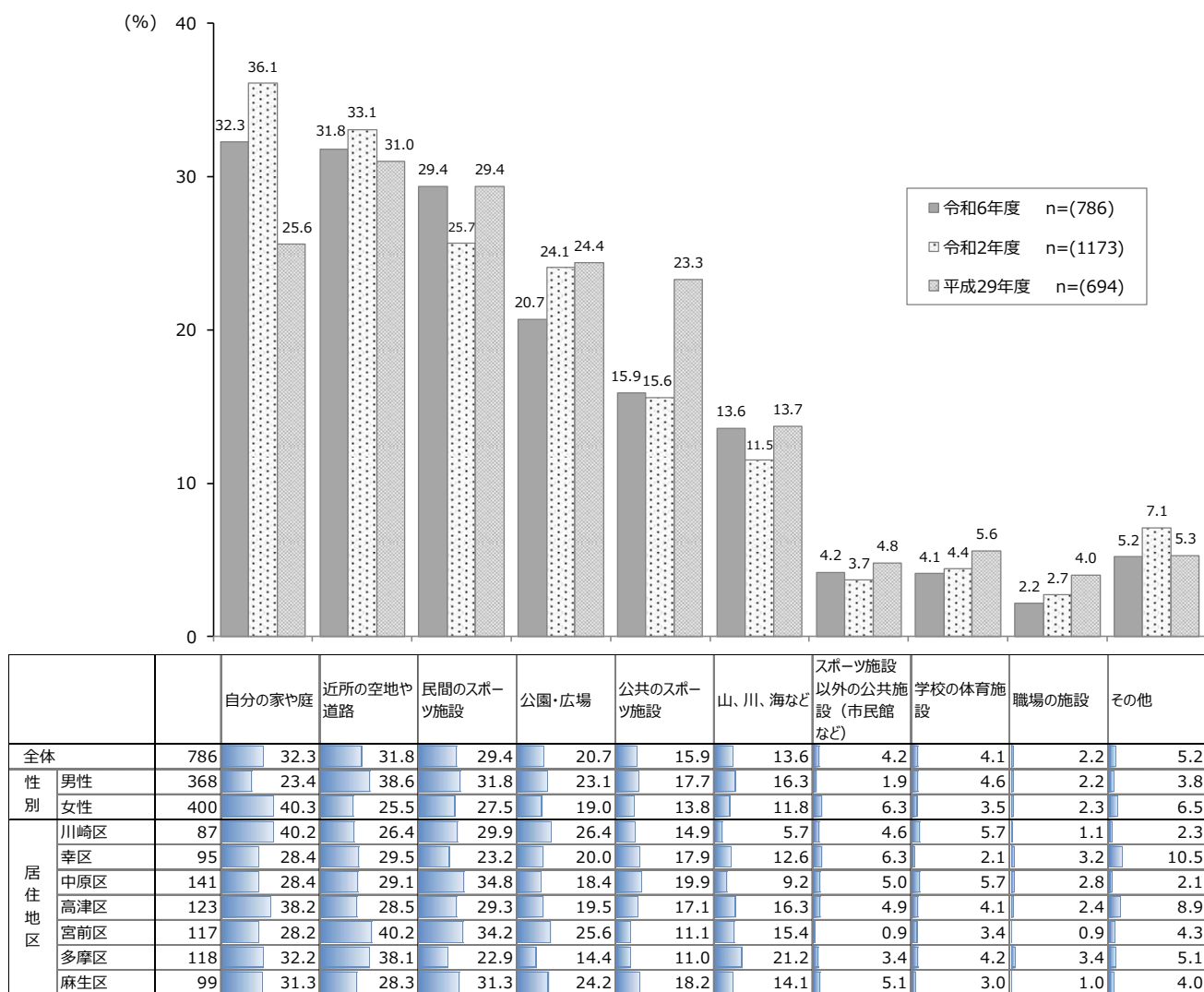
「1回30分以上1時間未満」は43.5%、「1回1時間以上」は35.4%、「1回30分未満」は19.6%となっている。



性別では、「1回1時間以上」は男性では45.1%と高く、女性より約18ポイント高くなっている。

居住地区別では、「1回1時間以上」は幸区が唯一4割以上となり、最も高くなっている。

問7 あなたは、普段どこで運動やスポーツをすることが多いですか。(○は3つまで)



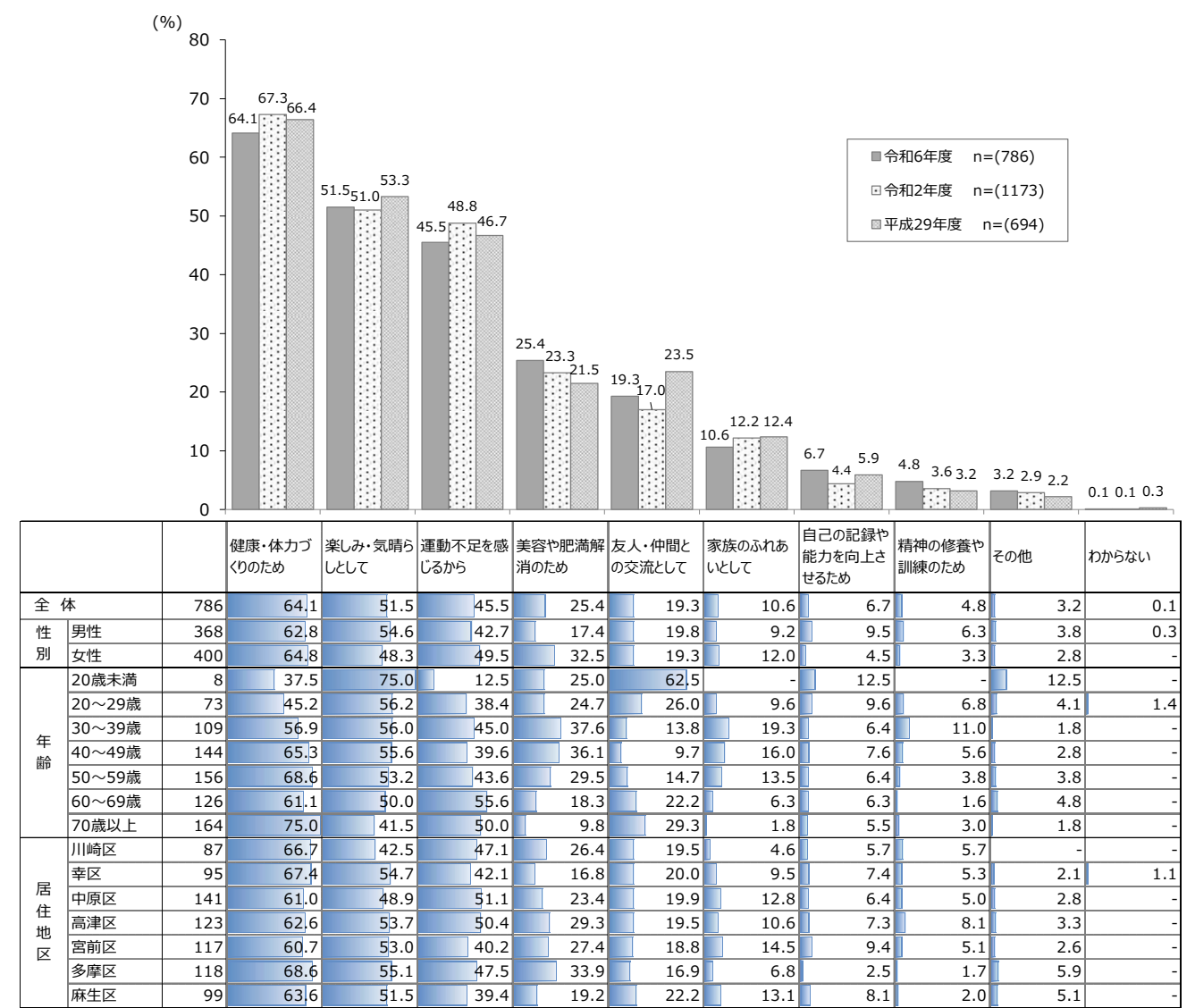
「自分の家や庭」は32.3%、「近所の空地や道路」は31.8%、「民間のスポーツ施設」は29.4%となっている。

令和2年度比では、第1～6位の項目の順位に変化は見られなかった。「自分の家や庭」「近所の空地や道路」「公園・広場」は減少したものの、「民間のスポーツ施設」は増加している。

性別では、女性は、「自分の家や庭」が約4割と最も高く、次いで「民間のスポーツ施設」、「近所の空地や道路」の順に高い。男性は、「近所の空地や道路」が38.6%と最も高く、次いで「民間のスポーツ施設」、「自分の家や庭」となっている。

居住地区別では、「自分の家や庭」は川崎区と高津区では約4割、それ以外の地区では3割程度となっている。「近所の空地や道路」は宮前区と多摩区では約4割、それ以外の地区では3割以下となっている。

問8 あなたが、運動やスポーツをする主な理由は何ですか(○は3つまで)



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

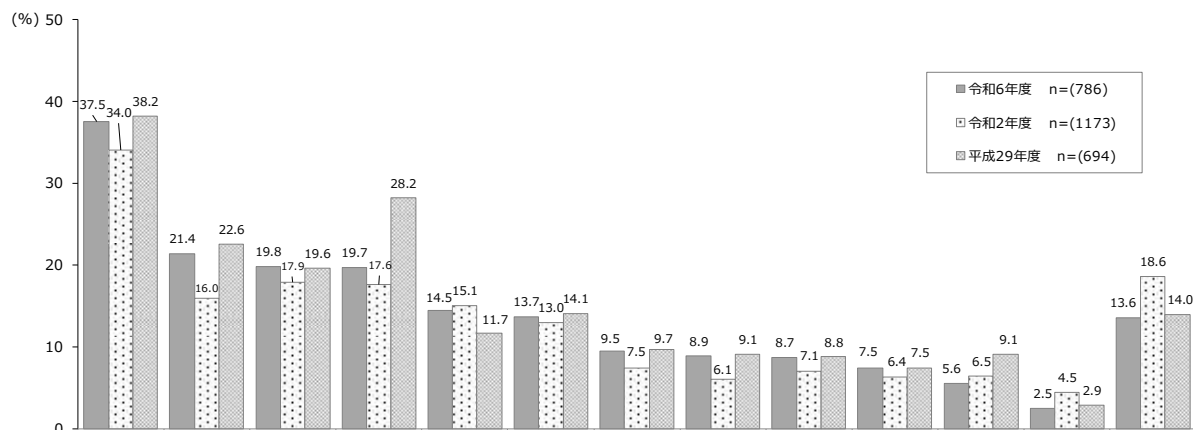
「健康・体力づくりのため」は64.1%、「楽しみ・気晴らしとして」は51.5%、「運動不足を感じるから」は45.5%となっている。

上位3項目は令和2年度および平成29年度と同じ傾向となっている。「美容や肥満解消のため」は調査の度に増加している。

性別では、「美容や肥満解消のため」は女性が32.5%と男性より15ポイント以上高くなっている。

居住地区別では、「美容や肥満解消のため」は多摩区が33.9%と最も高くなっている。

問9 あなたが、運動やスポーツをする上での主な課題・問題点は何ですか。(〇は3つまで)



		仕事や家庭・勉強などで忙しい	運動・スポーツをする施設・場所が近くにない	施設の使用料が高い	施設の利用日や時間帯が限られている	健康・体力面で不安がある	一緒に活動する仲間がいない(少ない)	運動・スポーツの情報・知識が不足している	自分のレベルに合った指導を受けることが難しい	施設への交通アクセスが悪い	施設の予約が取りにくい	用具の購入などにお金がかかる	その他	特に問題はない
全 体	786	37.5	21.4	19.8	19.7	14.5	13.7	9.5	8.9	8.7	7.5	5.6	2.5	13.6
年 齢	20歳未満	8	50.0	25.0	25.0	37.5	12.5	12.5	12.5	-	25.0	12.5	12.5	-
	20～29歳	73	49.3	31.5	20.5	20.5	9.6	26.0	12.3	6.8	9.6	8.2	1.4	5.5
	30～39歳	109	55.0	25.7	20.2	22.0	5.5	19.3	8.3	7.3	12.8	5.5	6.4	6.4
	40～49歳	144	50.7	21.5	26.4	22.9	11.1	13.9	11.1	6.9	7.6	9.0	6.9	8.3
	50～59歳	156	47.4	24.4	19.9	17.3	8.3	10.9	5.8	10.3	11.5	7.7	5.8	16.0
	60～69歳	126	27.8	17.5	21.4	25.4	19.8	7.9	7.1	13.5	7.1	7.9	6.3	11.9
居 住 地 区	70歳以上	164	6.7	13.4	11.0	11.6	27.4	11.6	13.4	8.5	4.3	6.7	1.8	26.8
	川崎区	87	29.9	23.0	16.1	25.3	17.2	17.2	12.6	11.5	4.6	8.0	5.7	12.6
	幸区	95	26.3	10.5	22.1	24.2	18.9	10.5	10.5	8.4	5.3	9.5	4.2	17.9
	中原区	141	48.2	22.0	23.4	19.9	12.8	14.9	5.7	7.8	7.8	12.1	5.0	11.3
	高津区	123	36.6	26.0	15.4	24.4	10.6	16.3	11.4	8.9	10.6	8.1	6.5	11.4
	宮前区	117	35.9	22.2	20.5	13.7	9.4	12.0	13.7	9.4	14.5	6.8	4.3	12.0
	多摩区	118	46.6	22.0	15.3	14.4	20.3	18.6	6.8	9.3	6.8	1.7	11.0	11.0
	麻生区	99	32.3	21.2	25.3	18.2	15.2	5.1	8.1	8.1	10.1	6.1	2.0	21.2

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

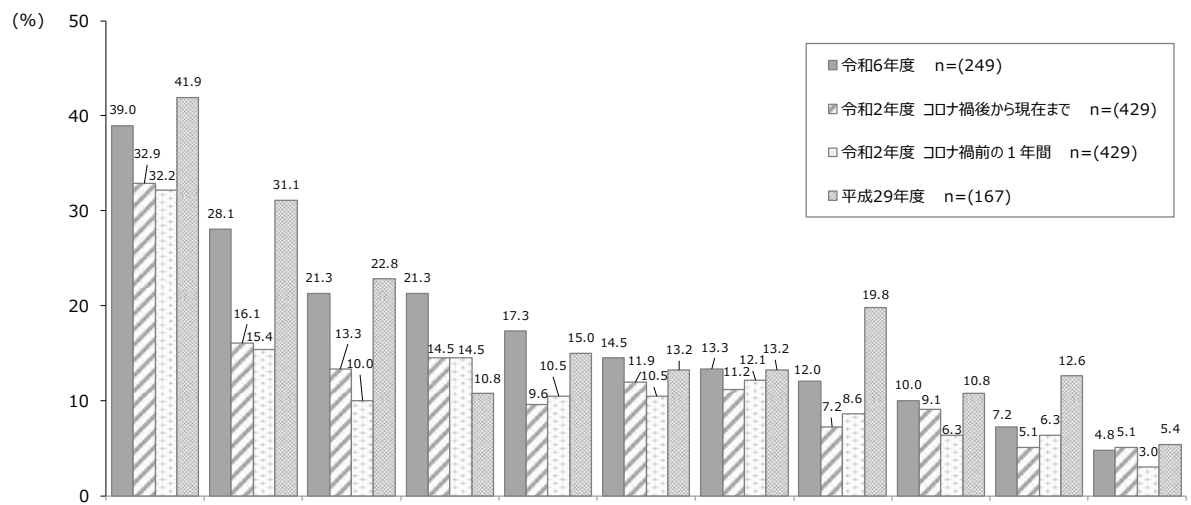
「仕事や家庭・勉強などで忙しい」は37.5%、「運動・スポーツをする施設・場所が近くにない」は21.4%、「施設の使用料が高い」は19.8%となっている。

経年比較では、令和2年度比では「健康・体力面で不安がある」「用具の購入などにお金がかかる」では減少しているものの、それ以外の項目では増加している。

年齢別では、「仕事や家庭・勉強などで忙しい」は20～59歳では5割程度と最も高くなっている。「健康・体力面で不安がある」は70歳以上が27.4%と最も高く、次いで60～69歳が19.8%と高齢層で高い傾向がみられる。「一緒に活動する仲間がいない(少ない)」は、20～29歳が26.0%と最も高くなっている。

居住地区別では、「仕事や家庭・勉強などで忙しい」は中原区と多摩区では4割を超えており、それ以外の地区より10ポイント以上高くなっている。「運動・スポーツをする施設・場所が近くにない」は、ほぼすべての地区で2割を超えているが、幸区は最も低く1割となっている。

問 10 この1年間に運動やスポーツをしなかった主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



		仕事・家事・育児・介護などが忙しくて時間がなかったから	病気、体力、年齢など、からだの問題で運動・スポーツができなかったから	運動・スポーツをする友人・仲間（相手）がいなかったから	運動・スポーツをするのがめんどくさかったから	趣味など、他にしたいことがあったから	仕事・家事・育児・介護や心配事などで、身体的あるいは精神的に疲れていたから	運動・スポーツをすること自体が好きではないから	お金がかかるから	運動・スポーツをする場所がなかったから	運動・スポーツをする必要性を感じなかったから	その他
全 体	249	39.0	28.1	21.3	21.3	17.3	14.5	13.3	12.0	10.0	7.2	4.8
性 別												
男性	105	31.4	31.4	29.5	19.0	17.1	9.5	9.5	10.5	8.6	10.5	6.7
女性	136	43.4	25.7	14.0	22.1	17.6	18.4	16.9	14.0	11.8	3.7	3.7
年 齢												
20歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	11	45.5	-	36.4	18.2	45.5	9.1	18.2	18.2	9.1	-	18.2
30～39歳	34	70.6	8.8	14.7	20.6	17.6	26.5	11.8	8.8	8.8	5.9	-
40～49歳	46	47.8	6.5	15.2	32.6	21.7	23.9	17.4	6.5	6.5	8.7	2.2
50～59歳	56	44.6	10.7	26.8	19.6	17.9	17.9	17.9	23.2	10.7	5.4	7.1
60～69歳	32	37.5	40.6	34.4	21.9	12.5	12.5	9.4	18.8	15.6	9.4	-
70歳以上	64	9.4	67.2	14.1	15.6	10.9	1.6	9.4	4.7	10.9	6.3	7.8

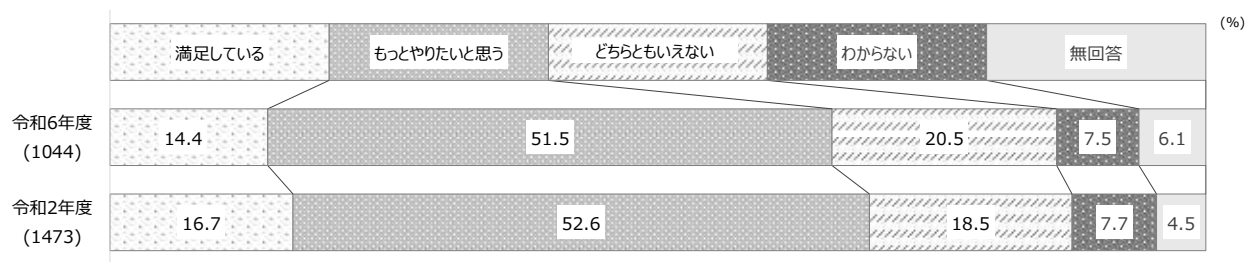
※前回調査から選択肢を一部変更している。
※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「仕事・家事・育児・介護などが忙しくて時間がなかったから」は 39.0%、「病気、体力、年齢など、からだの問題で運動・スポーツができなかったから」は 28.1%、「運動・スポーツをする友人・仲間（相手）がいなかったから」「運動・スポーツをするのがめんどくさかったから」は 21.3%となっている。
経年比較では、上位 3 項目の「仕事・家事・育児・介護などが忙しくて時間がなかったから」「病気、体力、年齢など、からだの問題で運動・スポーツができなかったから」「運動・スポーツをする友人・仲間（相手）がいなかったから」では、令和 2 年度比では増加したものの、平成 29 年度比では減少している。

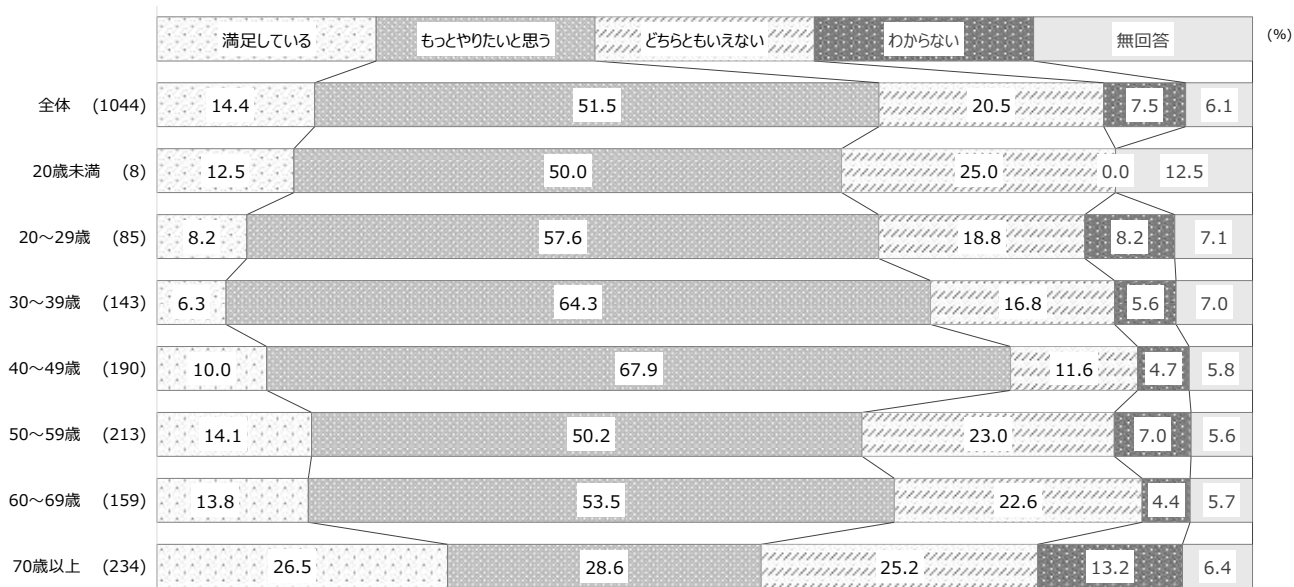
性別では、「仕事・家事・育児・介護などが忙しくて時間がなかったから」は女性が 4 割を超えており、男性よりも 10 ポイント以上高くなっている。「運動・スポーツをする友人・仲間（相手）がいなかったから」は男性が約 3 割となり、女性よりも 15 ポイント以上高くなっている。

年齢別では、「仕事・家事・育児・介護などが忙しくて時間がなかったから」は 30～39 歳は 7 割以上と高く、それ以外の年代と 20 ポイント以上の差がついている。「病気、体力、年齢など、からだの問題で運動・スポーツができなかったから」は高齢層になるほど高い傾向が見られ、70 歳以上では 6 割を超えている。

問 11 あなたは、現在の運動やスポーツの実施頻度に満足していますか。(○は1つだけ)



「もっとやりたいと思う」は51.5%、「どちらともいえない」は20.5%、「満足している」は14.4%となっている。



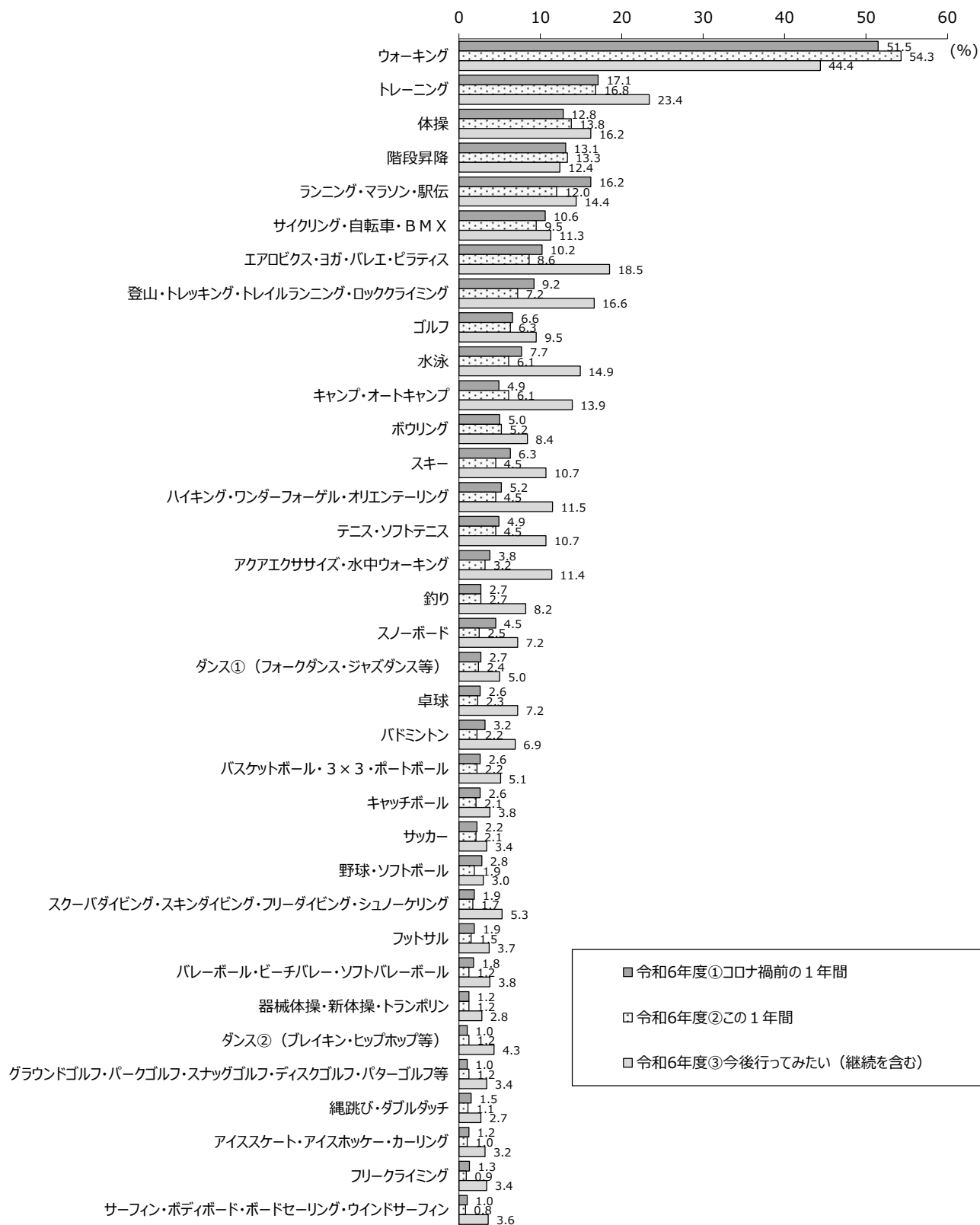
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

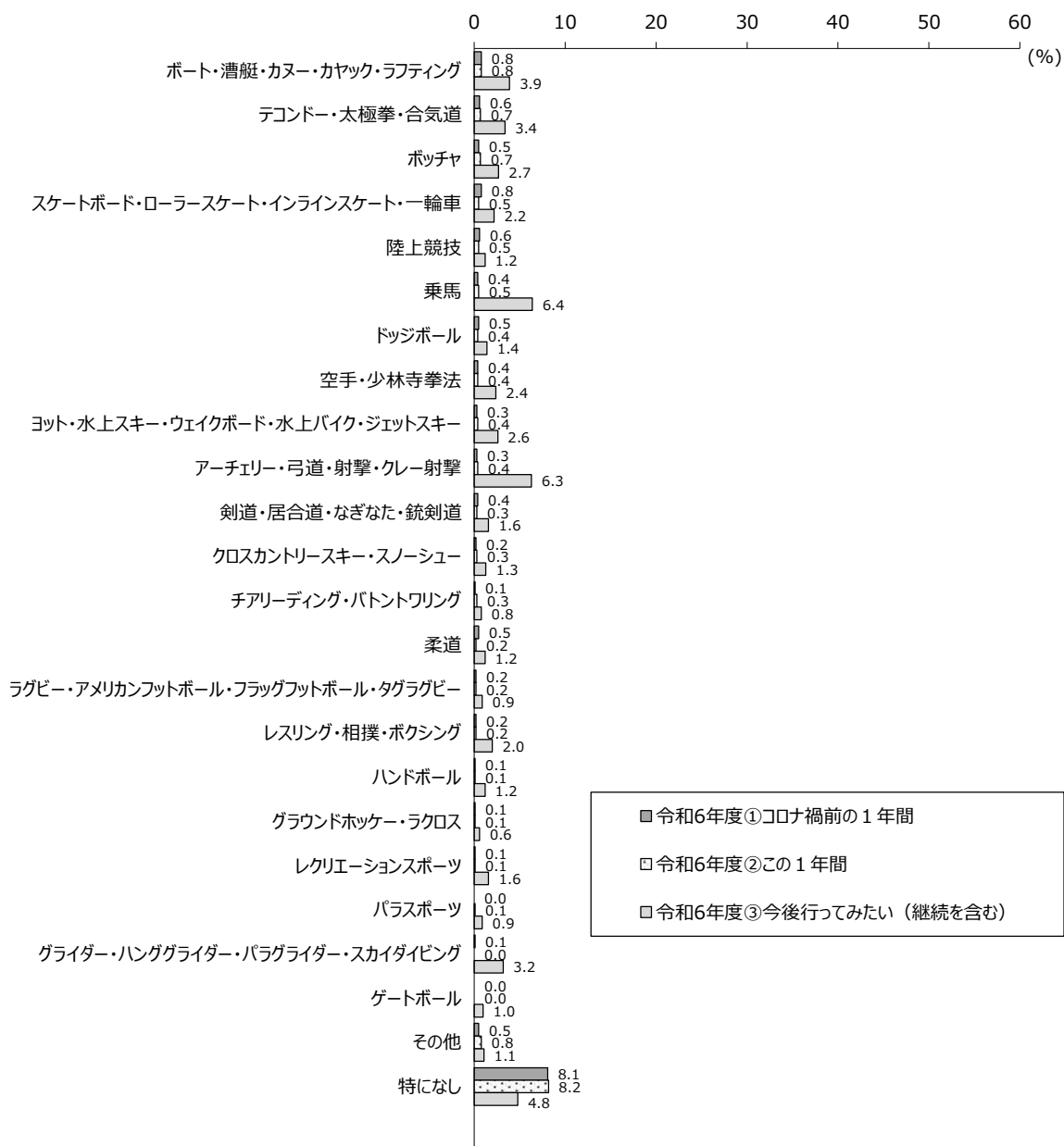
年齢別では、「満足している」は70歳以上が最も高く26.5%、30～39歳が最も低く6.3%となっている。「もっとやりたいと思う」は40～49歳は約7割と最も高くなっている。

問 12 ①「コロナ禍前の1年間」、②「この1年間」の期間に、あなたが行った運動やスポーツは何ですか。③「今後行ってみたい(継続を含む)」運動やスポーツは何ですか。

(①・②・③それぞれ、○はいくつでも)

(注)運動やスポーツを「まったくしていない」人は、「60. 特になし」に○





①コロナ禍前の1年間

「ウォーキング」は51.5%、「トレーニング」は17.1%、「ランニング・マラソン・駅伝」は16.2%となっている。

②この1年間

「ウォーキング」は54.3%、「トレーニング」は16.8%、「体操」は13.8%となっている。

③今後行ってみたい(継続を含む)

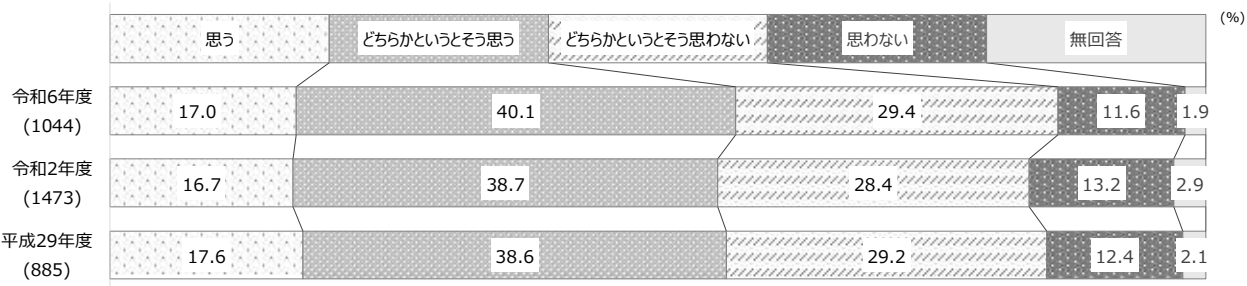
「ウォーキング」は44.4%、「トレーニング」は23.4%、「エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス」は18.5%となっている。

「コロナ禍前の1年間」と「この1年間」を比較すると、「ウォーキング」が2.8ポイント増加、「ランニング・マラソン・駅伝」が4.2ポイント減少している。それ以外の項目は変化が見られなかった。

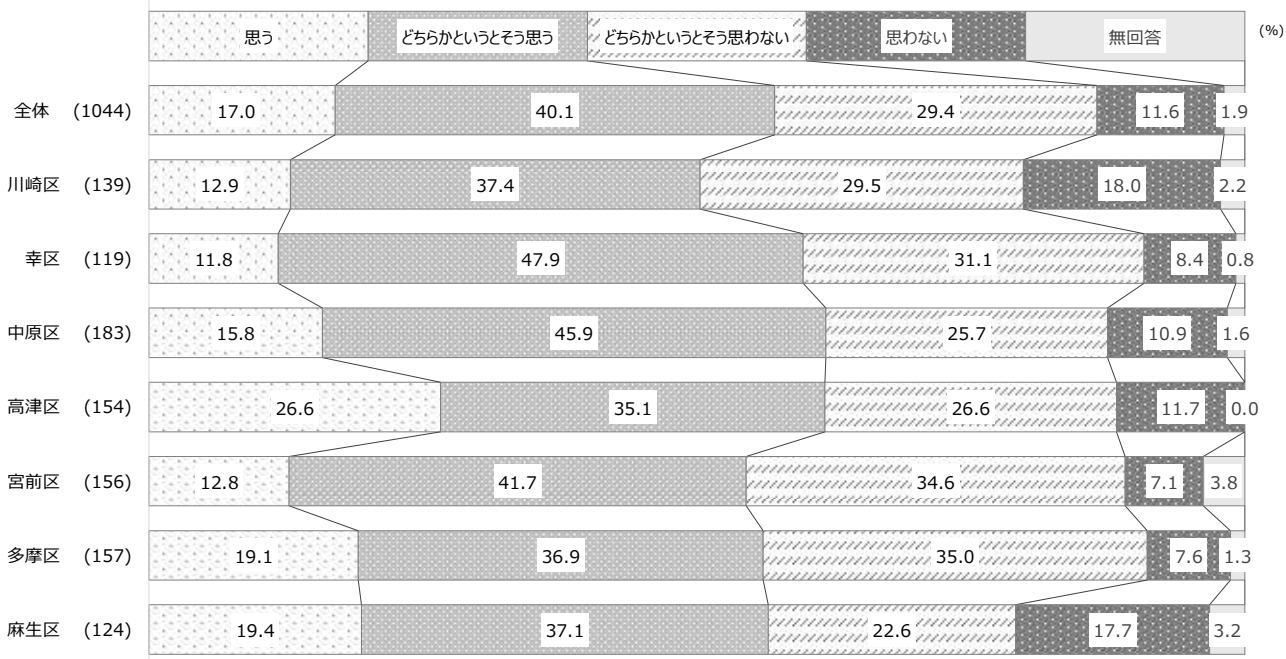
「この1年間」と「今後行ってみたい(継続を含む)」を比較すると、「エアロビクス・ヨガ・バレエ・ピラティス」「登山・トレッキング・トレイルランニング・ロッククライミング」「水泳」「アクアエクササイズ・水中ウォーキング」では「今後行ってみたい」の方が8ポイント以上高くなっている。

「その他」としては、トライアスロン、モルック、ボディコンバットなどの回答が見られた。

問 13 あなたの周りは、運動やスポーツを気軽にできる環境にあると思いますか。(○は1つだけ)

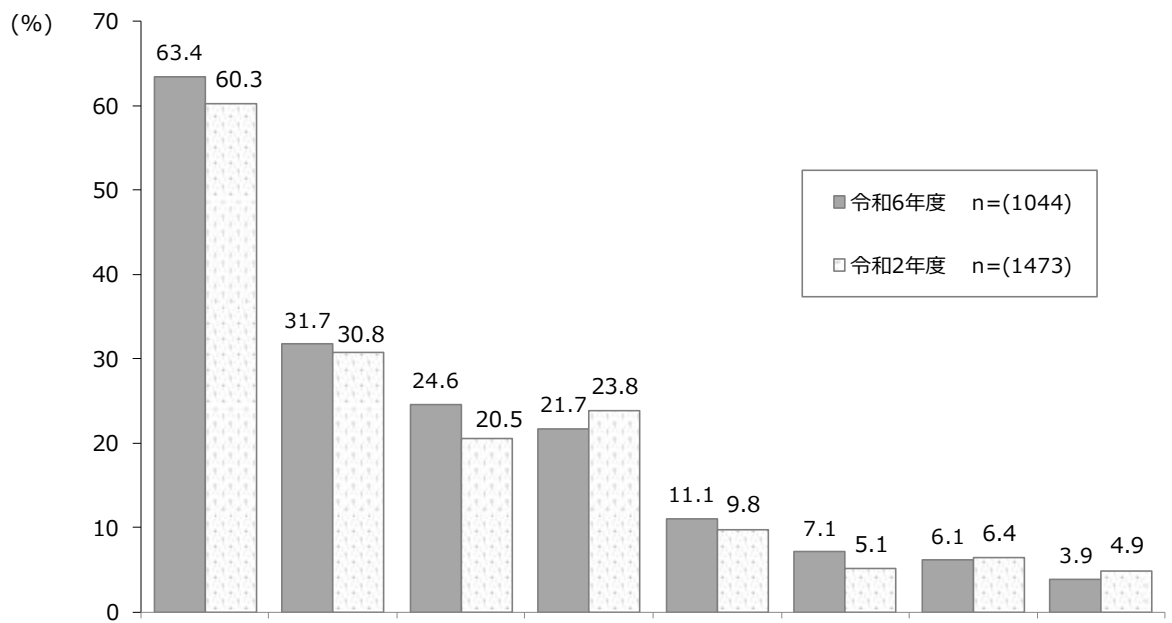


「思う+どちらかというと思う」を合わせた『思う』は 57.1%、「どちらかというと思わない+思わない」を合わせた『思わない』は 41.0%となっている。



居住地区別では、『思う』は中原区と高津区では 6 割以上と高くなっている。川崎区は最も低く 5 割となっている。

問 14 問 13 で回答された主な理由は何ですか。(○は3つまで)



		近くに運動・スポーツができる施設・場所があるから (または、近くにないから)	自分の都合の良い日・時間帯に運動・スポーツができる施設・場所があるから (または、ないから)	安価に運動・スポーツができる施設・機会が充実しているから (または、充実していないから)	一緒に運動・スポーツを楽しめる友人・仲間がいるから (または、いないから)	身近に参加できるスポーツクラブや団体があるから (または、ないから)	身近にスポーツ教室やイベントなどが活発に行われているから (または、行われていないから)	運動・スポーツに関する情報が充実しているから (または、充実していないから)	その他
全 体	1044	63.4	31.7	24.6	21.7	11.1	7.1	6.1	3.9
年 齢	20歳未満	8	62.5	37.5	12.5	25.0	25.0	-	-
	20～29歳	85	58.8	32.9	28.2	36.5	12.9	7.1	12.9
	30～39歳	143	62.2	38.5	32.2	24.5	8.4	8.4	4.2
	40～49歳	190	68.4	28.4	28.9	17.9	8.4	10.5	7.4
	50～59歳	213	68.1	33.3	25.4	21.1	10.3	5.6	4.7
	60～69歳	159	69.2	34.0	25.2	20.8	12.6	5.0	5.0
	70歳以上	234	53.8	26.5	14.5	19.2	14.1	6.8	6.0

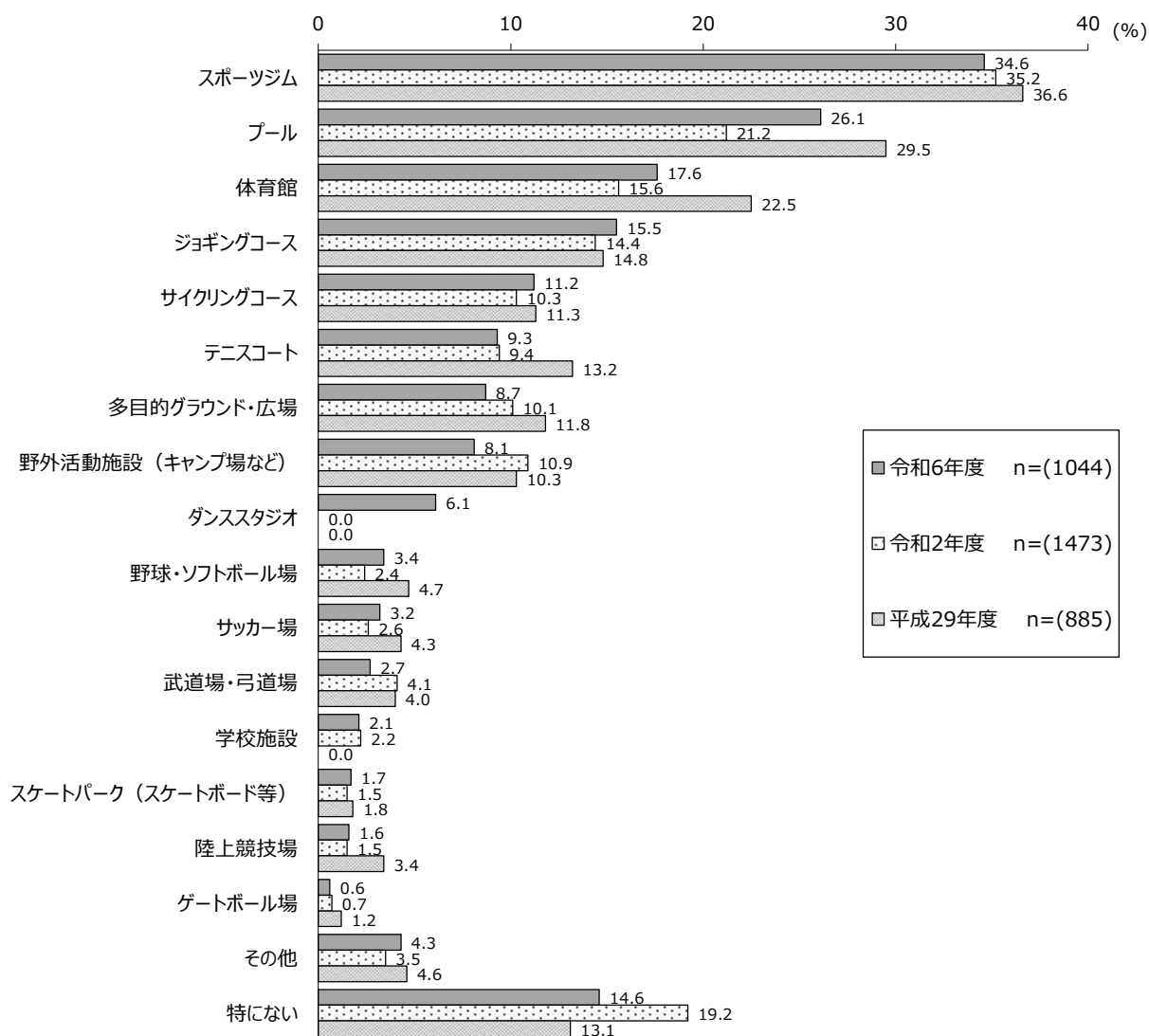
※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「近くに運動・スポーツができる施設・場所があるから (または、近くにないから)」は 63.4%、「自分の都合の良い日・時間帯に運動・スポーツができる施設・場所があるから (または、ないから)」は 31.7%、「安価に運動・スポーツができる施設・機会が充実しているから (または、充実していないから)」は 24.6%となっている。

経年比較では、「一緒に運動・スポーツを楽しめる友人・仲間がいるから (または、いないから)」「運動・スポーツに関する情報が充実しているから (または、充実していないから)」は令和 2 年度比で減少している。それ以外の項目では増加している。

年齢別では、「近くに運動・スポーツができる施設・場所があるから (または、近くにないから)」は 69 歳以下では 6～7 割となっているが、70 歳以上では 5 割程度になっている。「一緒に運動・スポーツを楽しめる友人・仲間がいるから (または、いないから)」は 20～29 歳が 36.5%と最も高く、それ以外の年代よりも 10 ポイント以上高くなっている。

問 15 あなたが、利用したいと思うスポーツ施設はありますか。
 (※現在、利用している施設でも、今後、新たに利用したい施設でも、どちらでも結構です。)
 (○は3つまで)



※前回調査から選択肢を一部変更している。

「スポーツジム」は34.6%、「プール」は26.1%、「体育館」は17.6%となっている。

経年比較では、「スポーツジム」は調査の度に徐々に減少している。「プール」「体育館」は令和2年度比では増加したものの、平成29年度比では減少している。

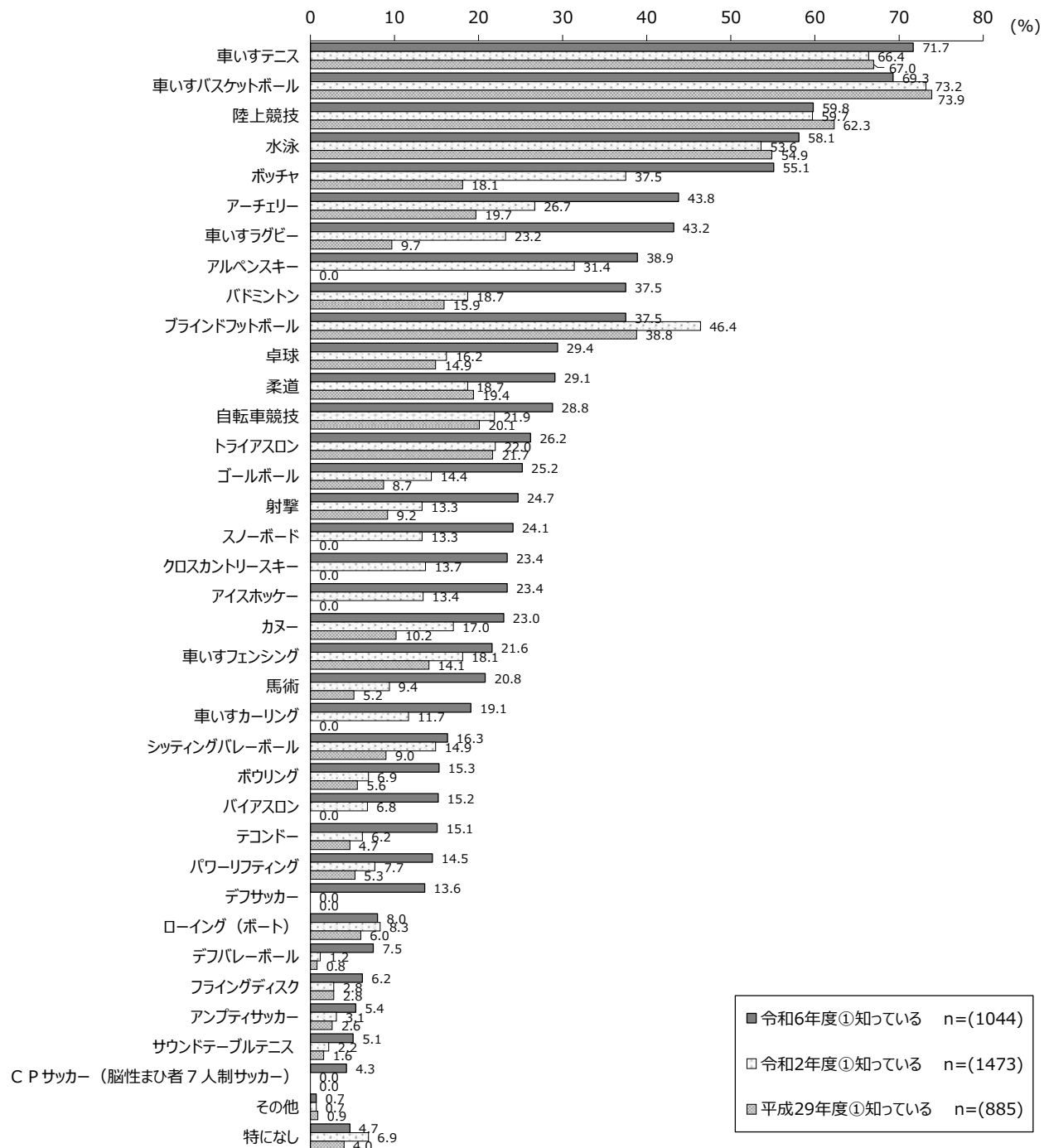
		スポーツジム	プール	体育館	ジョギングコース	サイクリングコース	テニスコート	多目的グラウンド・広場	野外活動施設（キャンプ場など）	ダンススタジオ
全 体	1044	34.6	26.1	17.6	15.5	11.2	9.3	8.7	8.1	6.1
年 齢	20歳未満	8	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	25.0
	20～29歳	85	44.7	23.5	24.7	18.8	12.9	11.8	14.1	9.4
	30～39歳	143	42.7	30.8	22.4	18.2	8.4	12.6	13.3	12.6
	40～49歳	190	45.3	34.2	21.6	20.0	13.7	12.1	5.8	11.1
	50～59歳	213	31.5	28.6	16.9	16.4	19.2	9.4	9.4	8.0
	60～69歳	159	36.5	20.1	11.9	15.7	6.3	6.3	7.5	6.3
	70歳以上	234	18.8	17.9	12.0	9.4	7.3	6.8	7.3	4.7
		野球・ソフトボール場	サッカー場	武道場・弓道場	学校施設	スケートパーク（スケートボード等）	陸上競技場	ゲートボール場	その他	特になし
全 体	1044	3.4	3.2	2.7	2.1	1.7	1.6	0.6	4.3	14.6
年 齢	20歳未満	8	-	-	12.5	12.5	25.0	-	-	12.5
	20～29歳	85	3.5	7.1	1.2	2.4	1.2	2.4	-	1.2
	30～39歳	143	9.8	4.9	1.4	2.1	2.8	2.8	-	5.6
	40～49歳	190	2.1	4.7	3.2	1.6	3.7	1.6	-	3.7
	50～59歳	213	3.3	3.8	2.8	2.8	0.9	1.4	-	4.2
	60～69歳	159	2.5	1.3	5.0	2.5	-	1.9	0.6	4.4
	70歳以上	234	1.3	0.4	1.7	1.3	0.9	0.9	2.1	5.1

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別では、「スポーツジム」は20～49歳が4割以上と高くなっている。一方で70歳以上では2割以下と最も低くなっている。「プール」は30～59歳が3割程度と高くなっている。

問 16 「パラスポーツ」としてお伺いします。あなたが①知っている、②興味がある「パラスポーツ」は何ですか。また、③体験してみたい「パラスポーツ」は何ですか。
 (パラスポーツのルールとして行うもので、アイマスクや義足などを使用した体験会を含む。)
 (①・②・③それぞれ、○はいくつでも)

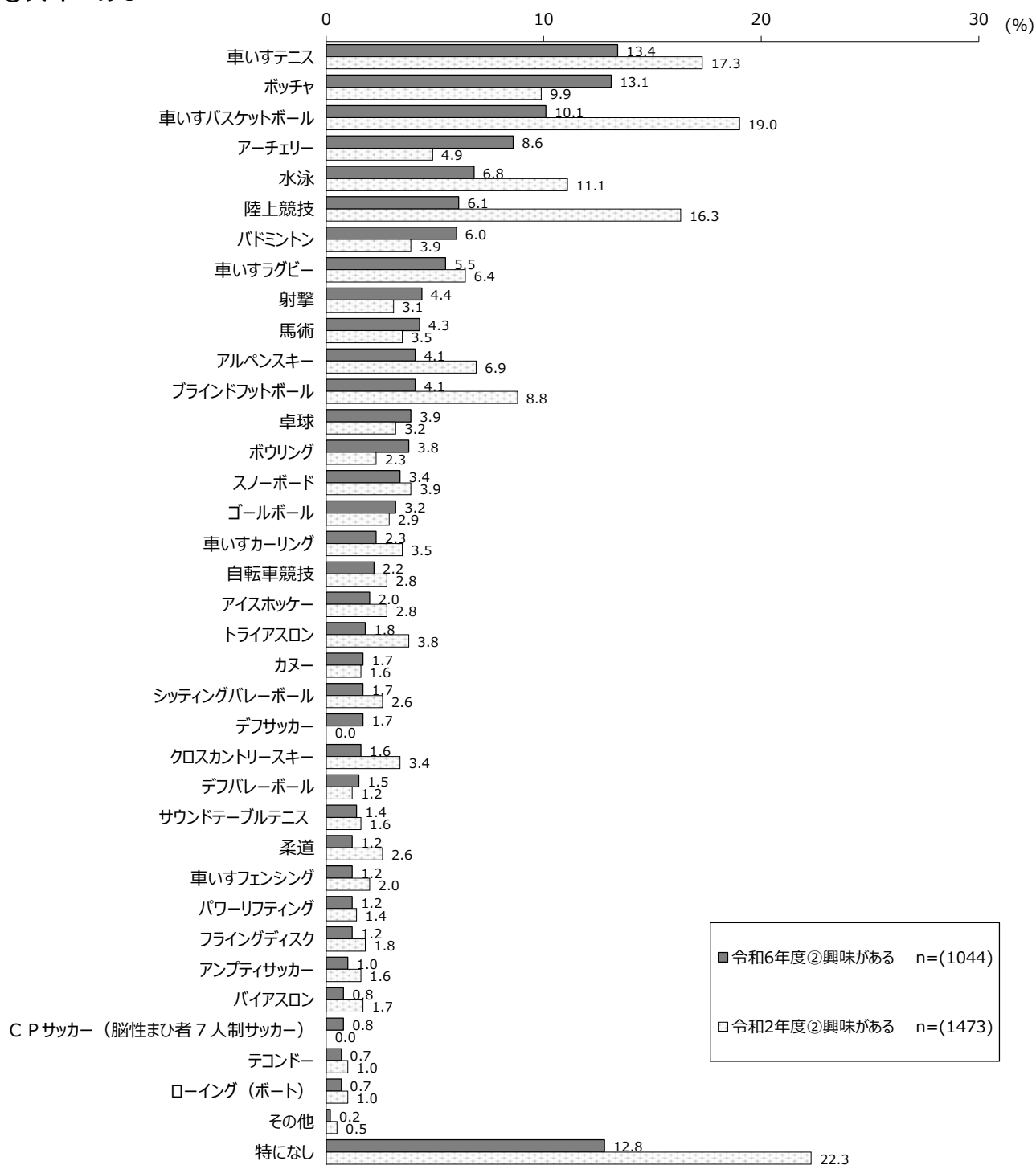
①知っている



「車いすテニス」は71.7%、「車いすバスケットボール」は69.3%、「陸上競技」は59.8%となっている。

令和2年度比では、「車いすラグビー」「バドミントン」「ボッチャ」「アーチェリー」の認知度が15ポイント以上と大きく増加している。一方で「ブラインドフットボール」の認知度は減少している。

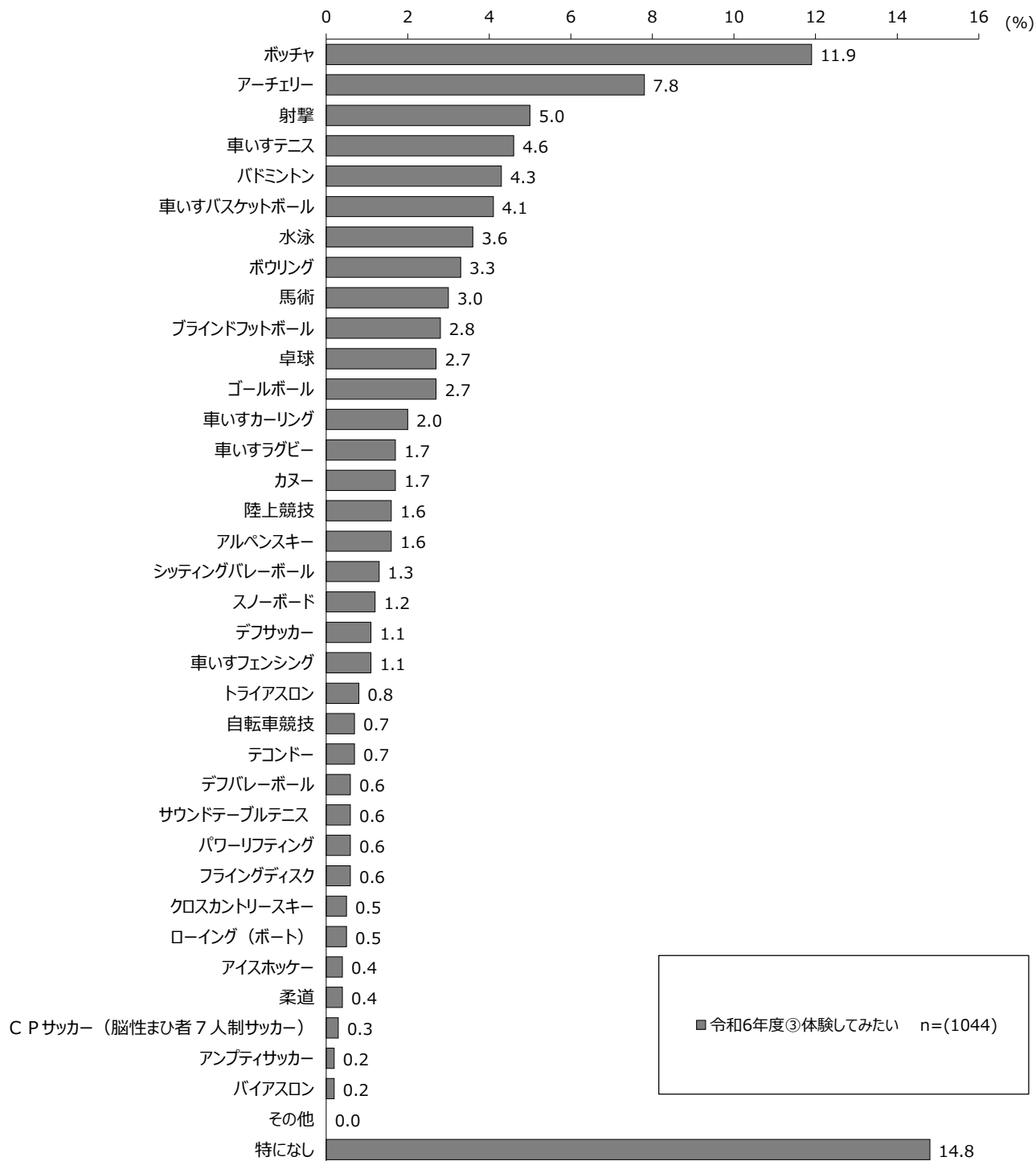
②興味がある



「車いすテニス」は13.4%、「ボッチャ」は13.1%、「車いすバスケットボール」は10.1%となっている。

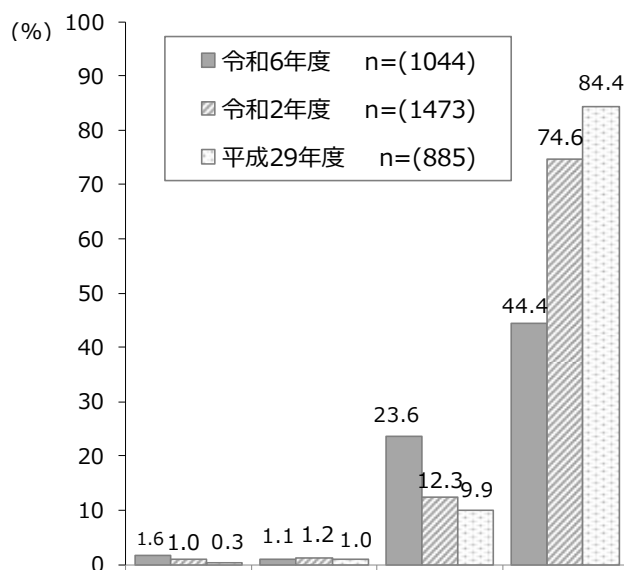
令和2年度比では「陸上競技」「車いすバスケットボール」が8ポイント以上減少している。

③体験してみたい



「ボッチャ」は 11.9%、「アーチェリー」は 7.8%、「射撃」は 5.0%となっている。

問 17 あなたは、この1年間に「パラスポーツ」をする機会がありましたか。
(車いすやアイマスク等を使用したイベントでの体験を含む。)(○はいくつでも)



		川崎市内外で行った (体験した)	川崎市外で行った (体験した)	興味があるが行ってない (体験していない)	興味がないため行ってない (体験していない)
全 体	1044	1.6	1.1	23.6	44.4
性 別					
男性	478	1.5	0.8	18.8	42.3
女性	540	1.9	1.5	28.0	47.0
年 齢					
20歳未満	8	-	-	37.5	25.0
20～29歳	85	1.2	2.4	23.5	38.8
30～39歳	143	2.1	0.7	12.6	42.7
40～49歳	190	2.1	2.6	20.5	46.3
50～59歳	213	0.9	1.4	24.9	38.0
60～69歳	159	1.3	-	26.4	49.7
70歳以上	234	2.1	0.4	28.6	49.6

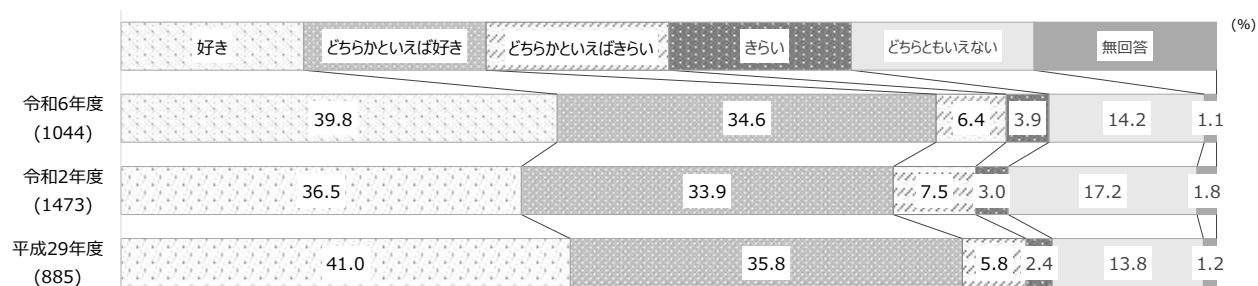
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「川崎市内外で行った (体験した) + 川崎市外で行った (体験した)」を合わせた『行った』は2.7%、「興味があるが行ってない (体験していない) + 興味がないため行ってない (体験していない)」を合わせた『行ってない』は68.0%となっている。

経年比較では、「興味があるが行ってない (体験していない)」は調査の度に増加している。「興味がないため行ってない (体験していない)」は調査の度に減少している。

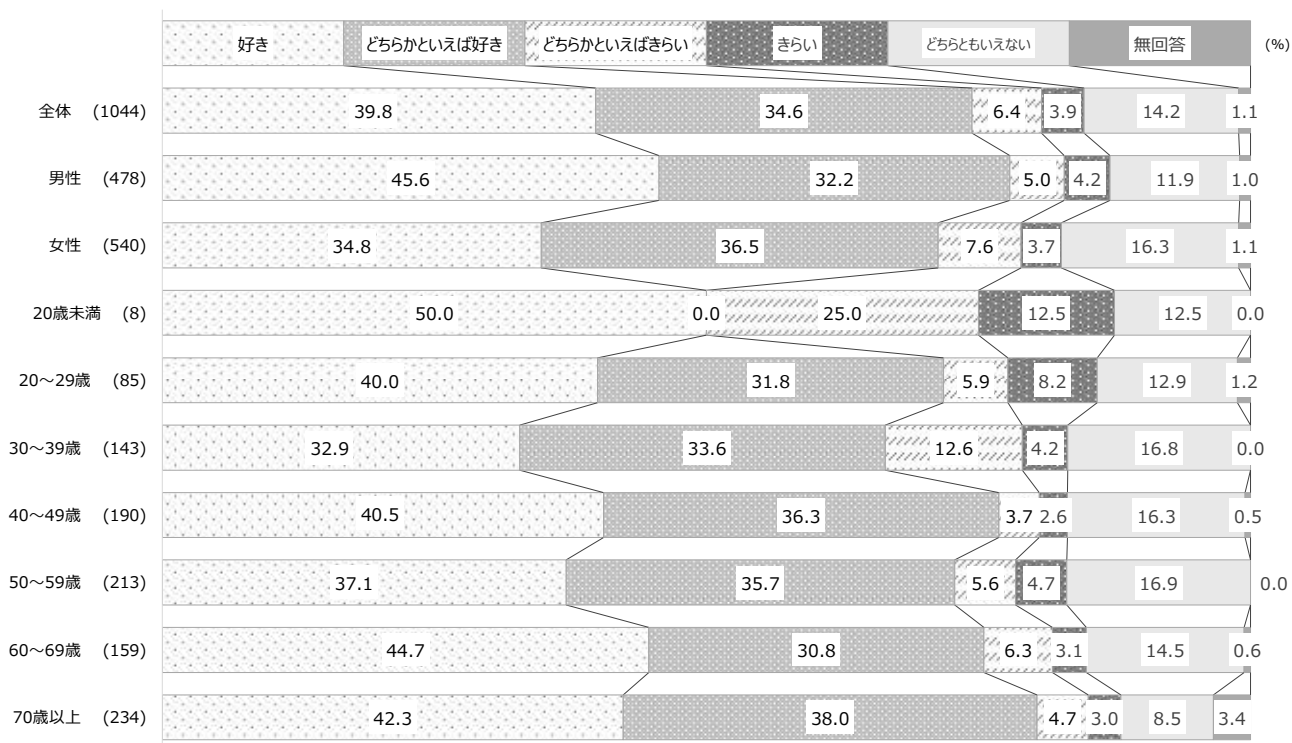
3. 観る・応援するスポーツについて

問 18 あなたは、スポーツを観ることが好きですか。(○は1つだけ)



「好き+どちらかといえば好き」を合わせた『好き』は74.4%、「どちらかといえば嫌い+嫌い」を合わせた『嫌い』は10.3%となっている。

令和2年度比では『好き』は4ポイント増加している。『嫌い』はほぼ変化が見られなかった。平成29年度比では、『好き』は減少している。一方で『嫌い』は増加している。

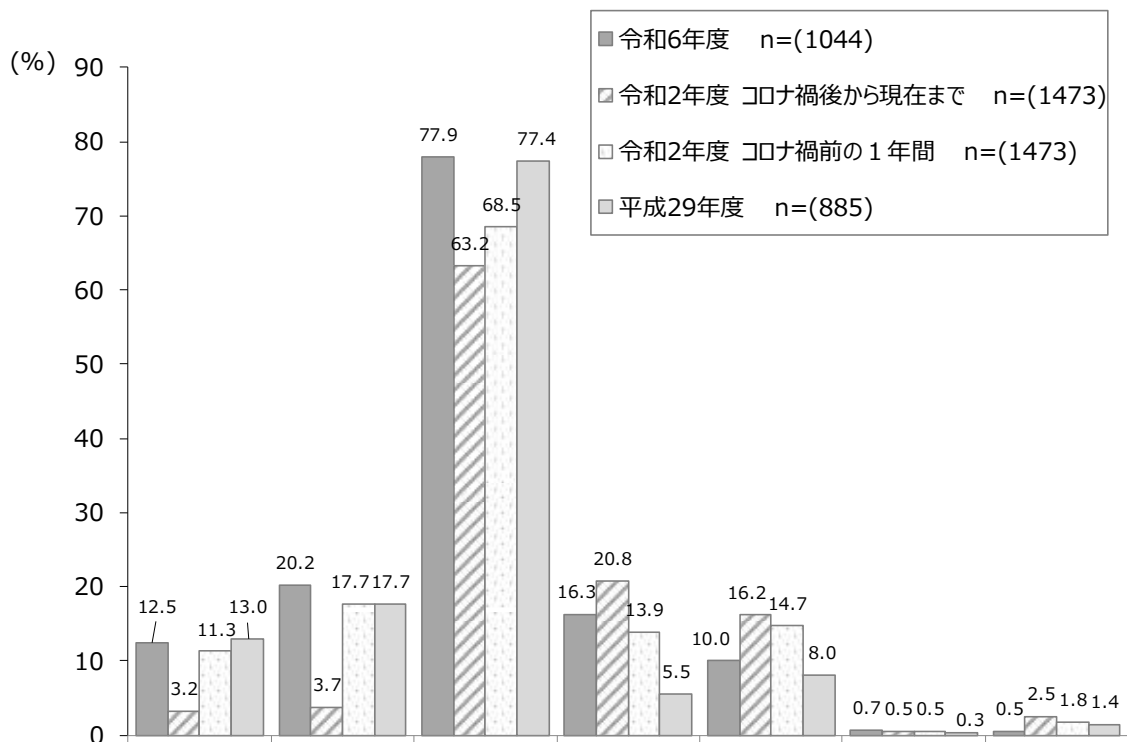


※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

性別では、『好き』は男性が77.8%と高く、女性よりも高くなっている。

年齢別では、『好き』は70歳以上が最も高く8割以上となっている。全ての年代で6割を超えている。

問 19 あなたは、この1年間でスポーツを何らかの形で観る機会がありましたか。(○はい/×いいえ)



		川崎市内の会場で観戦した	川崎市外の会場で観戦した	テレビ・インターネット等で観戦した	機会があれば観戦したいが観戦していない	関心がないため観戦していない	その他	わからない
全 体	1044	12.5	20.2	77.9	16.3	10.0	0.7	0.5
年 齢	20歳未満	8	-	12.5	87.5	12.5	-	-
	20～29歳	85	11.8	27.1	67.1	3.5	18.8	-
	30～39歳	143	14.7	23.8	67.8	12.6	17.5	0.7
	40～49歳	190	21.6	23.2	80.0	17.4	8.9	0.5
	50～59歳	213	15.0	28.2	80.3	12.2	10.3	0.5
	60～69歳	159	7.5	18.2	83.0	22.0	6.3	0.6
	70歳以上	234	5.6	8.1	80.3	23.1	5.6	2.1

※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

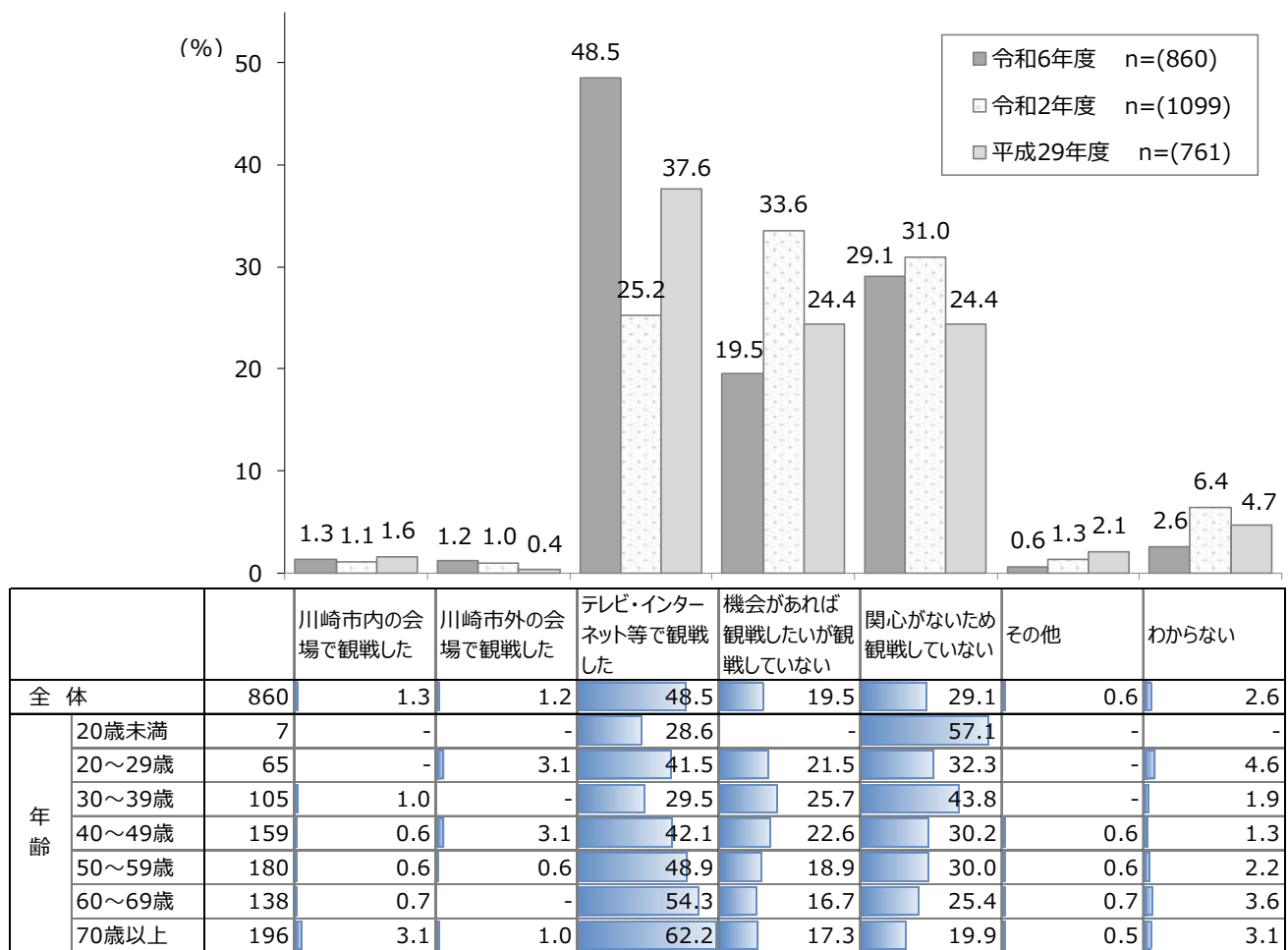
「テレビ・インターネット等で観戦した」は 77.9%、「川崎市外の会場で観戦した」は 20.2%、「機会があれば観戦したいが観戦していない」は 16.3%となっている。

経年比較では、会場、テレビ・インターネット等に関わらず「観戦した」と回答した人は令和 2 年度コロナ禍後から現在までと比べて増加している。令和 2 年度コロナ禍前の 1 年間と比べても増加している。

市内で観戦した人と市外で観戦した人から、重複（両方で観戦した人）を除いた「直接観戦率」は 25.8%で、令和 2 年度コロナ禍前の 1 年間の 23.4%から増加している。

年齢別では、「テレビ・インターネット等で観戦した」は 40 歳以上が 8 割以上と高くなっている。「川崎市外の会場で観戦した」は 20～59 歳が 2 割以上となっている。

問 20 観戦したスポーツのうち、「パラスポーツ」を観る機会がありましたか。(〇はいくつでも)



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

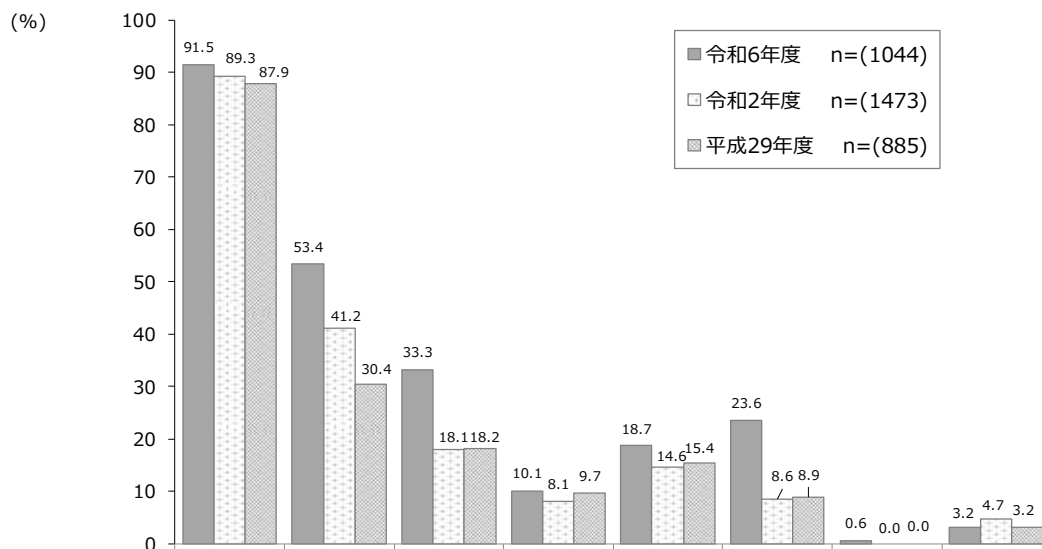
「テレビ・インターネット等で観戦した」は48.5%、「関心がないため観戦していない」は29.1%、「機会があれば観戦したいが観戦していない」は19.5%となっている。

経年比較では、「テレビ・インターネット等で観戦した」は令和2年度比では20ポイント以上高くなっている。平成29年度比でも10ポイント以上高くなっている。「関心がないため観戦していない」「機会があれば観戦したいが観戦していない」は令和2年度比では減少している。

年齢別では、「テレビ・インターネット等で観戦した」は70歳以上が6割以上となっている。一方で30～39歳が3割以下と最も低くなっている。「関心がないため観戦していない」は30～39歳が4割以上と最も高くなっている。

問 21 川崎市を拠点(ホームタウン)に日本のトップレベルで活躍している次のチームを①知っていますか。また、②応援しているチームや、③この1年間に会場で試合を観戦したチームはありますか。(①・②・③それぞれ、〇はいくつでも)

① 知っているチーム



			川崎フロンターレ（サッカー）	川崎ブレイブサンダース（男子バスケットボール）	NECレッドロケッツ川崎（女子バレーボール）	東芝ブレイブアレイウス（野球）	富士通フロンティアーズ（アメリカンフットボール）	富士通レッドウェーブ（女子バスケットボール）	その他川崎市を拠点にしているチーム	全て知らない
全 体		1044	91.5	53.4	33.3	10.1	18.7	23.6	0.6	3.2
年 齢	20歳未満	8	87.5	50.0	12.5	-	-	12.5	-	12.5
	20～29歳	85	95.3	44.7	24.7	3.5	12.9	18.8	-	4.7
	30～39歳	143	93.0	60.1	33.6	11.2	16.1	19.6	-	4.9
	40～49歳	190	93.2	68.4	39.5	8.9	18.9	27.9	-	2.1
	50～59歳	213	95.3	63.4	39.4	10.3	25.4	24.9	1.4	2.8
	60～69歳	159	92.5	49.7	34.0	14.5	21.4	28.3	0.6	3.1
	70歳以上	234	85.0	35.5	26.9	10.3	15.8	20.5	0.9	2.1
居 住 地 区	川崎区	139	87.8	54.7	27.3	12.9	23.0	20.9	-	4.3
	幸区	119	89.9	60.5	42.0	16.0	28.6	28.6	1.7	5.0
	中原区	183	95.6	69.4	56.8	9.3	23.5	36.6	0.5	0.5
	高津区	154	93.5	55.8	34.4	10.4	22.1	27.9	0.6	3.2
	宮前区	156	92.9	47.4	23.1	7.7	15.4	17.3	-	3.2
	多摩区	157	90.4	51.0	27.4	8.9	11.5	21.0	1.3	2.5
	麻生区	124	90.3	31.5	16.1	7.3	8.1	8.9	-	4.0

※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

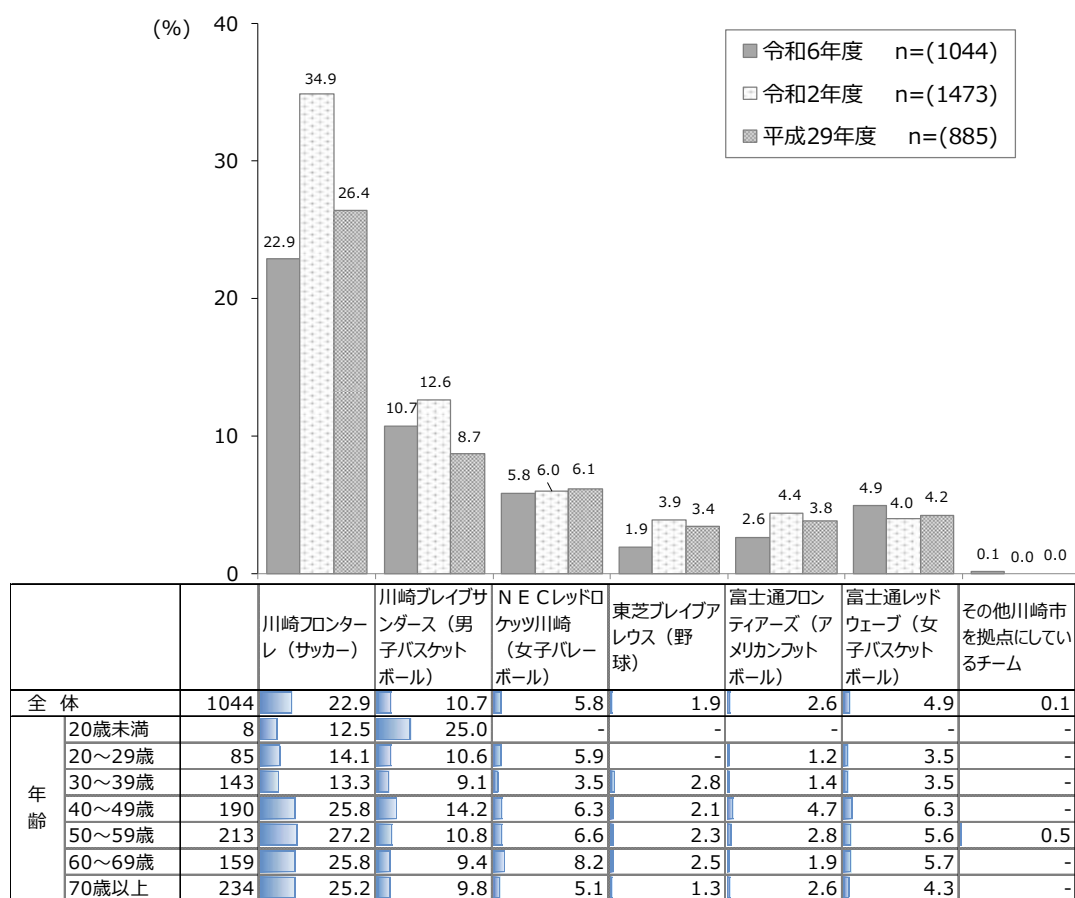
「川崎フロンターレ (サッカー)」の認知度は、9 割を超えている。「川崎ブレイブサンダース (男子バスケットボール)」は 5 割以上となっている。

経年比較では、全てのチームで令和 2 年度比では増加している。特に、「川崎ブレイブサンダース (男子バスケットボール)」「NEC レッドロケッツ川崎 (女子バレーボール)」「富士通レッドウェーブ (女子バスケットボール)」は 10 ポイント以上増加している。

年齢別では、「川崎ブレイブサンダース (男子バスケットボール)」は 30～59 歳が 6 割を超えている。「NEC レッドロケッツ川崎 (女子バレーボール)」は 40～59 歳がほぼ 4 割とそれ以外の年代に比べて高くなっている。

居住地区別では、「川崎ブレイブサンダース (男子バスケットボール)」は中原区が約 7 割と最も高く、次いで幸区が 6 割となっている。麻生区が 3 割と最も低くなっている。「NEC レッドロケッツ川崎 (女子バレーボール)」は中原区が約 6 割とそれ以外の地区に比べて 10 ポイント以上高くなっている。

② 応援している(応援したい)チーム



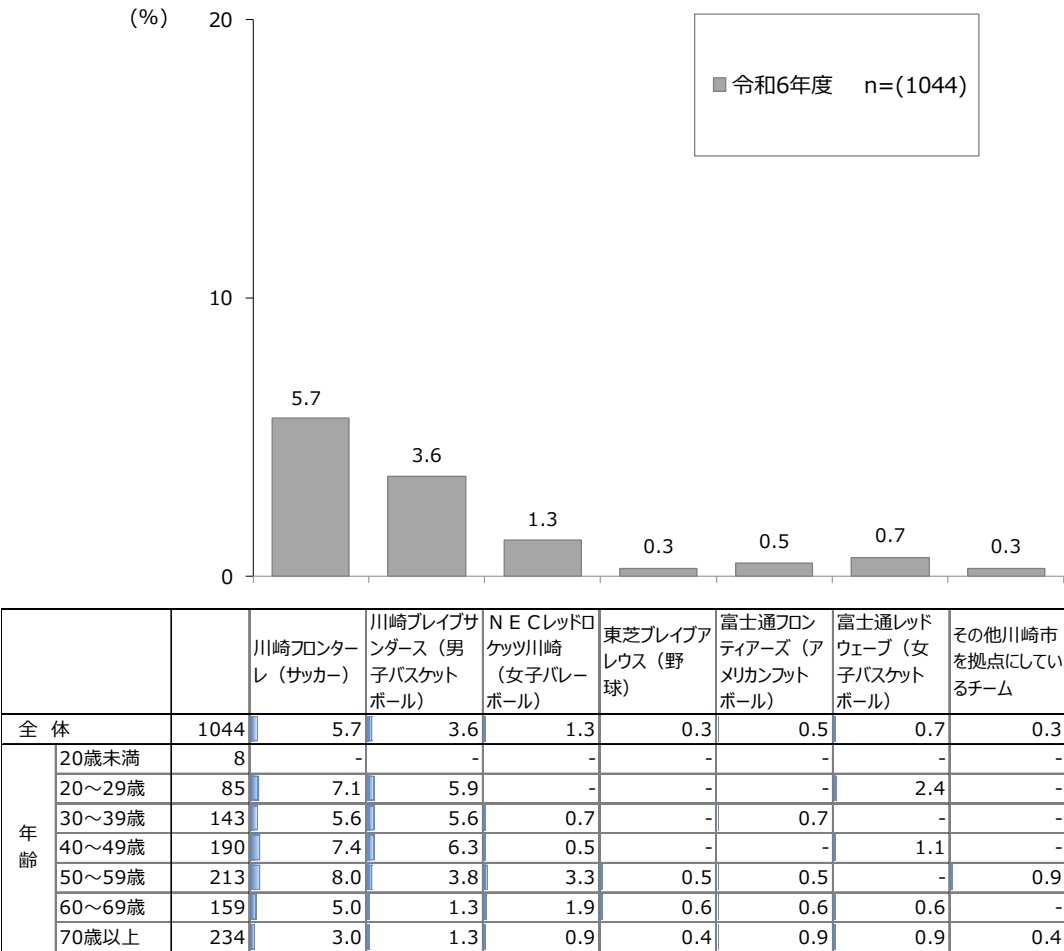
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「川崎フロンターレ (サッカー)」は、22.9%と最も高く、次いで「川崎ブレイブサンダース (男子バスケットボール)」は10.7%となっている。

経年比較では、「川崎フロンターレ (サッカー)」は令和2年度比では10ポイント以上減少している。

年齢別では、「川崎フロンターレ (サッカー)」は40歳以上では2割を超えているものの、39歳以下では1割程度となっている。「川崎ブレイブサンダース (男子バスケットボール)」は40～49歳が最も高くなっている。

③この１年間に会場で試合を観戦したチーム



※前回調査は「観戦したいチーム」を調査した。

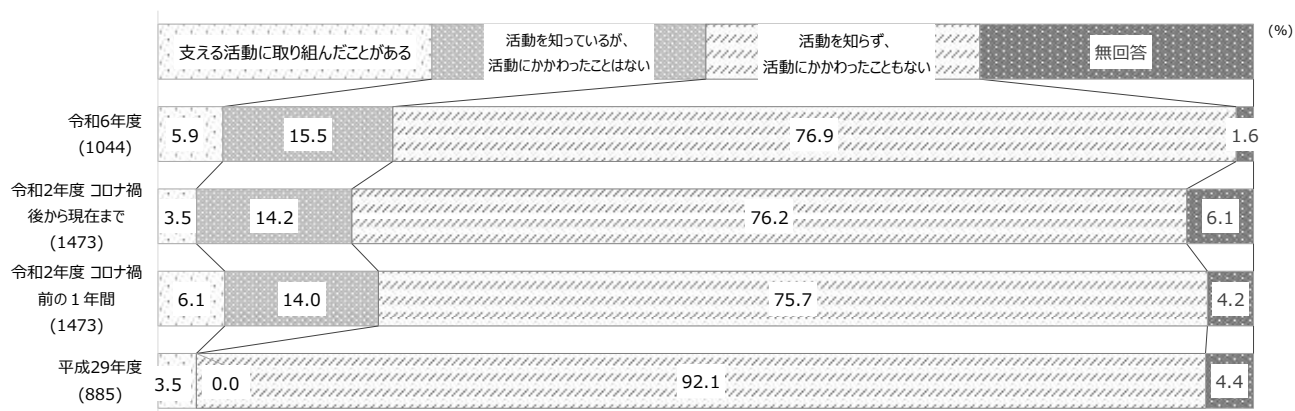
※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「川崎フロンターレ (サッカー)」は 5.7%、「川崎ブレイブサンダース (男子バスケットボール)」は 3.6%、「NECレッドロケッツ川崎 (女子バレーボール)」は 1.3%となっている。

年齢別では、傾向に大きな差は見られなかった。

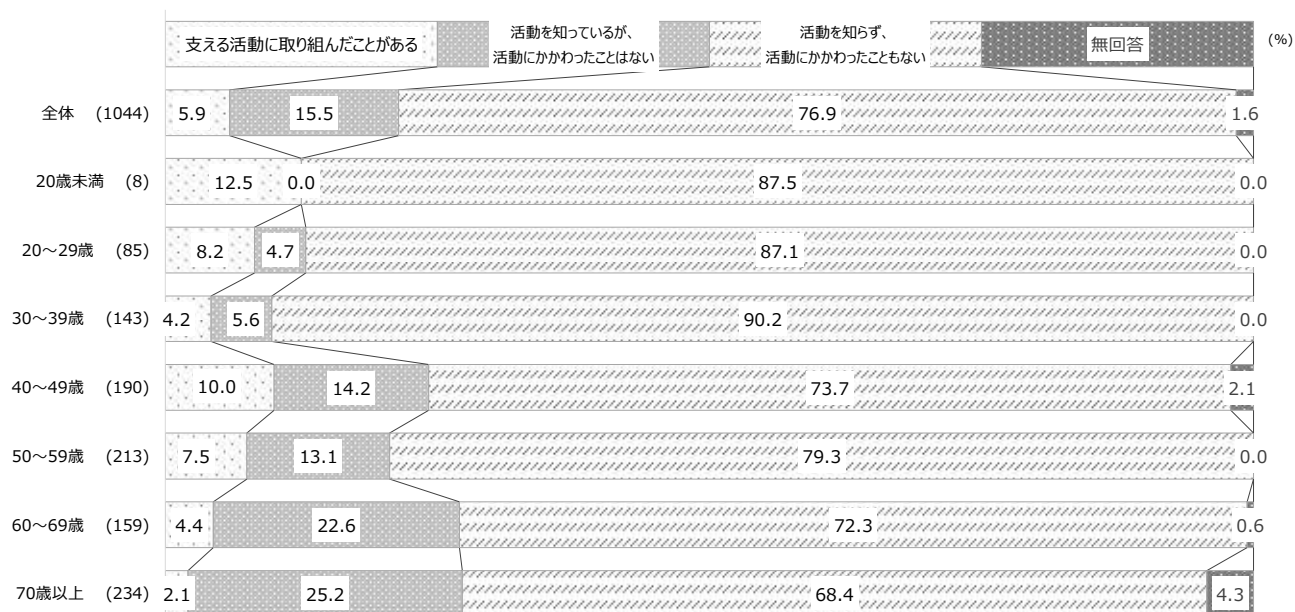
4. スポーツを支える活動について

問 22 あなたは、この1年間でスポーツを支える活動に参加したことはありますか。(○は1つだけ)



「活動を知らず、活動にかかわったこともない」は76.9%、「活動を知っているが、活動にかかわったことはない」は15.5%、「支える活動に取り組んだことがある」は5.9%となっている。

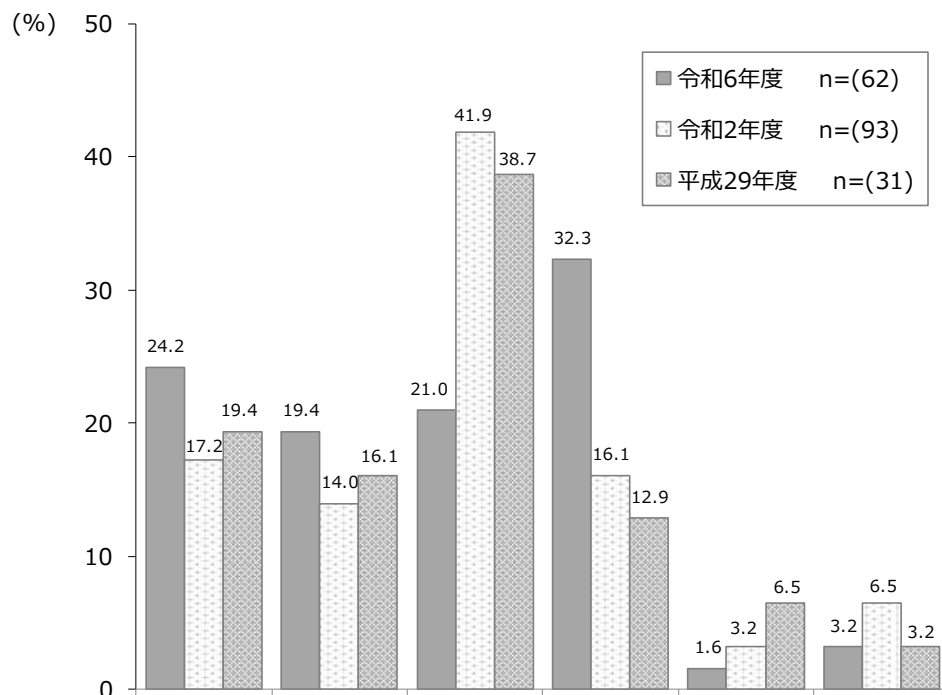
経年では傾向に差は見られなかった。



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別では、「活動を知らず、活動にかかわったこともない」は39歳以下が9割程度と高くなっている。「支える活動に取り組んだことがある」は40～49歳が最も高く1割を占める。

問 23-1 参加したスポーツを支える活動のうち、「パラスポーツ」を支える活動に参加したことはありますか。(〇はいくつでも)



			川崎市内で参加した	川崎市外で参加した	機会があれば参加したいが参加していない	関心がないため参加していない	その他	わからない
全 体		62	24.2	19.4	21.0	32.3	1.6	3.2
性 別	男性	33	27.3	21.2	18.2	27.3	-	6.1
	女性	27	18.5	14.8	25.9	40.7	3.7	-
年 齢	20歳未満	1	-	-	-	100.0	-	-
	20～29歳	7	28.6	42.9	14.3	14.3	-	-
	30～39歳	6	16.7	-	33.3	66.7	-	-
	40～49歳	19	21.1	21.1	21.1	36.8	5.3	-
	50～59歳	16	18.8	12.5	31.3	25.0	-	6.3
	60～69歳	7	28.6	14.3	14.3	28.6	-	14.3
	70歳以上	5	40.0	40.0	-	20.0	-	-

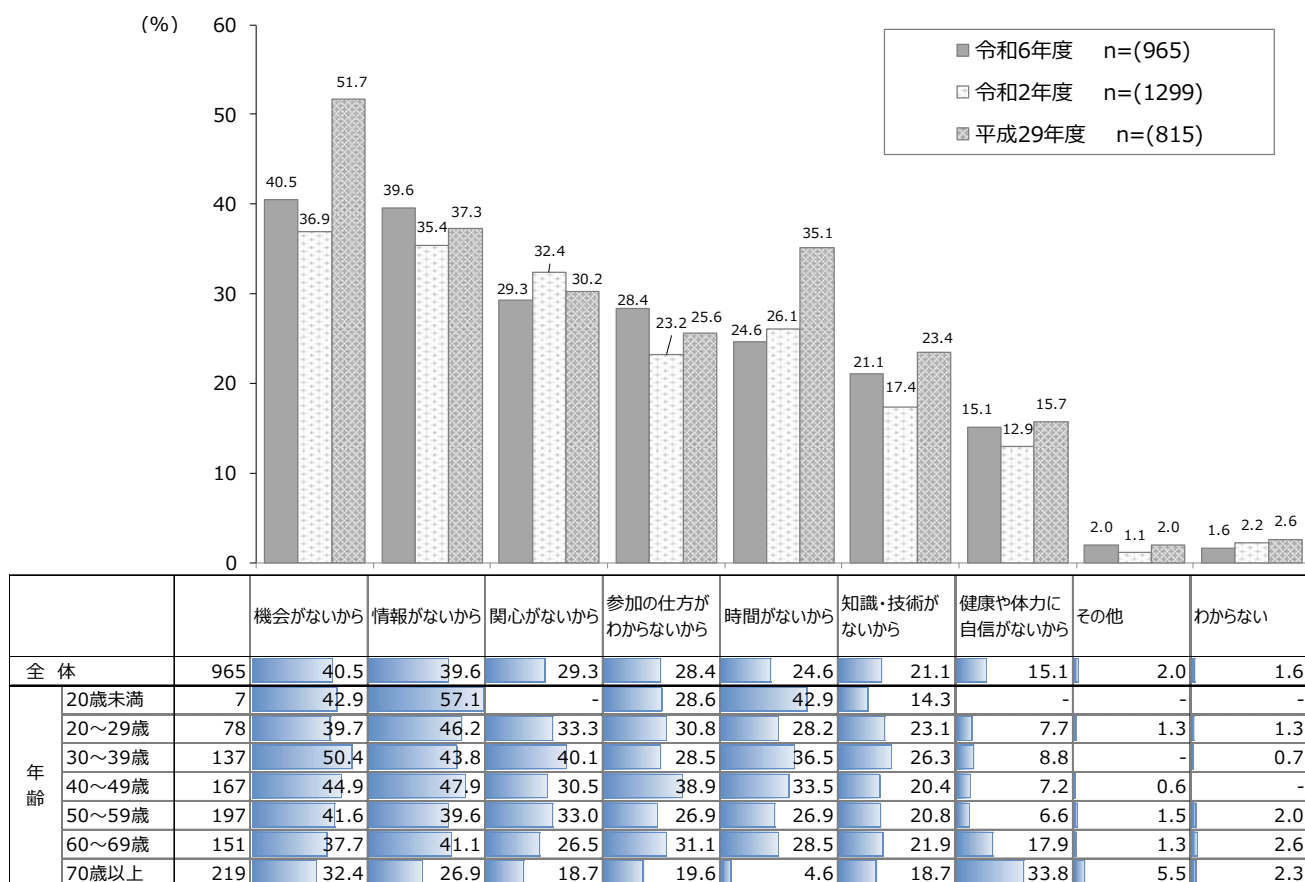
※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「川崎市内で参加した+川崎市外で参加した」を合わせた『参加した』は 43.6%、「機会があれば参加したいが参加していない+関心がないため参加していない」を合わせた『参加していない』は 53.3%となっている。

経年比較では、『参加した』は令和 2 年度比でも、平成 29 年度比でも増加している。「機会があれば参加したいが参加していない」は令和 2 年度比で 20 ポイント以上減少している。「関心がないため参加していない」は 15 ポイント以上増加している。

性別では、『参加した』は男性の方が高くなっている。「関心がないため参加していない」は男性の方が低くなっている。

問 23-2 スポーツを支える活動に参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

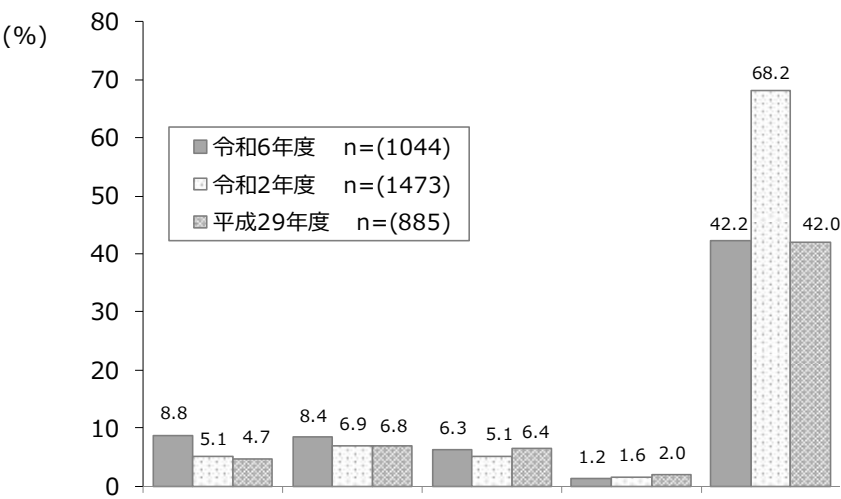
「機会がないから」は 40.5%、「情報がないから」は 39.6%、「関心がないから」は 29.3%となっている。

経年比較では、「機会がないから」は令和 2 年度比では増加しているものの、平成 29 年度比では減少している。「時間がないから」は調査の度に減少しており、平成 29 年度比では 10 ポイント以上減少している。

年齢別では、「機会がないから」「関心がないから」は 30～39 歳が最も高くなっている。「健康や体力に自信がないから」は 70 歳以上では 3 割を超えて、それ以外の年代よりも高くなっている。

問 24 あなたがこれまでに行ったことがある(または、現在、行っている)スポーツを支える活動は何ですか。また、今後、市民にとって大切になるとと思われる活動はありますか。(それぞれ、〇はいくつでも)

〇行ったことがある・行っている活動



		地域のスポーツ団体（チーム）などの活動支援（団体活動の取りまとめや調整、活動時の世話など）	スポーツ大会やイベント、運動会の設営、運営などの支援（大会・イベントボランティアなど）	地域でのスポーツ指導、指導補助（審判などを含む）	その他	特になし
全 体	1044	8.8	8.4	6.3	1.2	42.2
年 齢	20歳未満	8	12.5	12.5	-	50.0
	20～29歳	85	7.1	16.5	10.6	41.2
	30～39歳	143	5.6	7.0	9.8	50.3
	40～49歳	190	12.6	8.9	4.7	43.7
	50～59歳	213	11.7	8.9	6.6	47.4
	60～69歳	159	8.8	10.7	6.9	43.4
	70歳以上	234	6.0	4.3	3.8	30.8

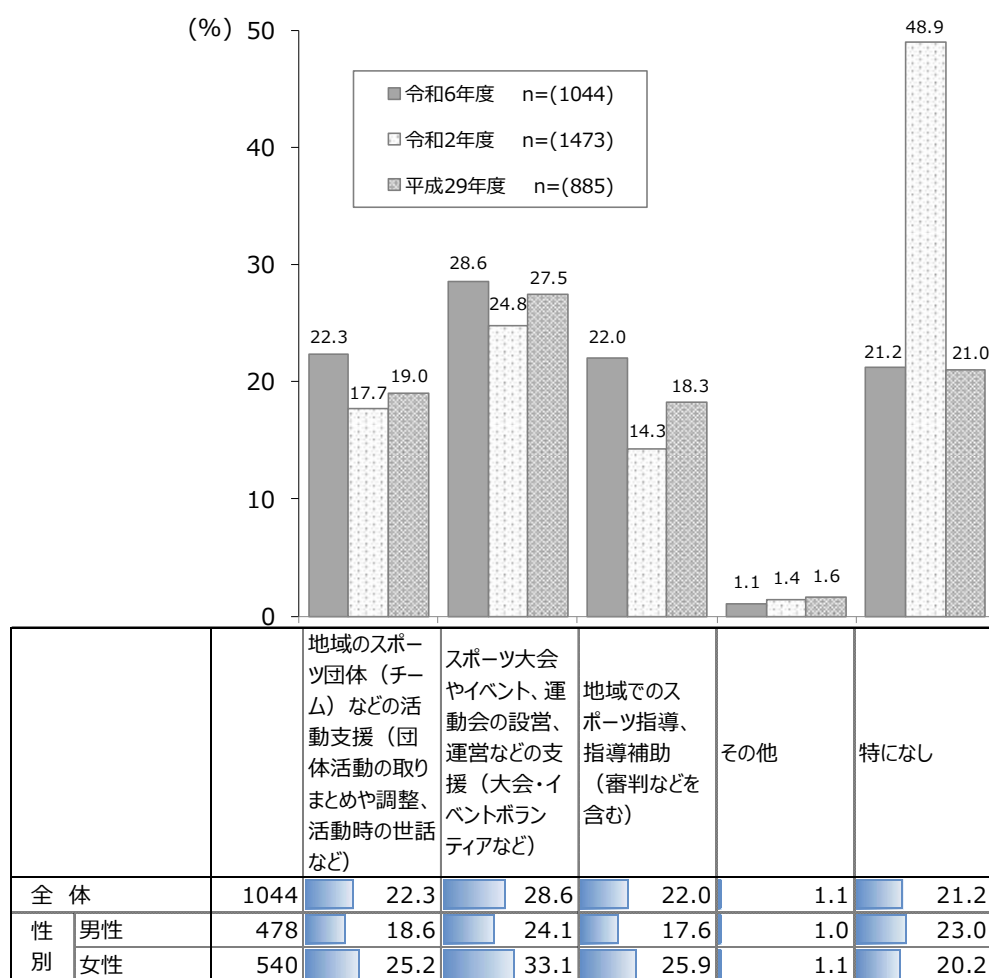
※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「地域のスポーツ団体（チーム）などの活動支援（団体活動の取りまとめや調整、活動時の世話など）」は 8.8%、「スポーツ大会やイベント、運動会の設営、運営などの支援（大会・イベントボランティアなど）」は 8.4%、「地域でのスポーツ指導、指導補助（審判などを含む）」は 6.3%となっている。「特になし」は 42.2%となっている。

経年比較では、概ね大きな差はみられないが、「特になし」は令和 2 年度比では 26 ポイント減少したものの、平成 29 年度比では 0.2 ポイント差と同程度となっている。

年齢別では、「スポーツ大会やイベント、運動会の設営、運営などの支援（大会・イベントボランティアなど）」は 20～29 歳が 16.5%と最も高くなっている。

○今後、大切になる活動

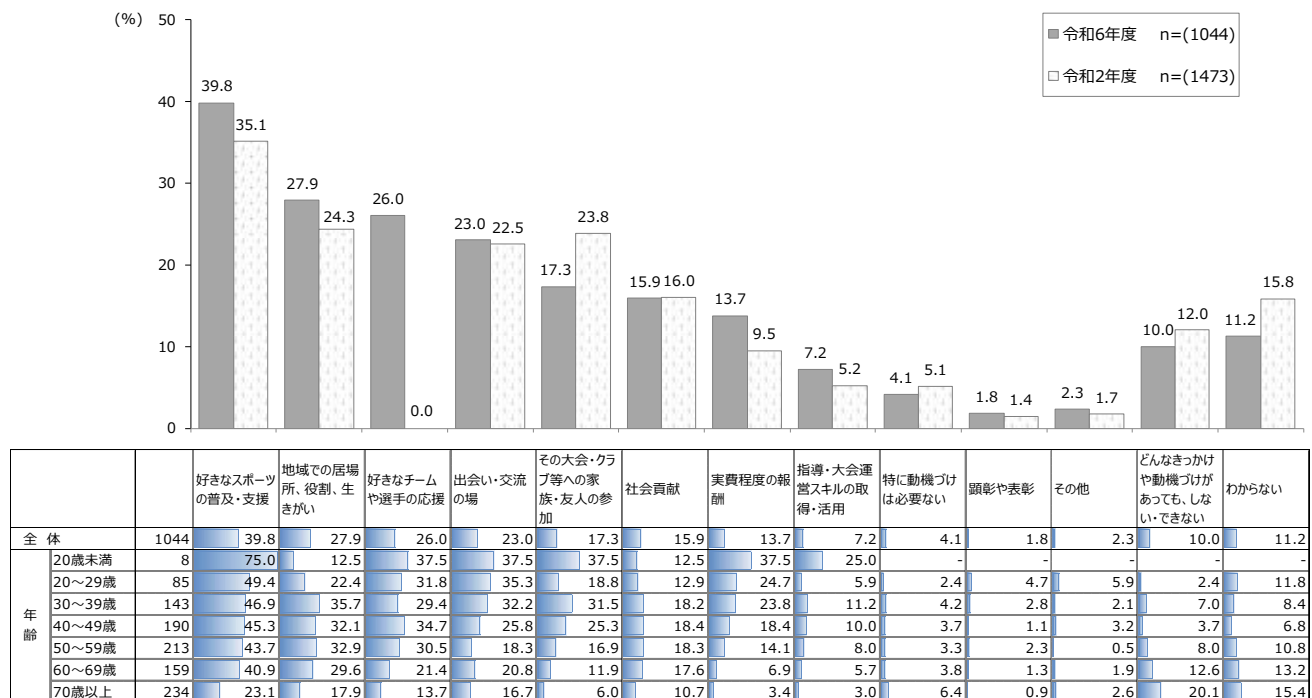


「スポーツ大会やイベント、運動会の設営、運営などの支援（大会・イベントボランティアなど）」は28.6%、「地域のスポーツ団体（チーム）などの活動支援（団体活動の取りまとめや調整、活動時の世話など）」は22.3%、「地域でのスポーツ指導、指導補助（審判などを含む）」は22.0%となっている。「特になし」は21.2%となっている。

経年比較では、「地域のスポーツ団体（チーム）などの活動支援（団体活動の取りまとめや調整、活動時の世話など）」「スポーツ大会やイベント、運動会の設営、運営などの支援（大会・イベントボランティアなど）」「地域でのスポーツ指導、指導補助（審判などを含む）」は令和2年度比も、平成29年度比でも増加している。

性別では、全ての活動で女性の方が男性よりも高くなっている。

問 25 どんなきっかけや動機づけ(モチベーション)があれば、スポーツを支える活動を行ったり続けたりすると思いますか。(〇はいくつでも)



※前回調査から選択肢を一部変更している。

※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

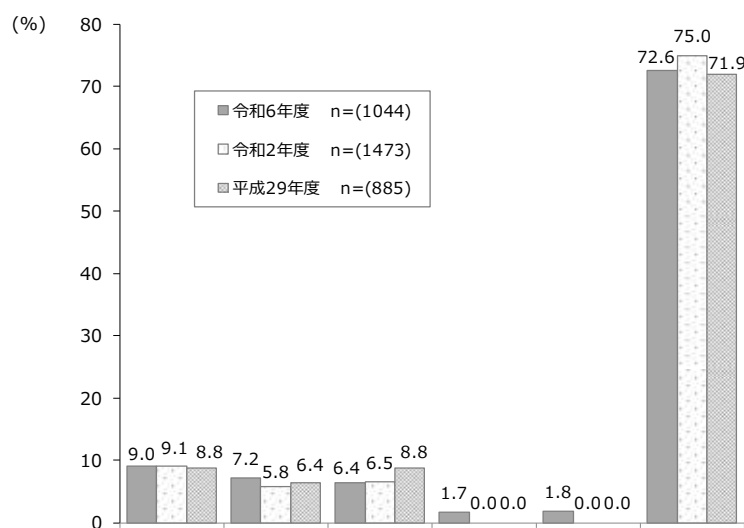
「好きなスポーツの普及・支援」は 39.8%、「地域での居場所、役割、生きがい」は 27.9%、「好きなチームや選手の応援」は 26.0%となっている。

経年比較では、「好きなスポーツの普及・支援」「実費程度の報酬」は令和 2 年度比では 4 ポイント以上増加している。「その大会・クラブ等への家族・友人の参加」は 6.5 ポイント減少している。

年齢別では、「好きなスポーツの普及・支援」は 20～69 歳は 4～5 割となっている。「出会い・交流の場」「実費程度の報酬」は若年層ほど高い傾向がみられる。

5. スポーツの行事・団体・広報について

問 26 この1年間に、以下のようなスポーツイベント・行事に参加したことがありますか。(〇はいくつでも)



			町内会・自治会や行政などが主催する地域のスポーツイベント・行事に参加した	民間の企業やNPO（市民活動団体等）が企画したスポーツイベント・行事に参加した	職場（大学などを含む）で企画されたスポーツイベント・行事に参加した	主催や企画元はわからないが、参加した	その他	スポーツイベント・行事に参加したことがない
全 体		1044	9.0	7.2	6.4	1.7	1.8	72.6
年 齢	20歳未満	8	-	-	37.5	-	-	62.5
	20～29歳	85	5.9	5.9	12.9	2.4	-	76.5
	30～39歳	143	6.3	8.4	9.1	2.8	-	74.8
	40～49歳	190	7.9	7.9	10.0	2.1	3.7	74.7
	50～59歳	213	7.5	9.9	5.2	1.4	0.5	77.0
	60～69歳	159	10.1	9.4	5.7	1.3	3.1	67.9
	70歳以上	234	14.1	3.0	0.4	1.3	2.6	67.5

※前回調査から選択肢を一部変更している。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

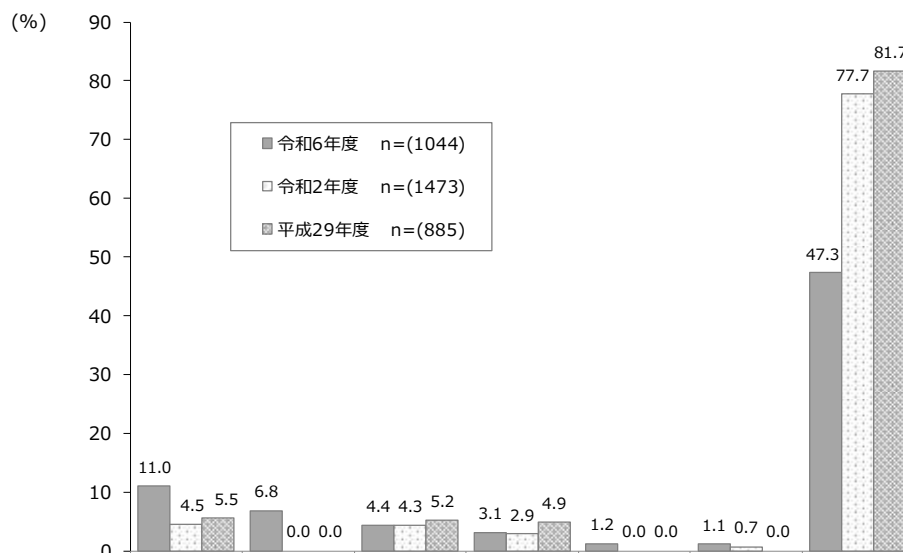
「町内会・自治会や行政などが主催する地域のスポーツイベント・行事に参加した」は9.0%、「民間の企業やNPO（市民活動団体等）が企画したスポーツイベント・行事に参加した」は7.2%、「職場（大学などを含む）で企画されたスポーツイベント・行事に参加した」は6.4%となっている。「スポーツイベント・行事に参加したことがない」は72.6%となっている。

経年比較では、差は見られなかった。

年齢別では、「町内会・自治会や行政などが主催する地域のスポーツイベント・行事に参加した」は高齢層ほど概ね高い傾向が見られる。「職場（大学などを含む）で企画されたスポーツイベント・行事に参加した」は20～29歳が12.9%と最も高くなっている。

問 27 現在、加入しているスポーツクラブや同好会・チームはありますか。また、これから加入したいと思うものはありますか。(それぞれ、〇はいくつでも)

〇現在、加入している団体



		民間の会員制 スポーツクラブ やフィットネスク ラブ	友人・知人が 中心のクラブ・ 同好会・チーム	地域住民が中 心となったクラ ブ・同好会・ チーム	職場や大学の 仲間を中心と したクラブ・同 好会・チーム	学校の卒業生 などが中心と なったクラブ・同 好会・チーム	その他	特になし
全 体	1044	11.0	6.8	4.4	3.1	1.2	1.1	47.3
年 齢	20歳未満	8	-	12.5	-	25.0	12.5	-
	20～29歳	85	9.4	8.2	2.4	12.9	4.7	-
	30～39歳	143	6.3	7.0	7.0	1.4	1.4	0.7
	40～49歳	190	10.0	4.2	2.1	3.7	0.5	2.1
	50～59歳	213	14.6	7.5	3.3	3.3	0.9	1.9
	60～69歳	159	18.2	6.9	5.7	1.3	1.3	0.6
	70歳以上	234	7.7	7.7	6.0	0.4	0.4	0.4
居 住 地 区	川崎区	139	6.5	5.0	7.2	4.3	2.9	-
	幸区	119	9.2	9.2	5.0	2.5	-	-
	中原区	183	16.9	5.5	3.8	4.9	2.2	3.3
	高津区	154	11.0	7.8	5.2	3.2	1.3	1.3
	宮前区	156	12.2	6.4	1.9	1.9	-	-
	多摩区	157	8.3	5.1	6.4	1.9	0.6	-
	麻生区	124	12.1	10.5	1.6	2.4	1.6	2.4

※前回調査から選択肢を一部変更している。

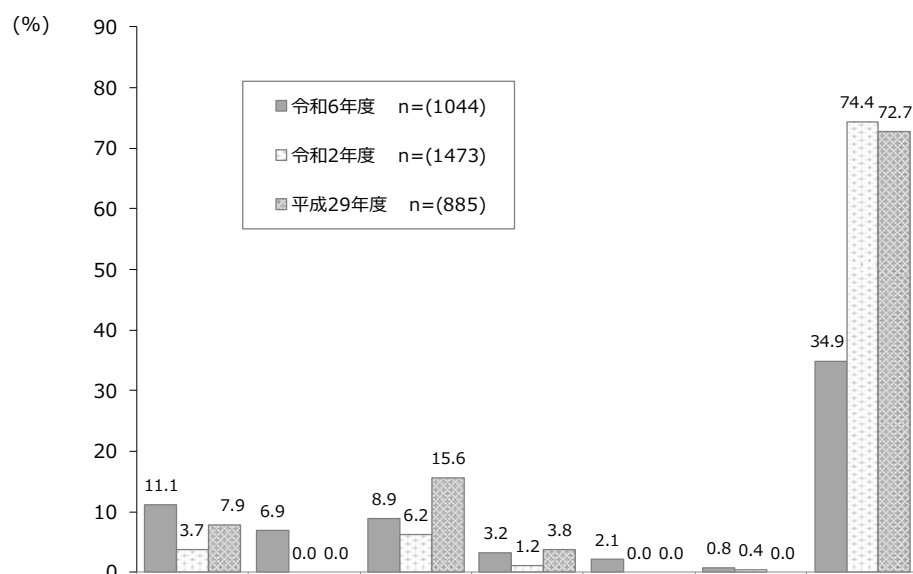
※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」は 11.0%、「友人・知人が中心のクラブ・同好会・チーム」は 6.8%、「地域住民が中心となったクラブ・同好会・チーム」は 4.4%となっている。

年齢別では、「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」は 60～69 歳が 18.2%と最も高くなっている。「職場や大学の仲間を中心としたクラブ・同好会・チーム」は回答者数が 30 未満の 20 歳未満を除き 20～29 歳が 12.9%と最も高く、それ以外の年代では 4%以下となっている。

居住地区別では、「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」は中原区が 16.9%と最も高くなっている。

○これから、加入したい団体



			民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ	友人・知人が中心のクラブ・同好会・チーム	地域住民が中心となったクラブ・同好会・チーム	職場や大学の仲間を中心としたクラブ・同好会・チーム	学校の卒業生などが中心となったクラブ・同好会・チーム	その他	特になし
全 体		1044	11.1	6.9	8.9	3.2	2.1	0.8	34.9
性 別	男性	478	7.5	6.7	8.6	3.8	2.7	0.8	34.9
	女性	540	14.6	7.2	9.6	2.8	1.7	0.6	35.9
年 齢	20歳未満	8	12.5	-	12.5	12.5	-	-	37.5
	20～29歳	85	11.8	9.4	7.1	7.1	5.9	1.2	40.0
	30～39歳	143	11.9	6.3	9.1	2.8	0.7	2.1	35.7
	40～49歳	190	16.3	6.8	7.9	4.7	2.1	0.5	43.7
	50～59歳	213	11.3	9.9	8.0	2.8	2.3	0.9	42.7
	60～69歳	159	13.8	5.0	11.3	3.1	2.5	-	31.4
	70歳以上	234	4.7	5.6	9.8	0.9	1.3	0.4	21.8

※前回調査から選択肢を一部変更している。

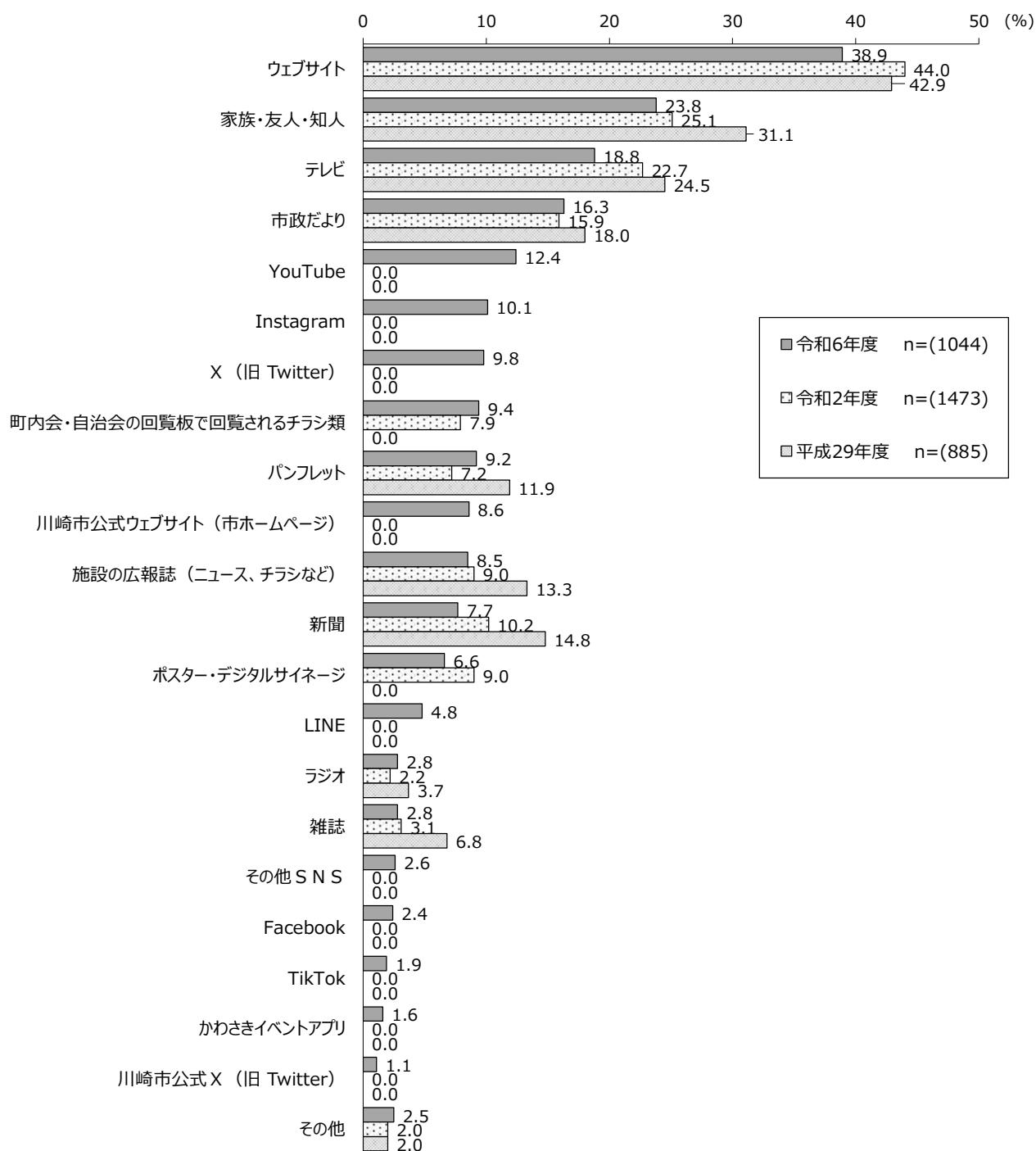
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」は11.1%、「地域住民が中心となったクラブ・同好会・チーム」は8.9%、「友人・知人が中心のクラブ・同好会・チーム」は6.9%となっている。

年齢別では、「民間の会員制スポーツクラブやフィットネスクラブ」は69歳以下が1割以上だが、70歳以上が5%以下と低くなっている。

問 28 あなたは、運動やスポーツをしたいとき、または、観たい(観戦したい)とき、どんな情報を利用して
いますか。(それぞれ、〇はいくつでも)

〇したいときに利用する情報



※前回調査から選択肢を一部変更している。

「ウェブサイト」は 38.9%、「家族・友人・知人」は 23.8%、「テレビ」は 18.8%となっている。

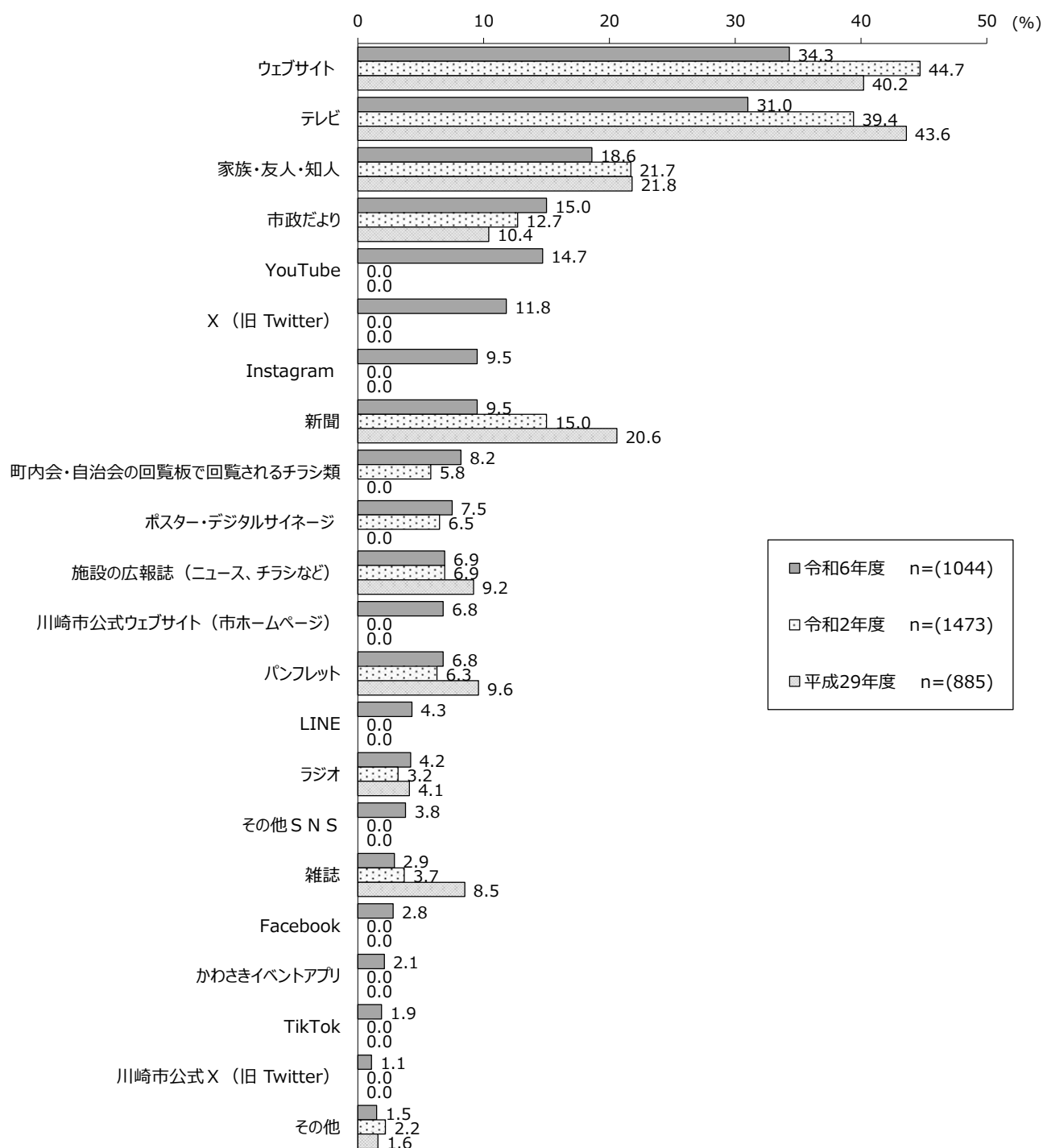
経年比較では、上位 4 項目に変化は見られなかった。今回の調査から追加となった「YouTube」「Instagram」「X (旧 Twitter)」が上位 5 位～7 位となっている。

		ウェブサイト	家族・友人・知人	テレビ	市政だより	YouTube	Instagram	X (旧 Twitter)	町内会・自治会の回覧板で回覧されるチラシ類	パンフレット	川崎市公式ウェブサイト (市ホームページ)	施設の広報誌 (ニュース、チラシなど)
全 体	1044	38.9	23.8	18.8	16.3	12.4	10.1	9.8	9.4	9.2	8.6	8.5
年 齢	20歳未満	8	37.5	37.5	-	-	12.5	-	-	25.0	25.0	-
	20～29歳	85	41.2	27.1	15.3	3.5	18.8	31.8	31.8	2.4	3.5	11.8
	30～39歳	143	50.3	23.8	14.7	9.8	23.8	20.3	21.7	5.6	8.4	8.4
	40～49歳	190	57.4	25.3	16.3	15.3	14.7	13.2	11.1	7.9	10.0	10.5
	50～59歳	213	54.5	27.7	19.7	16.4	8.9	9.4	6.6	5.6	8.0	10.3
	60～69歳	159	33.3	26.4	23.9	21.4	13.2	2.5	3.1	12.6	12.6	8.2
	70歳以上	234	7.3	16.2	21.4	23.5	3.8	-	1.7	16.7	9.8	5.6
		新聞	ポスター・デジタルサイネージ	LINE	ラジオ	雑誌	その他SNS	Facebook	TikTok	かわさきイベントアプリ	川崎市公式X (旧 Twitter)	その他
全 体	1044	7.7	6.6	4.8	2.8	2.8	2.6	2.4	1.9	1.6	1.1	2.5
年 齢	20歳未満	8	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	85	-	3.5	10.6	1.2	1.2	2.4	2.4	10.6	-	3.5
	30～39歳	143	1.4	7.0	5.6	2.1	-	2.1	3.5	3.5	0.7	0.7
	40～49歳	190	5.3	8.4	3.7	2.1	2.6	1.1	1.6	1.1	2.6	1.1
	50～59歳	213	5.6	7.5	5.2	3.8	2.8	3.8	4.7	0.5	2.8	0.5
	60～69歳	159	8.2	9.4	4.4	3.8	5.7	5.0	1.9	1.9	-	1.3
	70歳以上	234	17.9	3.4	3.4	3.0	3.4	1.7	0.9	-	2.1	0.9

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別では、「ウェブサイト」は40～49歳が57.4%と最も高く、30～59歳では5割以上を占めている。「市政だより」「町内会・自治会の回覧板で回覧されるチラシ類」「新聞」は高齢層の方が概ね高い傾向がみられる。「X (旧 Twitter)」「Instagram」「TikTok」などのSNSは20～29歳が最も高く、若年層ほど高い傾向がみられる。

○観たいときに利用する情報



※前回調査から選択肢を一部変更している。

「ウェブサイト」は 34.3%、「テレビ」は 31.0%、「家族・友人・知人」は 18.6%となっている。

経年比較では、「市政だより」は調査の度に増加している。一方で「テレビ」「新聞」は調査の度に減少している。

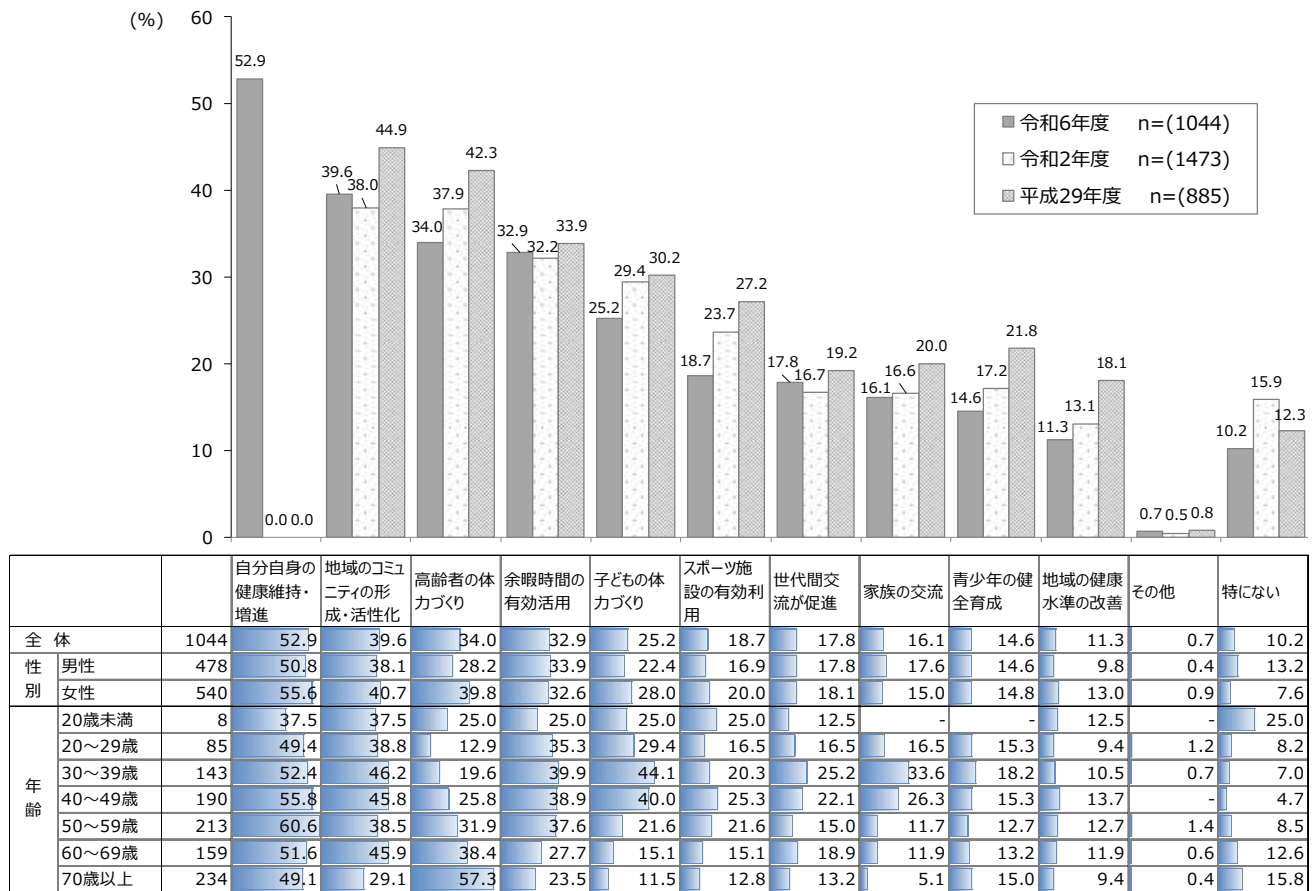
			ウェブサイト	テレビ	家族・友人・知人	市政だより	YouTube	X (旧 Twitter)	Instagram	新聞	町内会・自治会の回覧板で閲覧されるチラシ類	ポスター・デジタルサイネージ	施設の広報誌 (ニュース、チラシなど)
全 体		1044	34.3	31.0	18.6	15.0	14.7	11.8	9.5	9.5	8.2	7.5	6.9
年 齢	20歳未満	8	12.5	12.5	37.5	-	50.0	12.5	12.5	-	25.0	12.5	-
	20～29歳	85	27.1	40.0	20.0	1.2	36.5	41.2	28.2	1.2	2.4	7.1	3.5
	30～39歳	143	41.3	26.6	16.8	7.7	27.3	23.1	17.5	2.8	3.5	8.4	2.8
	40～49歳	190	54.7	28.9	22.1	12.1	12.1	10.5	12.6	5.3	6.3	9.5	6.8
	50～59歳	213	51.6	32.9	21.6	15.5	9.9	10.3	8.0	7.0	4.2	9.4	9.9
	60～69歳	159	25.8	34.0	17.6	17.0	15.1	4.4	4.4	11.9	11.9	7.5	6.9
	70歳以上	234	8.1	29.1	14.1	26.5	3.8	2.1	0.4	21.4	15.8	3.8	8.5
			川崎市公式ウェブサイト (市ホームページ)	パンフレット	LINE	ラジオ	その他 SNS	雑誌	Facebook	かわさきイベントアプリ	TikTok	川崎市公式 X (旧 Twitter)	その他
全 体		1044	6.8	6.8	4.3	4.2	3.8	2.9	2.8	2.1	1.9	1.1	1.5
年 齢	20歳未満	8	-	12.5	-	-	-	-	-	-	12.5	-	-
	20～29歳	85	1.2	2.4	7.1	3.5	4.7	1.2	1.2	-	9.4	2.4	-
	30～39歳	143	4.9	5.6	7.0	4.2	4.2	3.5	4.9	0.7	2.1	-	2.8
	40～49歳	190	6.8	6.8	2.6	2.1	1.1	2.6	3.2	2.6	0.5	1.1	1.1
	50～59歳	213	9.4	7.0	3.3	4.7	4.2	3.3	3.8	3.3	1.4	0.9	3.3
	60～69歳	159	7.5	8.8	4.4	4.4	7.5	3.8	3.1	1.3	1.9	3.1	0.6
	70歳以上	234	7.7	7.7	4.3	6.0	2.6	2.1	0.9	3.0	0.4	-	0.9

※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別では、「市政だより」「新聞」は高齢層ほど高い傾向がみられる。「X (旧 Twitter)」「Instagram」「TikTok」などの SNS は 20～29 歳が最も高く、若年層ほど高い傾向がみられる。

6. 地域や職場におけるスポーツ活動について

問 29 あなたは、「地域におけるスポーツ活動」にどのような効果を期待しますか。(〇はいくつでも)



※前回調査から選択肢を追加している。

※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「自分自身の健康維持・増進」は 52.9%、「地域のコミュニティの形成・活性化」は 39.6%、「高齢者の体力づくり」は 34.0%となっている。

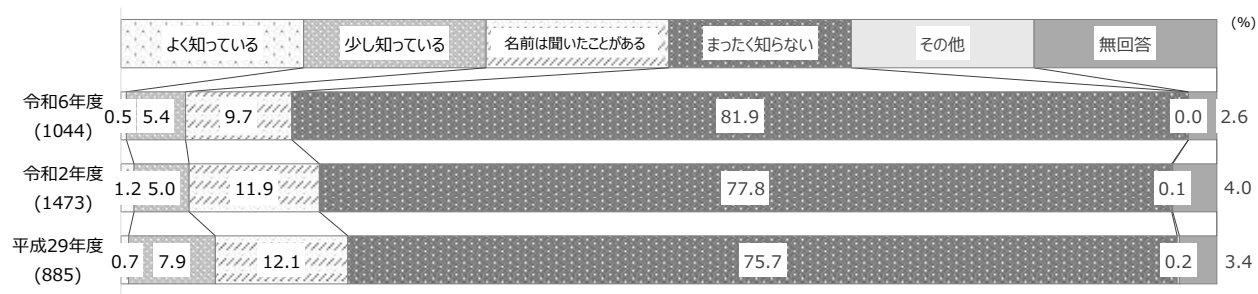
今回より選択肢に追加となった「自分自身の健康維持・増進」が 5 割以上と唯一過半数を超えて最も高くなっている。

経年比較では、ほとんどの項目で調査の度に減少している。

性別では、「高齢者の体力づくり」は女性が男性より 10 ポイント以上高くなっている。

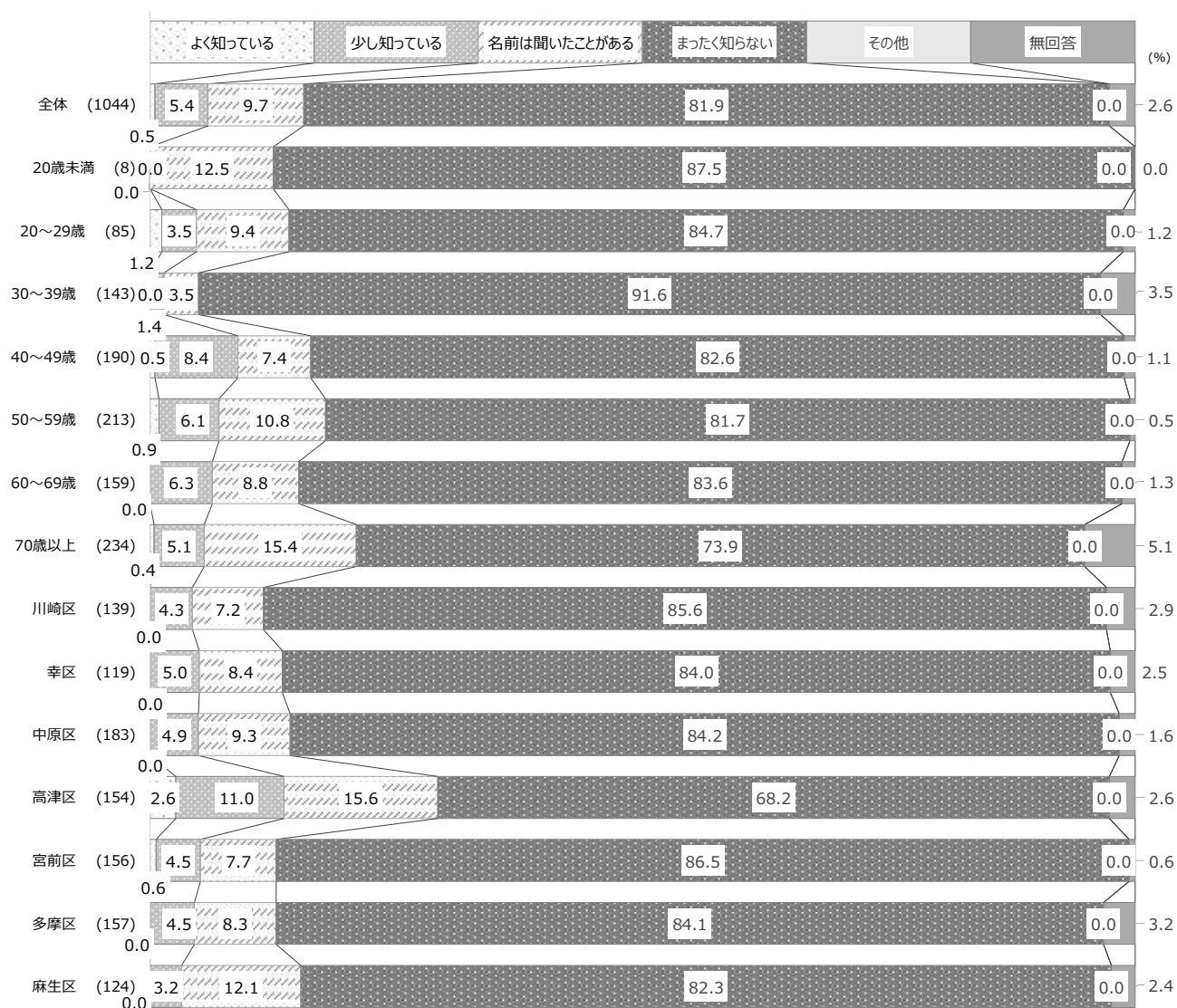
年齢別では、「高齢者の体力づくり」は高齢層ほど高い傾向が見られた。「子どもの体力作り」「家族の交流」は 30～49 歳が他の世代より高くなっている。

問 30 あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」についてどの程度知っていますか。(〇は1つだけ)



「まったく知らない」は81.9%、「名前は聞いたことがある」は9.7%、「よく知っている+少し知っている」を合わせた『知っている』は5.9%となっている。

経年比較では、『知っている』は調査の度に減少している。一方で「まったく知らない」は調査の度に増加している。

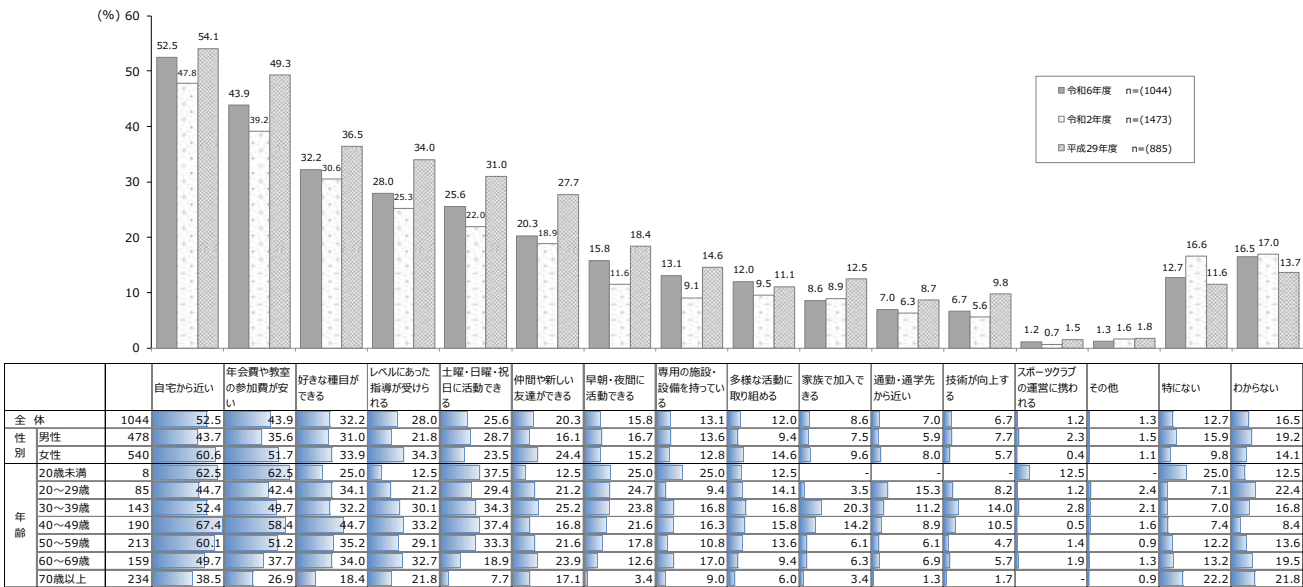


※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別では、『知っている』は全ての年代で 1 割未満となっている。「まったく知らない」は 30～39 歳が 9 割以上と最も高くなっている。70 歳以上では 7 割程度と最も低くなっている。

居住地区別では、『知っている』は高津区が 13.6%と最も高く、それ以外の地区では 5%程度と低くなっている。「まったく知らない」は高津区では 68.2%と最も低く、それ以外の地区は 8 割以上と高い。

問 31 あなたが、「総合型地域スポーツクラブ」について求めることは何ですか。(〇はいくつでも)



※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

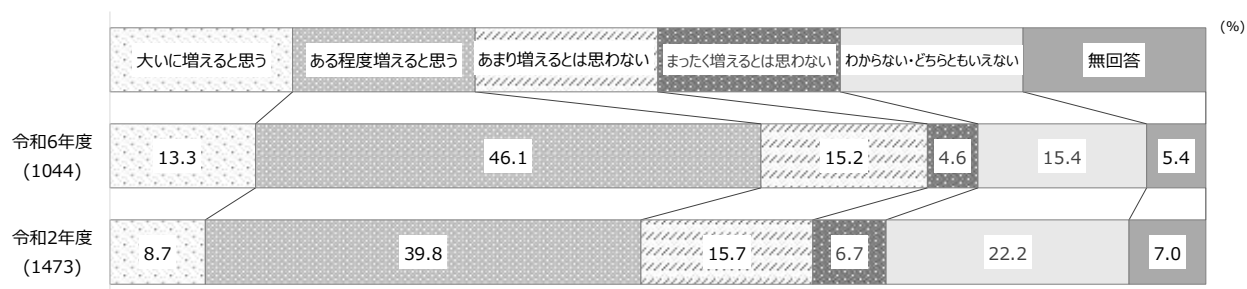
「自宅から近い」は 52.5%、「年会費や教室の参加費が安い」は 43.9%、「好きな種目ができる」は 32.2%となっている。

経年比較では、ほぼすべての項目で令和 2 年度比では増加しているものの、平成 29 年度比では減少している。

性別では、「自宅から近い」「年会費や教室の参加費が安い」「レベルにあった指導が受けられる」は女性の方が男性より 10 ポイント以上高くなっている。

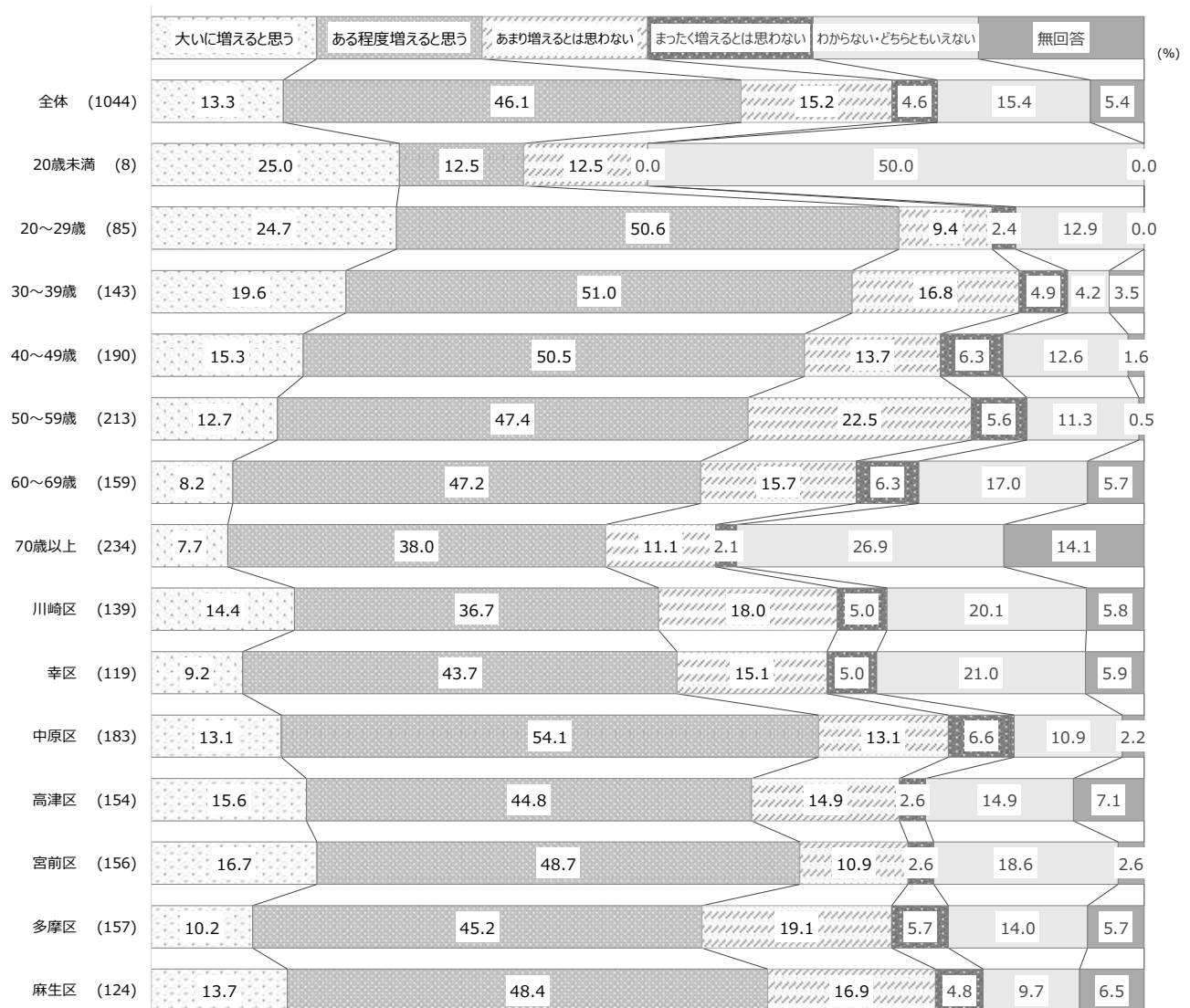
年齢別では、「自宅から近い」は 40～59 歳が 6 割以上と高くなっている。「早朝・夜間に活動できる」は若年層ほど高い傾向がみられる。

問 32 あなたの職場で運動やスポーツを習慣化する取組があれば、今より運動やスポーツを実施する頻度は増えると思いますか。現在、職場での勤務をしていない人や、これまでに職場での勤務の経験がない人は、御自身の過去の経験や家族・知人などの状況から想像してお答えください。(○は1つだけ)



「大いに増えると思う+ある程度増えると思う」を合わせた『増えると思う』は 59.4%、「あまり増えるとは思わない+まったく増えるとは思わない」を合わせた『増えるとは思わない』は 19.8%となっている。

『増えると思う』は令和2年度比では 10.9 ポイント増加している。



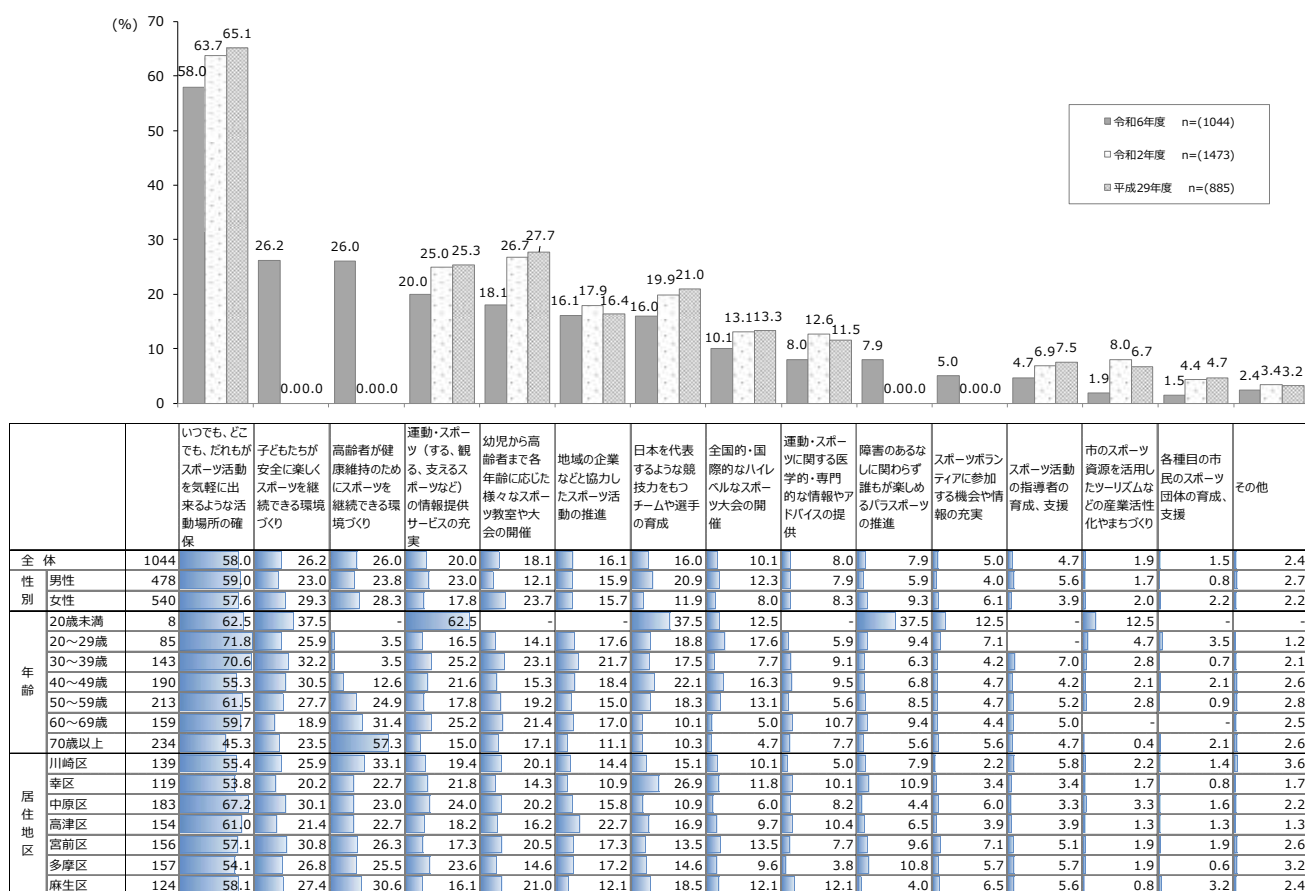
※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別では、『増えると思う』は 70 歳以上が 4 割程度、20～29 歳が 7 割以上となり、若年層ほど概ね高い傾向がみられる。『増えるとは思わない』は 50～59 歳が約 3 割と最も高くなっている。

居住地区別では、『増えると思う』は中原区が 67.2%と最も高く、川崎区と幸区が約 5 割と低くなっている。

7. 川崎市のスポーツ施策について

問 33 今後の市のスポーツ施策について、あなたが重要だと思う取組は何ですか。(○は3つまで)



※前回調査から選択肢を一部変更している。

※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

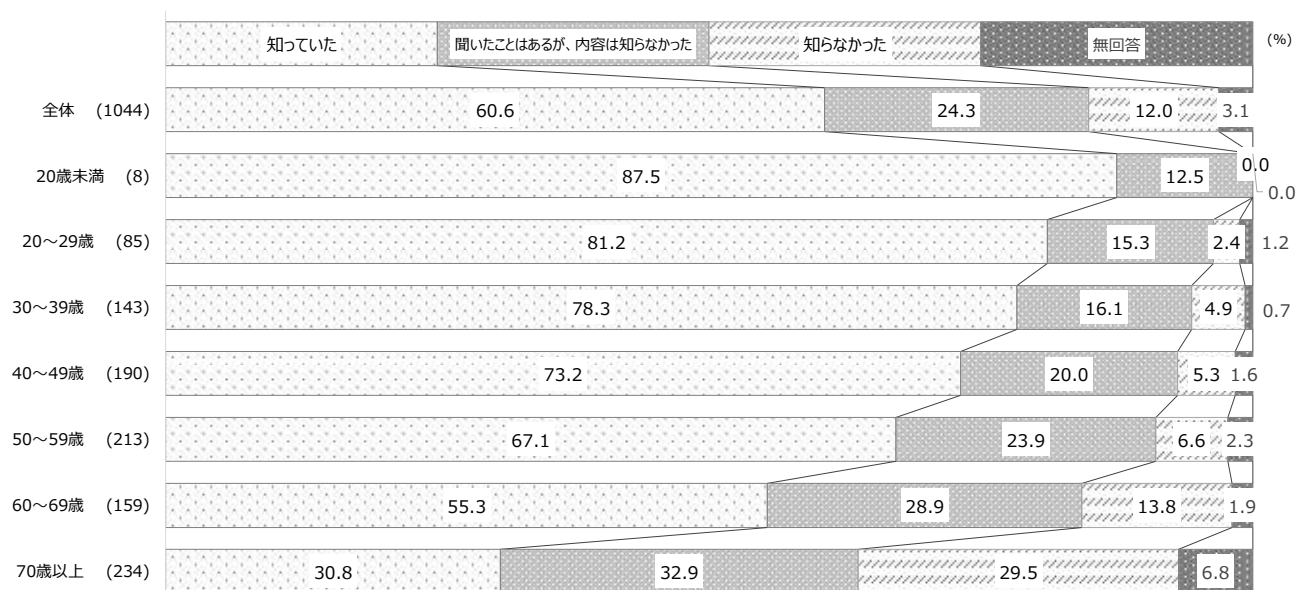
「いつでも、どこでも、だれもがスポーツ活動を気軽に出来るような活動場所の確保」は 58.0%、「子どもたちが安全に楽しくスポーツを継続できる環境づくり」は 26.2%、「高齢者が健康維持のためにスポーツを継続できる環境づくり」は 26.0%となっている。

性別では、「幼児から高齢者まで各年齢に応じた様々なスポーツ教室や大会の開催」は女性が男性より 10 ポイント以上高くなっている。「日本を代表するような競技力をもつチームや選手の育成」は男性が女性より 9 ポイント高くなっている。

年齢別では、「いつでも、どこでも、だれもがスポーツ活動を気軽に出来るような活動場所の確保」は 20～39 歳が 7 割以上と高くなっている。「子どもたちが安全に楽しくスポーツを継続できる環境づくり」は 30～49 歳が 3 割以上と高くなっている。「高齢者が健康維持のためにスポーツを継続できる環境づくり」は高齢層ほど高い傾向がみられる。

居住地区別では、「日本を代表するような競技力をもつチームや選手の育成」は幸区が 26.9%となり、それ以外の地区と比べて高くなっている。

問 34 あなたは、eスポーツを知っていましたか。(〇は1つだけ)

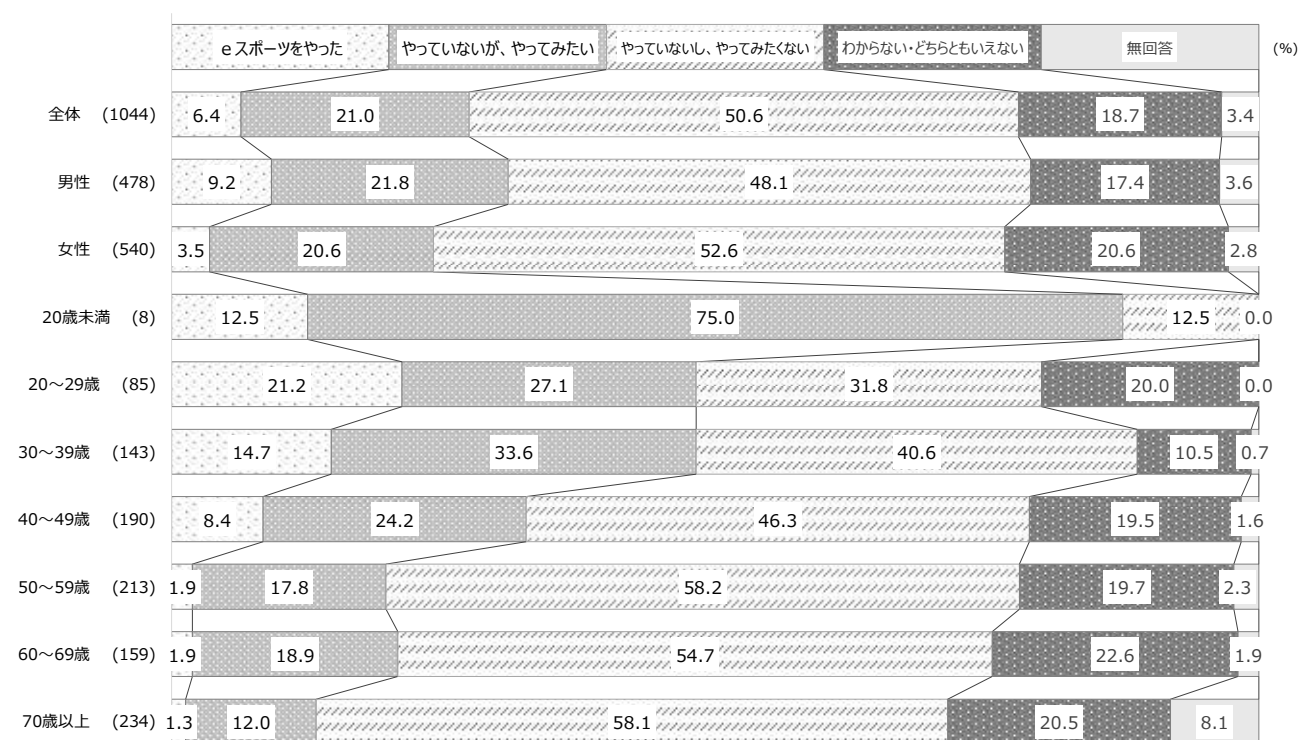


※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「知っていた」は60.6%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」は24.3%、「知らなかった」は12.0%となっている。

年齢別では、若年層の方が高齢層より「知っていた」では高い傾向が見られた。「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」「知らなかった」では高齢層の方が高い傾向がみられる。「知らなかった」では70歳以上が約3割となっている。

問 35 あなたは、この1年間でeスポーツをやりましたか。また、やってみたいですか。(〇は1つだけ)



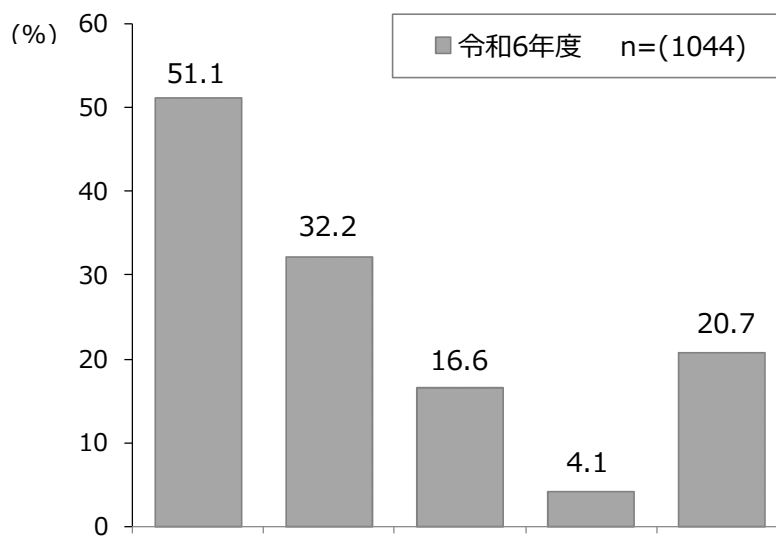
※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「e スポーツをやった+やっていないが、やってみたい」は3割弱、「やっていないし、やってみたくない」は5割程度となっている。

性別では、「e スポーツをやった+やっていないが、やってみたい」では男性が女性よりも高くなっている。

年齢別では、「e スポーツをやった+やっていないが、やってみたい」では、20～39 歳は約 5 割を占めている。50 歳以上では、2 割以下となっている。「やっていないし、やってみたくない」では、40 歳以上では 5 割前後となっている。「わからない・どちらともいえない」は、いずれの年代でも 1～2 割となっている。

問 36 あなたは、川崎市が市の施策としてeスポーツを支援したり活用したりすることを、どのように考えますか。(〇はいくつでも)



			障害のあるなしや年齢、性別等に関わらず、誰もが参加し、交流できる手段として、活用してほしい	地域コミュニティや経済の活性化の手段として、eスポーツを活用してほしい	大規模大会の誘致など、eスポーツ自体を積極的に支援してほしい	その他	川崎市がeスポーツを支援したり活用したりすることは望まない
全 体		1044	51.1	32.2	16.6	4.1	20.7
性 別	男性	478	45.0	32.8	19.5	4.4	23.8
	女性	540	57.2	32.4	14.3	3.9	18.0
年 齢	20歳未満	8	87.5	37.5	37.5	-	-
	20～29歳	85	52.9	30.6	22.4	4.7	17.6
	30～39歳	143	57.3	39.9	21.0	1.4	18.9
	40～49歳	190	49.5	41.6	23.7	5.3	18.9
	50～59歳	213	48.8	33.8	15.5	5.2	24.4
	60～69歳	159	53.5	32.1	14.5	2.5	20.1
	70歳以上	234	47.9	20.1	8.5	5.1	22.2

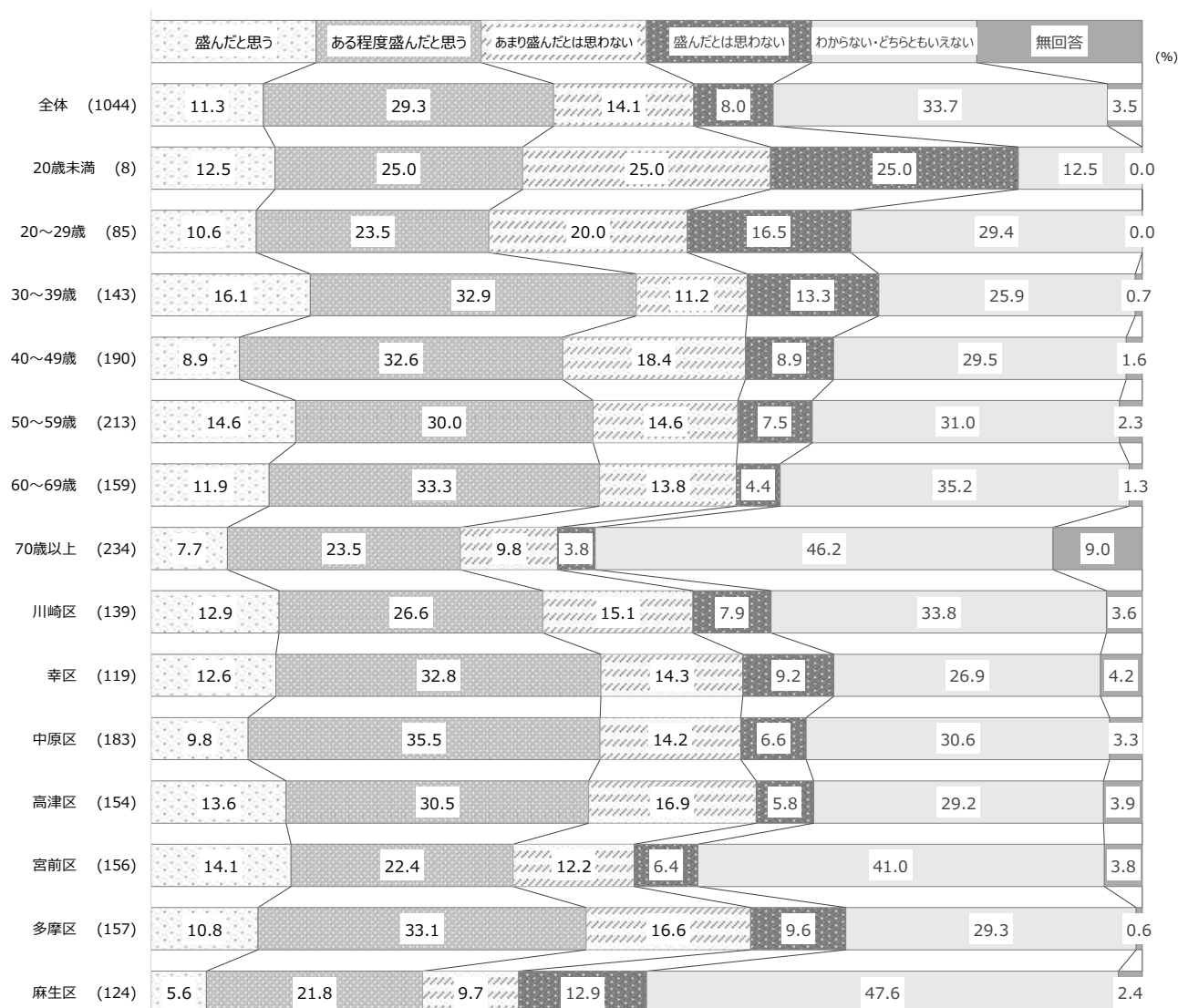
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「障害のあるなしや年齢、性別等に関わらず、誰もが参加し、交流できる手段として、活用してほしい」は51.1%、「地域コミュニティや経済の活性化の手段として、eスポーツを活用してほしい」は32.2%、「大規模大会の誘致など、eスポーツ自体を積極的に支援してほしい」は16.6%となっている。「川崎市がeスポーツを支援したり活用したりすることは望まない」は20.7%となっている。

性別では、「障害のあるなしや年齢、性別等に関わらず、誰もが参加し、交流できる手段として、活用してほしい」は女性が57.2%と男性より10ポイント以上高くなっている。

年齢別では、『活用・支援してほしい』は70歳以上がそれ以外の年代に比べて低い傾向が見られた。「川崎市がeスポーツを支援したり活用したりすることは望まない」は全ての年代で2割前後となっている。

問 37 あなたは、川崎市がブレイキンなどの若者文化が盛んなまちだと思いますか。(〇は1つだけ)



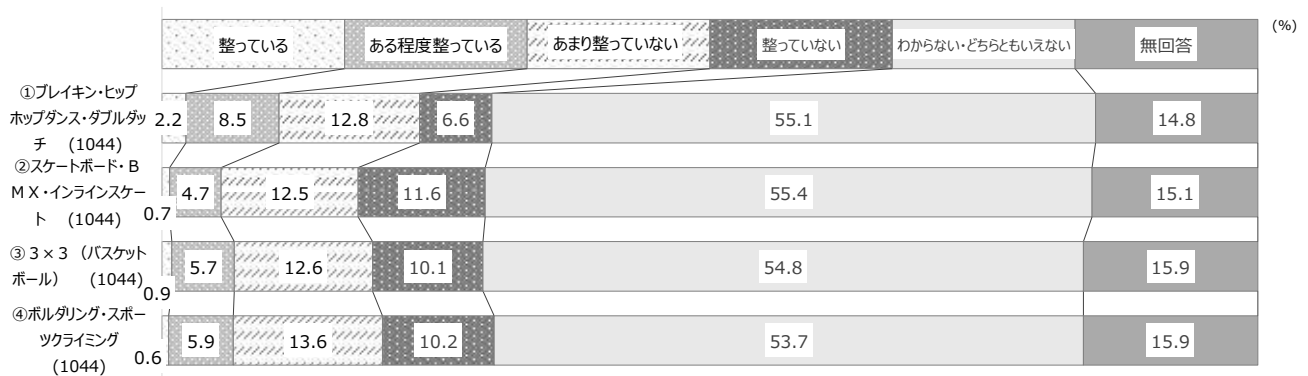
※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「盛んと思う+ある程度盛んと思う」を合わせた『盛んと思う』は 4 割となっている。「あまり盛んとは思わない+盛んとは思わない」を合わせた『盛んとは思わない』は 2 割程度となっている。「わからない・どちらともいえない」は約 3 割となっている。

年齢別では、『盛んと思う』は 30～39 歳が約 5 割と最も高くなっている。30 歳以上では、『盛んと思う』が『盛んとは思わない』より高くなっている。一方で 29 歳以下では「盛んとは思わない」が『盛んと思う』より高くなっている。

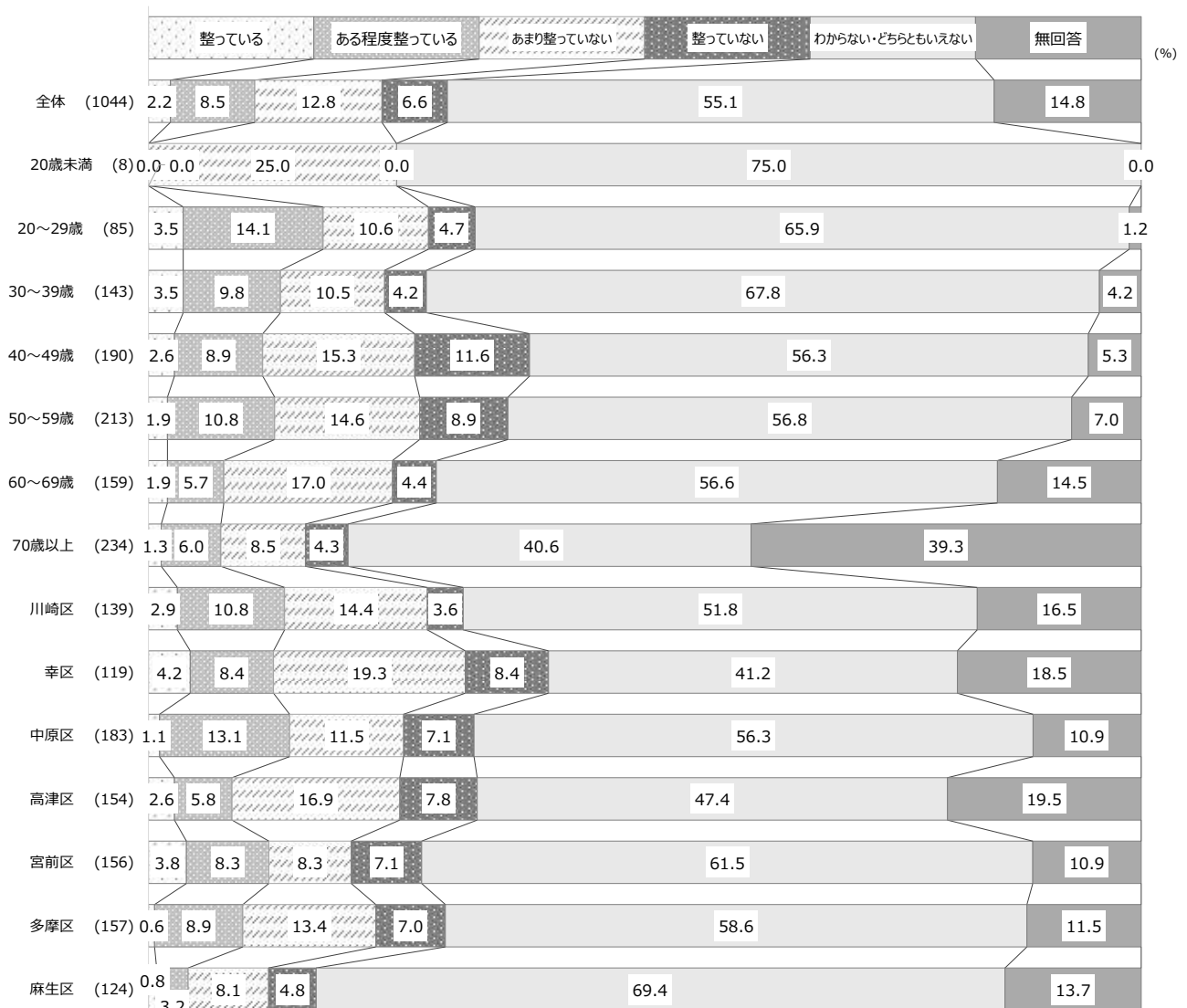
居住地区別では、『盛んと思う』は、幸区が最も高く 45.4%、麻生区が最も低く 27.4%となっている。全ての地区で、『盛んと思う』が『盛んとは思わない』よりも高くなっている。

問 38 あなたは、川崎市にブレイキンなどの若者文化のスポーツをする場所の環境が整っていると思いますか。(①・②・③・④それぞれ、○は1つだけ)



「整っている+ある程度整っている」を合わせた『整っている』は、「ブレイキン・ヒップホップダンス・ダブルダッチ」が最も高く 10.7%となっている。それ以外の項目は 5～6%となっている。「あまり整っていない+整っていない」を合わせた『整っていない』は全ての項目で 2 割程度となっている。「わからない・どちらともいえない」は全ての項目で 5 割以上となっている。

① ブレイキン・ヒップホップダンス・ダブルダッチ

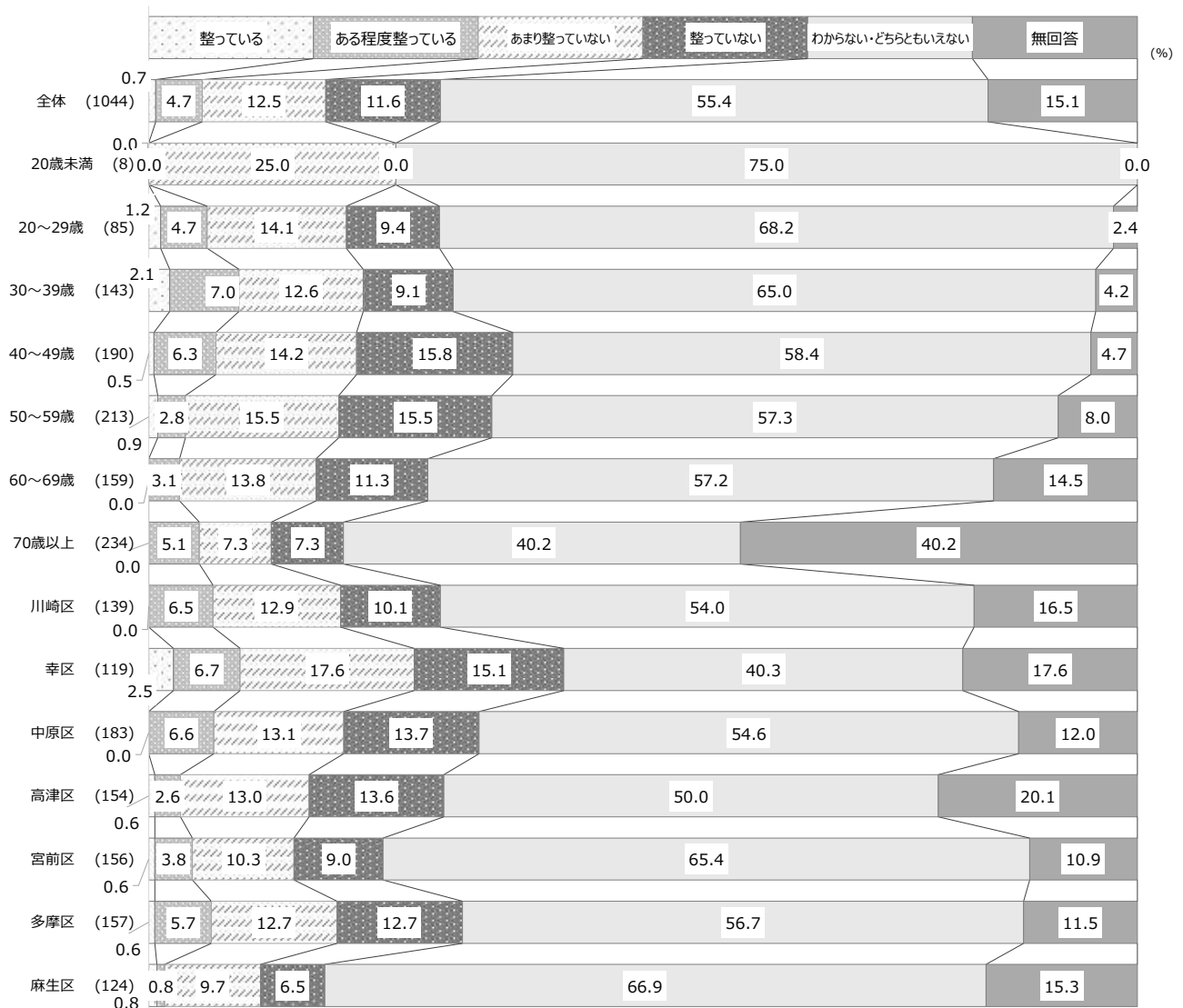


※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別では、『整っている』は20～29歳が17.6%と最も高くなっている。『整っていない』は40～49歳が26.9%と最も高くなっている。30歳以上では、『整っていない』が『整っている』よりも高くなっている。

居住地区別では、『整っている』は中原区が14.2%と最も高く、麻生区が4.0%と最も低くなっている。『整っていない』は幸区が27.7%と最も高くなっている。

② スケートボード・BMX・インラインスケート

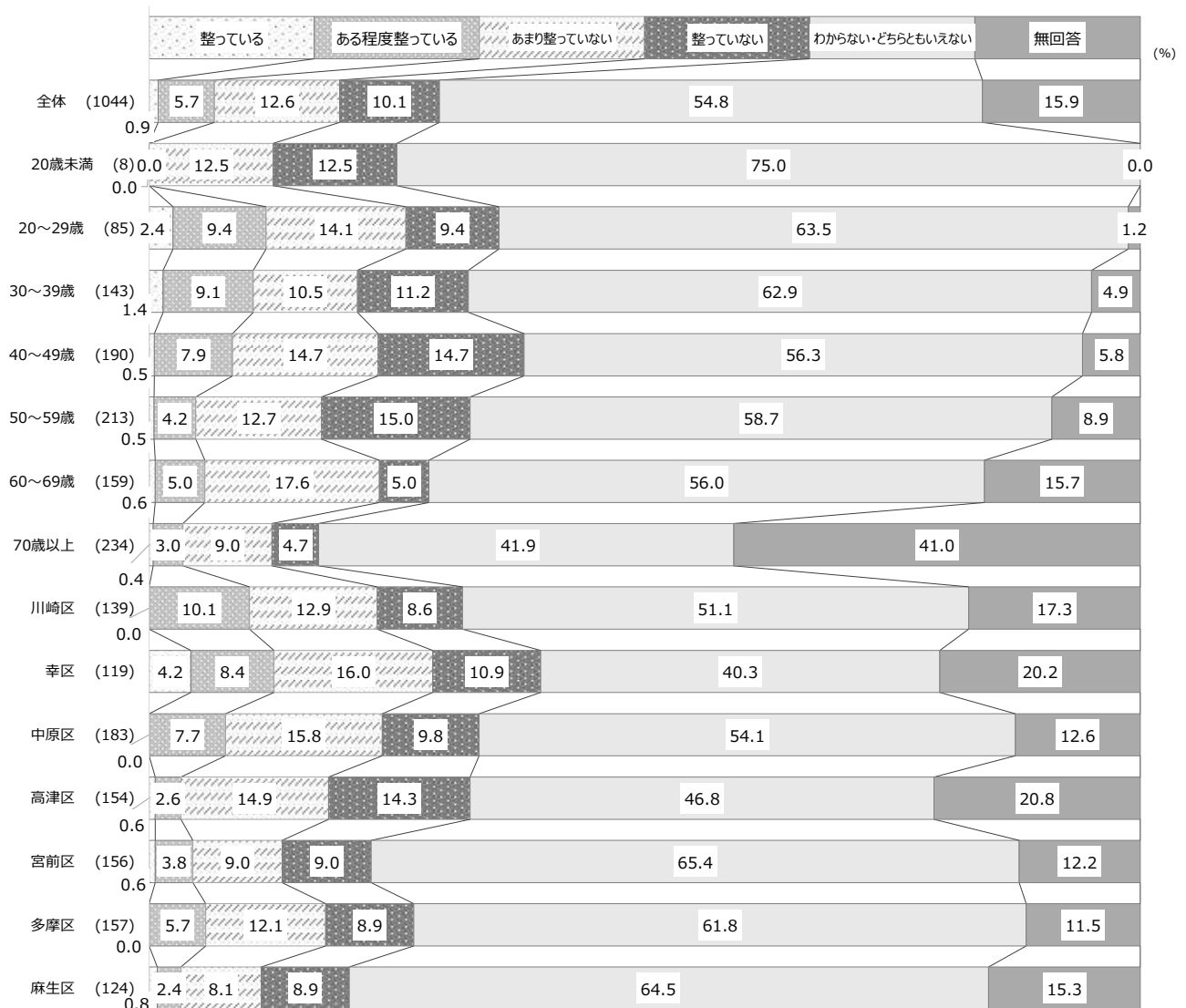


※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別では、『整っている』は全ての年代で1割以下となっている。『整っていない』は40～59歳が3割以上となっている。

居住地区別では、『整っている』は全ての年代で1割以下となっている。麻生区が1.6%と最も低くなっている。『整っていない』は幸区で32.7%と最も高くなっている。

③ 3×3 (バスケットボール)

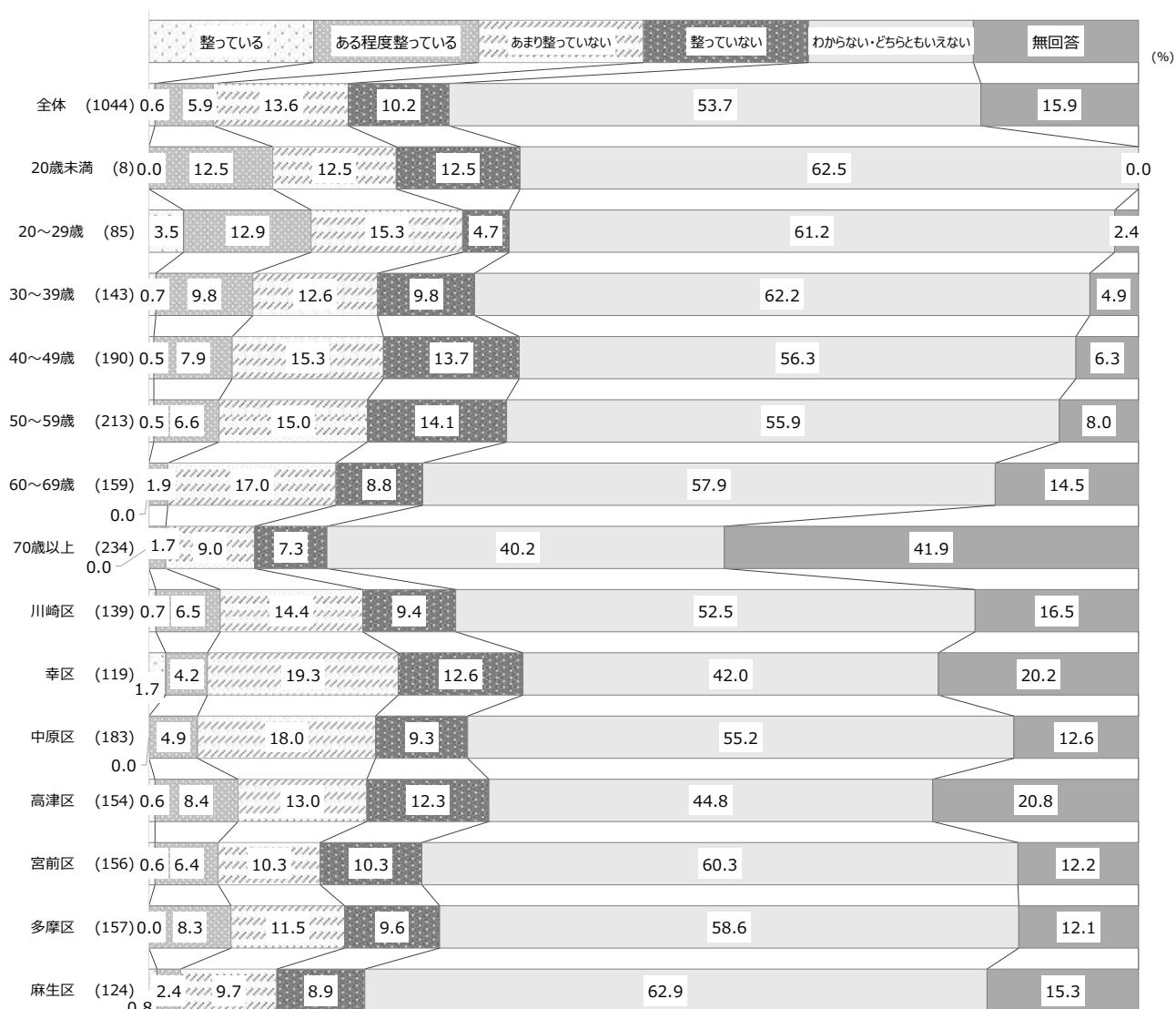


※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別では、『整っている』は20～39歳が1割以上となったものの、それ以外の年代では1割以下となっている。『整っていない』は40～49歳が29.4%と最も高くなっている。

居住地区別では、『整っている』は幸区と川崎区が1割以上となっている。高津区と麻生区は3.2%と最も低くなっている。『整っていない』は全ての地区で2～3割となっている。

④ ボルダリング・スポーツクライミング

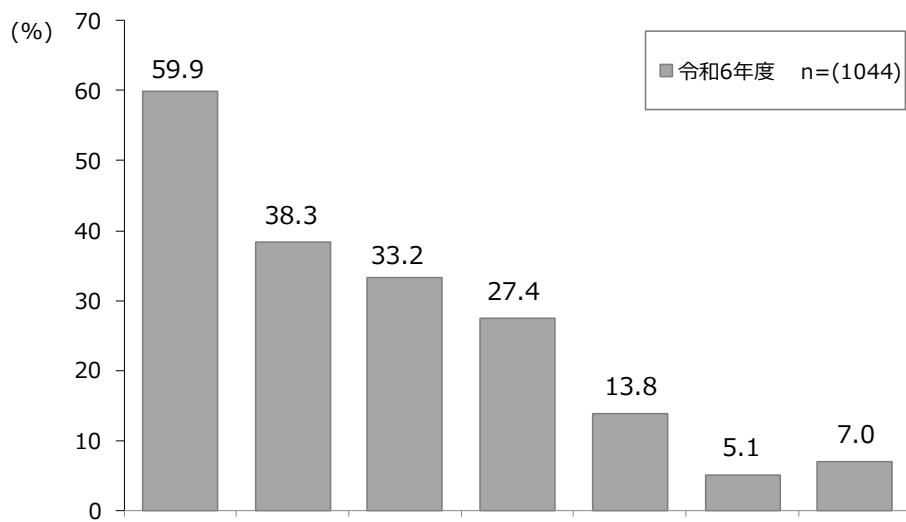


※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別では、『整っている』は20～29歳が16.4%と最も高くなっている。『整っていない』は50～59歳が29.1%と最も高くなっている。

居住地区別では、『整っている』は高津区が9.0%と最も高くなっている。『整っていない』は幸区が31.9%と最も高くなっている。

問 39 あなたは、川崎市が市の施策としてプレイキンなどの若者文化のスポーツを推進することを、どのように考えますか。(〇はいくつでも)



		川崎市が若者文化のスポーツ施策を推進することを通じて若者の活躍の場を広げていくことに賛成する	子どもたちが若者文化のスポーツを体験できる体験会などの実施を期待している	川崎市にゆかりのある選手が全国や世界の舞台で活躍することを期待している	プレイキンやスケートボード、3×3などをする場所の環境整備を期待している	プレイキンやダブルタッチなどの全国的・国際的な大規模大会の誘致等を期待している	その他	川崎市が若者文化のスポーツ施策を推進することは望まない	
全 体		1044	59.9	38.3	33.2	27.4	13.8	5.1	7.0
年 齢	20歳未満	8	62.5	25.0	37.5	25.0	12.5	-	12.5
	20～29歳	85	57.6	30.6	32.9	20.0	8.2	5.9	10.6
	30～39歳	143	60.1	42.7	42.7	32.9	14.7	3.5	7.7
	40～49歳	190	60.5	47.4	37.9	35.3	18.9	3.7	4.7
	50～59歳	213	62.0	36.6	34.7	26.8	16.4	6.6	8.5
	60～69歳	159	66.0	35.8	29.6	28.9	11.3	4.4	6.3
	70歳以上	234	55.1	35.0	23.9	20.1	11.1	6.4	6.4

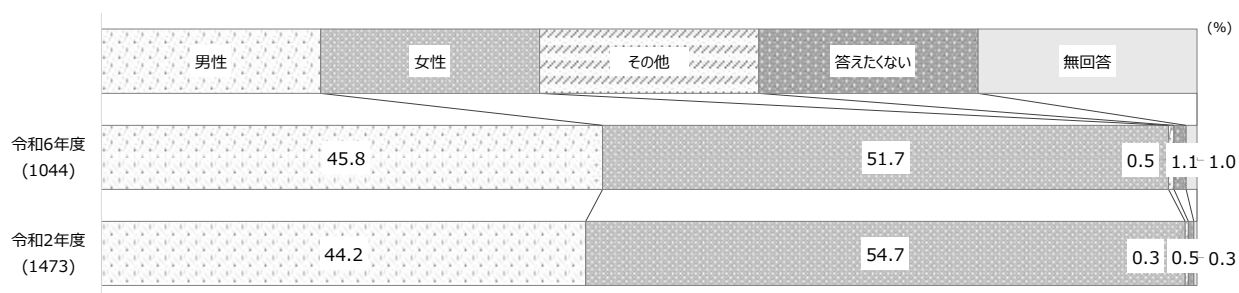
※回答者数が 30 未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

「川崎市が若者文化のスポーツ施策を推進することを通じて若者の活躍の場を広げていくことに賛成する」は 59.9%、「子どもたちが若者文化のスポーツを体験できる体験会などの実施を期待している」は 38.3%、「川崎市にゆかりのある選手が全国や世界の舞台で活躍することを期待している」は 33.2%となっている。「川崎市が若者文化のスポーツ施策を推進することは望まない」は 1 割以下となり、市が若者文化のスポーツを推進することを市民は概ね好意的に受け止めている。

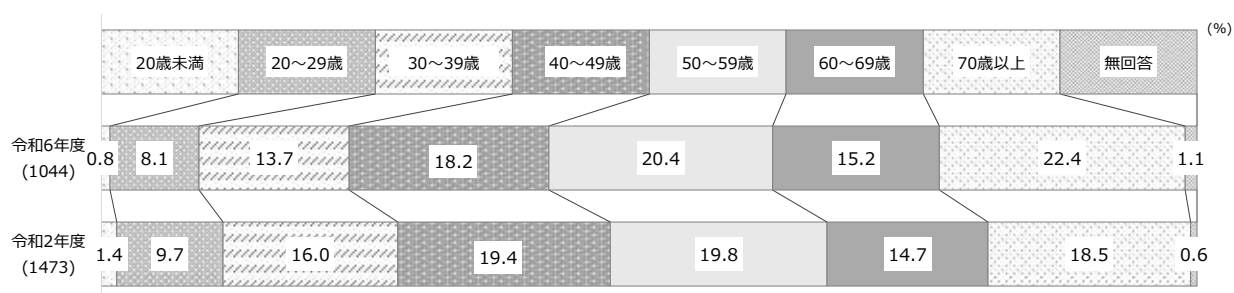
年齢別では、「川崎市が若者文化のスポーツ施策を推進することを通じて若者の活躍の場を広げていくことに賛成する」は全ての年代で 6 割前後となっている。「子どもたちが若者文化のスポーツを体験できる体験会などの実施を期待している」は 30～49 歳が 4 割以上と高くなっている。

8. 回答者の属性

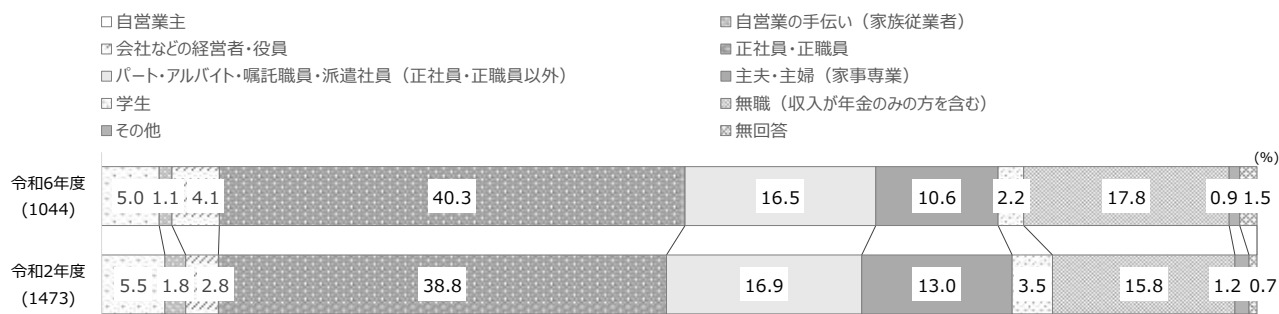
性別



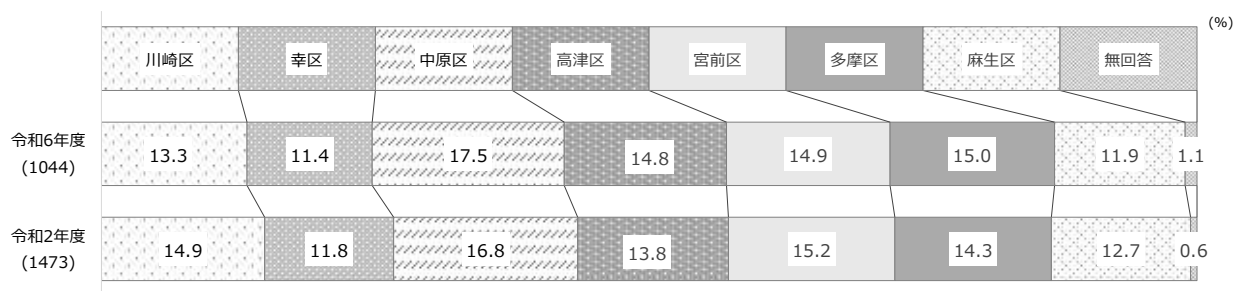
年齢



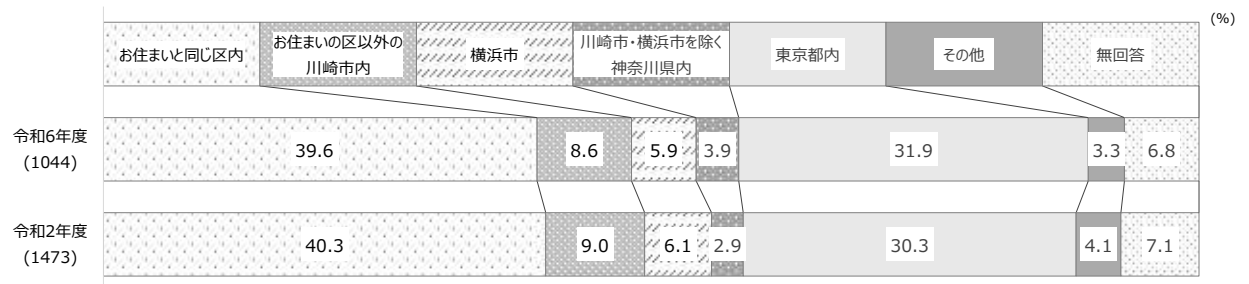
職業



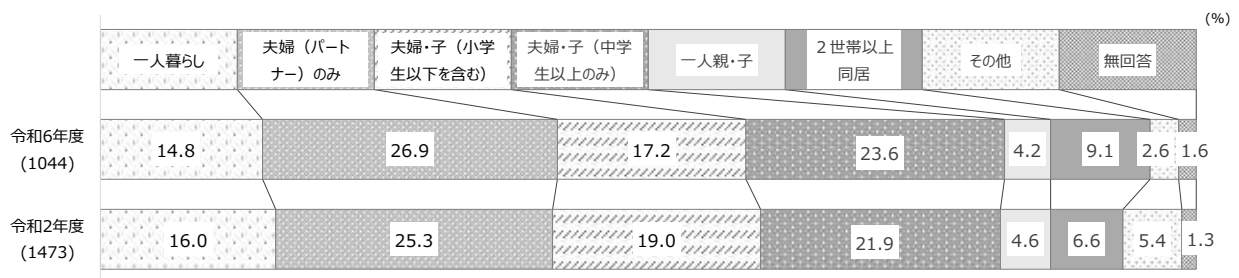
お住まい



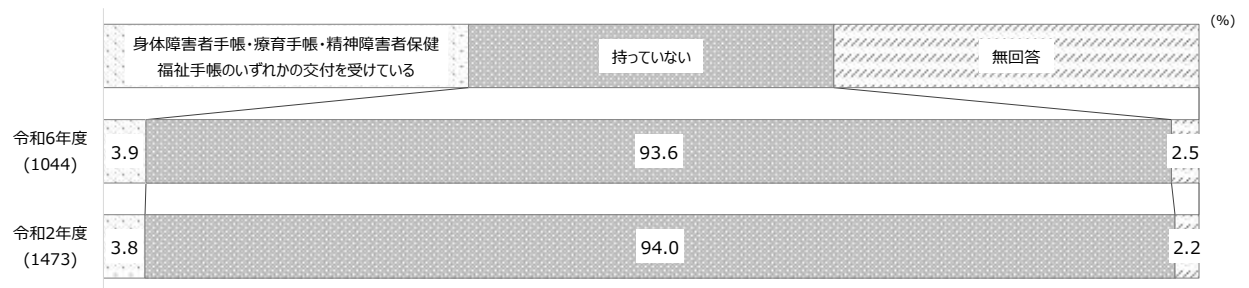
勤務地（日中いる場所）



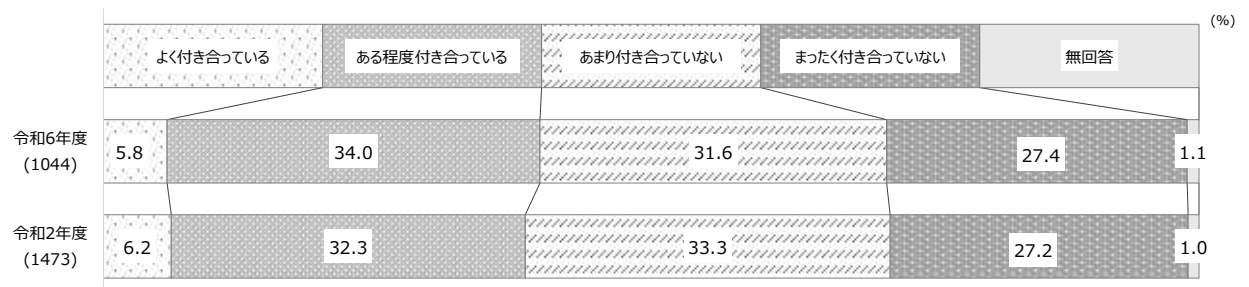
家族構成



各種手帳の所持



普段の近所づきあい



川崎市「運動・スポーツに関するアンケート調査」 報告書

令和 7（2025）年 2 月

川崎市市民文化局市民スポーツ室

住所 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町 1 番地 本庁舎 21 階

電話 044-200-3312 FAX 044-200-3599
